



Japan Weightlifting Association

ウェイトリフティング

第59回国民体育大会秋季大会
ウェイトリフティング競技会



2004 No. 90

(社)日本ウェイトリフティング協会会報

新潟秋の陣！団体戦三大会

【国民体育大会】地元埼玉県が沖縄県に1点差で逃げ切り天皇杯を獲得！



【社会人大会】自衛隊体育学校が着実に点を重ね”3年連続29回目”の
総合優勝を飾り、内閣総理大臣杯を受賞した！

内閣総理大臣杯 第41回 全日本社会人ウェイトリフティング選手権
～の国おかやま国体記念杯女子ウェイトリフティング競技会
晴れの国 おかやま ウェイトリフティング競技リハーサル大会



“団体戦の華”インカレ！！

【男子】法政大学が日本大学に2点差を付けて逆転勝ち！4年ぶり
15回目の優勝を飾る。



【女子】日本体育大学が4名全員優勝し、立命館大学に11点の
差を付けて女子インカレ設立から5連覇を達成した！



目 次

“熱戦秋の陣！”～団体戦三大会を終える」	1
第12回中・日・韓ジュニア交流競技会に参加して	
舟喜 信生	4
菊田三代治	8
大学生研修会報告	
鈴木 誠二	10
2004フレンドシップ大会を終えて	
野沢 雄一	13
第20回世界マスターズ大会	
大森 康正	15
◆生涯学習について考えた	
古賀 弘	19
第17回アジアジュニア大会	
菊田三代治	20
第49回全日本学生新人選手権大会	
篠 弘明	22
2004年日・中市民スポーツ交流事業報告	
小宮山哲雄	25
第59回国民体育大会	
佐藤 薫	35
第41回全日本社会人選手権大会	
長谷 章一	38
◆実業団クラブ紹介（トヨタ自動車）	
古賀 丈士	42
第50回全日本大学対抗選手権大会	
小平 紀生	45
◆男子団体優勝の喜び（法政大学）	
平良 朝順	46
◆女子団体優勝の喜び（日本体育大学）	
今鮮 一恵	47
大学クラブ紹介（立命館大学）	
影山 博文	52
「力」の民話・伝説（22）滋賀県の巻	
会長 林 克也	54
《公認記録表》	
第31回東北総合体育大会記録から	58
	?
第50回全日本大学対抗選手権大会記録まで	80

表紙写真：団体優勝の埼玉県選手団

10月26日から29日までの間、埼玉県「さいたま市記念総合体育館」で開催された第59回国民体育大会は、地元埼玉県チームが沖縄県を1点差で逃げ切り、4年ぶり10回目の優勝を飾った。

第12回中・日・韓・ジュニア交流競技会に参加して

高体連事務局長／舟喜 信生



三カ国選手団揃っての記念写真

今大会の選手団は、3月に行われた全国高校選抜大会の優勝者を中心に男子8名・女子7名の選手と、役員として団長・舟喜信生（群馬県立藤岡工業高校）、男子監督・川畠勉先生（京都府立加悦谷高校）、女子監督・平良真理先生（沖縄県立豊見城高校）合計18名で参加しました。

この大会は、アジア近隣諸国の青少年がスポーツ交流をとおして相互理解を深め、競技力向上を図る目的で、1993年第1回大会を日本で開催して以来、日本・韓国・中国の持ち回り開催方法により四巡目に入り、12回を迎える大会です。9競技で始まった大会は、第7回大会よりバレーボール、第10回大会よりウエイトリフティング競技が追加され11競技となり、今年は9月23日～29日の期間、中華人民共和国吉林省長春市で開催されました。

日本体育協会 泉正文常務理事を団長に日本選手団234名は、9月22日に名古屋に集合し、「JAPAN」のユニホームを支給され、翌朝チャーター機で、長春空港へ出発しました。24日に長春国際会展中心大飯店音楽堂において開幕式が、三ヶ国と長春市の選手団、総勢1,000名程が参加し盛大に開催されました。日本選手団の代表で、旗手を橋田選手（京都府立加悦谷高校）、選手宣誓を川畠選手（京都府立加悦谷高校）が努めました。

競技会は、長春市体育運動学校ウエイトリフティング場において、25日に女子、26日男子が実施されました。大会日程など現地入りするまでわからず、体重調整や練習に不安がありました。監督の適切な指導により、無事に競技を行うことが出来ました。大会では開催国の中国の強さが際だっており、女子48kg級で187.5kg、男子85kg級で362.5kgなど日本記録を男女6階級で上回るなど圧勝でした。日本選手は、男子+105kg級太田選手（福岡県立八幡中央高校）と女子69kg級橋田選手が日本高校記録に挑戦しましたが、優勝者を出すことはできず、2位3名・3位4名・4位8名という結果でした。各選手とも満足できる記録ではありませんでしたが、大会翌日に韓国選手と合同練習を行い、意欲的に練習に励む姿は、今後につながるよい経験になったと思います。中国の指導者が「若いうちに世界を見せることが大切である」と申しておりました。参加選手はその言葉どおり多くのことを肌で感じ取ることが出来たと思います。

終わりに、大会参加にあたり、ご支援ご協力いただいた関係者に深く感謝すると共に、貴重な体験をさせていただき事に厚く御礼申し上げます。

<女子>

4 8 kg級 竹下 菜緒（京都府立加悦谷高校）

S 60.0 × 60.0 × 60.0 J 75.0 77.5 80.0 × T 137.5

今回の試合は、初の国際大会でいつもとは違う雰囲気と、慣れないシャフトと食事など、全てが違いすぎてとても気持ちが不安定になりました。中国人選手との技術・記録にすごい差を感じました。日本の4 8 kg級のトップよりも重い重量を扱い、まるで同じ高校生とは思えませんでした。そして、自分のフォームの悪さ、精神的な弱さにもいつもより気付かされました。これからは、中国人選手との差を無くせるように練習を積み4年後の北京五輪で戦えるようになりたいです。最後に、舟喜先生・川畑先生・平良先生ありがとうございました。

5 3 kg級 山田 明奈（沖縄県立豊見城高校）

S 57.5 × 57.5 × 57.5 J 70.0 72.5 75.0 × T 130.0

今回、私は初めての国際大会の場で「ゼロを取らないように」とそれだけを考えていました。実際に試合を終えて「目標が浅かったな」と感じました。日本代表という大きな立場で「よし、6本成功しよう」という意気込みを持たなければならなかつたなと反省しています。中国や韓国の選手は、日本選手とのレベルの差は大きく、どれだけ練習しても追いつくか分かりませんが、日本に帰ってからは今の自己記録を5 kg・10 kgと伸ばし技術を磨いていきたいと思います。今回の試合はスナッチ1本、ジャーク2本という悪い成功率でしたが、これからは「6本」という満足のいく戦える試合をしたいです。今回国際大会を見ていいろいろな面で勉強になりました。

5 8 kg級 守 美穂子（福岡県立北九州高校）

S 65.0 70.0 × 70.0 J 85.0 90.0 92.5 × T 160.0

初めての国際試合でとても緊張しました。結果はスナッチ、ジャーク共に、自己ベストの5 kg下で4本成功でした。初めての自分での体重調整で、何も分からず戸惑うばかりで最終的には落としきりてしまったことが、この結果になった一つの理由だと思います。今まで減量の時、周りの人間に甘えすぎていた自分の未熟さにとても腹が立ちました。これから試合では、体重調整ぐらい一人でできるようになろうと決めました。また、どんな場合であろうと自分の最高の状態で試合に挑めるよう、精神的にも成長したいと思いました。そして、また国際試合に出場できるよう、これからもっともっと強くなりたいと思います。今日この試合で見たこと、思ったこと、感じたこと全てを生かしてこれから練習していきたいです。また、舟喜先生、川畑先生、平良先生、何も分からなかつた自分に優しくご指導いただき本当にありがとうございました。

6 3 kg級 橋田 麻由（京都府立加悦谷高校）

S 75.0 80.0 85.0 × J 95.0 100.0 105.0 × T 180.0

今回の試合では、自己新記録が出なくて残念でした。私は二回目の国際試合でしたが、まだまだ自分の未熟さが身にしみて分かりました。今後に向けて練習量を増やし、今の課題を直していくたいと思います。最後に、このような国際試合に参加させて頂きありがとうございました。

6 9 kg級 高田 絵理（岡山県立倉敷商業高校）

S 60.0 65.0 × 65.0 × J 77.5 × 77.5 82.5 × T 137.5

今回初めて国際大会という大舞台に立つことができたこと、大変光栄に思います。しかしながら大変緊張てしまい、自分の力を発揮することができず、大変悔しく思いました。また、中国と韓国とのレベルの差を改めて感じました。そして、まだまだ自分が未熟者だなと思いました。これからは、今回の経験したことを最大限に活かして、中国と韓国のレベルに一歩でもいいから近づけるように、より一層自分に磨きをかけて頑張っていきたいと思います。最後になりましたが、このようなすばらしい機会を頂き本当に感謝いたしました。ありがとうございました。

7 5 kg級 玉村 弥生（沖縄県立豊見城高校）

S 67.5 × 67.5 72.5 × J 87.5 92.5 × 92.5 × T 155.0

今回は初めての国際大会に出場しました。シャフトが日本と全然違いやりにかかったですがゼロをくわづ良かったです。でも、記録が最悪だったので次に機会があるときは気合いを入れていきたいと思います。日本に帰っても先生方からご指導いただいたことを活かしてこれからも頑張っていきます。本当にありがとうございました。

+ 7 5 kg級 糸数 愛（沖縄県立糸満高校）

S 72.5 × 72.5 × 72.5 J 95.0 × 95.0 100.0 T 172.5

今回の大会は、自己のベスト記録の 12.5 kg 下で満足のいく結果ではありませんでした。初めての国際大会だったのでとても緊張していたので動きが硬かったように思えます。また、中国や韓国と自分の記録がとても離れていたので悔しかったです。いつか中国や韓国の人たちに追いつきたいと思いました。今回セコンドや指導して下さった先生方ありがとうございました。学校へ戻って先生方のアドバイスを思い出しながら練習に取り組んでいきたいと思います。

<男子>

5 6 kg級 幸地 聰（沖縄県立南部工業高校）

S 87.5 92.5 × 92.5 J 110.0 117.5 × 117.5 × T 202.5

初めて国際大会に出て感じたことは、以外と大会の雰囲気に和みやすくてやりやすかったです。でもシャフトなどの道具の違いにびっくりしました。あと、中国と韓国の選手は日本で聞いていたように筋肉の大きさなど違いを知りました。これをきっかけに日本に帰ったら練習や筋トレなどを頑張りたいです。

6 2 kg級 山本 勇治（岡山県立笠岡工業高校）

S 95.0 100.0 × 100.0 × J 120.0 125.0 × 120.0 × T 215.0

初めての国際大会で緊張していて、スナッチの1本目を取って安心してしまい、2本目・3本目は集中力が少し欠けてしまい取ることができなかった。集中力が欠けてしまったままジャークに入ってしまい、ジャークも1本しか取れなかった。今回の大会で自分に足りない部分が分かった気がした。始めから終わりまで集中力が欠けないでできるようにしたい。また、中国、韓国の選手の試合を見て日本人とは違う体つきだった。

6 9 kg級 川畠 力大（京都府立加悦谷高校）

S 105.0 112.5 × 112.5 × J 135.0 × 135.0 140.0 × T 240.0

今回の試合は、前日の調整がうまくいかず良い結果を出すことができませんでした。海外での調整の難しさを知ったように思います。試合や会話を通じ中国、韓国選手との交流も深まり、良い経験になりました。最後に、このような国際交流試合に参加させていただきありがとうございました。

7 7 kg級 菅野 和利（宮城県柴田農林高校）

S 105.0 110.0 × 110.0 J 140.0 × 140.0 145.0 T 255.0

日韓中のこの大会は、自分が思っていたよりずっとレベルが高くてびっくりしました。特に中国はレベルが高く全然歯が立ちませんでした。この大会をきっかけに、日本に帰つてからフォームをもっと上手にし自分を鍛えて、韓国・中国に少しでも近づけるように努力していきたいです。この中日韓の国際大会に来て良かったです。

85kg級 大城 裕之（沖縄県立豊見城高校）

S 105.0 112.5 × 112.5 × J 140.0 150.0 × 150.0 × T 245.0

この国際大会をとおして感じたことは、中国と韓国の大好きなレベルの違いを感じました。特に中国は、女子・男子ともすば抜けていてとてもびっくりしました。でも、この大会をとおして得たものはもっとやる気が出たことです。沖縄に帰ったら、もと練習量を増やして中国や韓国を見返したいです。

94kg級 知念 剛（沖縄県立沖縄工業高校）

S 110.0 × 110.0 120.0 × J 140.0 150.0 × 150.0 × T 250.0

初めての国際大会に出てみて、中国の強さに感動しました。フォームのうまさや筋肉の強さが本当にすば抜けていました。自分は、この大会の記録は本当に最悪でした。でも、この大会に来て強くなりたいと思いました。

105kg級 宮下 貴志（群馬県立藤岡工業高校）

S 80.0 キ キ J 100.0 キ キ T 180.0

今回は、怪我をしていてベストコンディションでなく、スナッチ、ジャークともMAXまでいけなくて残念でした。中国、韓国の選手の試合を見ていて、韓国は日本より少し強く、中国は日本人では全く歯が立たない選手がたくさんいてびっくりしました。今まで、日本選手のフォームしか見てなくて、今回、他国の選手のフォームを見られて良かったです。良いところを吸収し自分のなかに取り入れていきたいです。自分は下半身、体幹部、上体など筋力が弱いので、これからもっと鍛えて、中国や韓国の中と肩を並べられるようになりたいと思います。

+105kg級 太田 和臣（福岡県立八幡中央高校）

S 127.5 137.5 × 137.5 × J 152.5 × 152.5 160.0 T 287.5

まず、海外での調整の難しさを知りました。何人か調子を崩していました。試合はスナッチを1本、ジャークを2本と少なく満足いくものではありませんでしたが、スナッチは日本高校新記録に挑戦しました。ジャークはアップ中に酸欠になってしまい1本目のスタートを落としてしまいました。日頃から練習中に本数を多めにしないといけないと思いました。あと、海外のフォームや練習を見られたことはとても勉強になりました。この試合ではたくさんの課題が見つかりました。帰ってから課題をひとつづつクリアーしていくこうと思いました。



更なる大学強化を！ 強化の柱となれ！

．．．大学生研修と Jr.Superiority 合宿．．．．

9月から12月にかけて、多くの学生の大会が繰り広げられた。学生の強化復活が、日本復活と言っても過言ではない。その中で、2002年の競技者育成プログラム(ナショナルトレーニングシステム)の発足以来、その目的を達成するために数々の事業を展開してきたが、今年も各大学の競技者育成プログラムへの理解と定着を図り、さらに大学生競技者の強化を推進するために大学生研修会(2年目)と Jr.Superiority 合宿(3年目)が実施された。

大学生研修会は9月10日～12日までの2泊3日に亘って、JISS(国立スポーツ科学センター)で11大学 28選手が参加して熱心に講義を聴き、実技と練習に早朝から、夜9時までの1日14時間を使い、有意義な研修会を終了することができた。その内容は、実に中身の濃い研修内容だったと学生から好評をえることが出来た。各大学に帰って、如何に還元できるかにかかっている。その内容を紹介すると、

- (1) 学生スポーツの意義と趣旨説明と競技者育成プログラムについて・・小平学連会長
- (2) 講義「トレーニングと栄養」・・・JISS 目加田優子先生
- (3) 講義「障害のケアと予防」・・・東京大学 渡會公治先生
- (4) 講義「メンタル・トレーニング」・・・JISS 三村 覚 先生
- (5) 講義「技術分析」・・・早稲田大学 岡田純一 先生
- (6) 実技「競技にあつた体操とストレングス」・・・JISS 土黒 秀則 先生
- (7) 実技「筋力トレーニング」・・・JISS 土黒 秀則 先生
- (8) 実技「スナッチ/クリーン&ジャーク/スクワットなど」・・協会 菊田三代治
- (9) ウエイトリフティング・テスト・・・協会 小宮山哲雄、長谷場久美
- (10) 総括・・・協会 岡本 実

次に12月10日から19日までの10日間は、一年間の学生大会の成績を基にして、来年度以降の活躍を期して、男子10名、女子7名を選抜して Jr.Superiority 合宿が実施された。学年末試験直前で学生にとっては、多忙な期間ではあったが、以下の目的で、一日7時間から8時間のロング・ラン・トレーニングを行った。目的①NTSの一貫事業であり、世界を目指す意欲の喚起②オールラウンドな体力づくりの必要性と実際のトレーニング③ウェイトリフティング技術の確認と修正トレーニングの実行④来年度以降の目標記録の設定と練習計画の策定 などである。若さ溢れる練習風景は、他を圧倒する風を呼び寄せる力がある。今の風を上昇気流に乗せて、上がっていって欲しい。

(担当 菊田三代治)



2004インターナショナルフレンドシップトーナメント

大会期間 平成16年9月22日（水）男女軽量級・23日（木）男女重量級
場所 中華人民共和国浙江省開化県

日本選手団 団長 原 時夫（群馬県WL協会会長）

審判員 岡本 実・飯野 茂夫

監督 菊田三代治（男子） 長谷場久美（女子）

コーチ 小宮山哲雄・守昌宏・鈴木誠二・野沢雄一・翁長真由美

<男子選手>

56kg級 大田 真志（日体大） 48kg級 角田 祥子（立命大）

62kg級 大城 隆三（日大） 53kg級 沼田 洋子（平国大）

69kg級 井戸 豊（日体大） 63kg級 川上 知子（日体大）

77kg級 新谷 義人（大商大） 69kg級 狩俣 康美（宮古農）

85kg級 高橋 竜太（九国大） 75kg級 宮城 寿子（日体大）

94kg級 菅井 博朗（自衛隊） +75kg級 今鉢 一恵（日体大）

105kg級 園山 昇（自衛隊）

+105kg級 関谷 圭介（サンスエ）

<女子選手>



大会終了後の日本選手団

2004年インターナショナルフレンドシップトーナメント（日・韓・中）3ヶ国対抗戦として各国男子8名、女子は7名（日本は6名）の選手が中華人民共和国杭州開化県に集い盛大に開催された。開催地の開化県は、浙江省の西に位置し杭州空港からバスで約4時間のところにあり、人口は約34万人の町である。特に国家森林公園や国家自然保護区と80%以上を山地が占めている。開化県は主に、5つの有名なことで知られている。①「自然豊で緑が豊富」、②「お茶の香りが良い」、③「シリコン製品」、④「木彫り工芸品」、⑤「重量挙げが強い」の5つです。

今大会の日本のチーム編成としては、学生を中心とする編成で臨み、その中でも最年長の園山選手（自衛隊）をキャプテンとしてチームの結束を図った。韓国はジュニア選手を中心に、中国は地元杭州地区の代表選手で熱戦を繰りひろげた結果、男女とも中国チームの圧勝で終了した。

来年は日本開催で行われる。今回の大会を見て経験し学んだ事を今後に生かしてもらいたい。

各選手達の大会所見

<56 kg級>

大田選手（日本体育大学） スナッチ1回目95kgを成功し、2・3回目は受けが決まらず失敗。 ジャークも2回目132.5kgを成功し、3回目初めて140kgに挑戦したがDLで前にとられ最後まで引ききれなく失敗した。

<62 kg級>

大城選手（日本大学） スナッチ2回目110kgを成功し、3回目は115kgをおさえるとこまでは良かったが立ち上がる際にぐらついて失敗した。ジャークは、2回目も137.5kgを成功し3回目142.5kgは立ち上がりの際バウンドをうまく使えなく失敗した。

<69 kg級>

井戸選手（日本体育大学） スナッチは1回目110kgを重心が後方にいき失敗、2回目は受けにまわってタイミングが合わずバランスを崩し失敗し、3回目は引きっぱなしになり受けきれず失敗。 ジャークは2回目自己ベスト150kg成功し、3回目155kgはディップで負けてしまいタイミングが合わず後方に落とし失敗した。

<77 kg級>

新谷選手（大阪商業大学） スナッチ1回目130kgは最後まで引ききらずに入ろうとしたため入れるところまでバーが上がらず失敗。2回目130kgは1回目の失敗点を意識し成功。3回目135kgも同様、意識でき目標に達成することが出来た。ジャークは2回目170kg成功し3回目175kgは腰の痛みもありクリーンで入りきれなく失敗した。

<85 kg級>

高橋選手（九州国際大学） スナッチ3回目135kg、ジャーク3回目165kgで6発とも成功させた。内容的には、スナッチにおいてはフォームの部分で納得いくものではなかった、ジャークにおいてはクリーンの時に力む癖があるので今後の課題としたい。

<94 kg級>

菅井選手（自衛隊体育学校） スナッチ3回目140kg（自己新記録）を成功し、ジャークは2回目180kgを成功し、3回目190kgはクリーンの際、セカンドの引きつけ部分で重量に負けてしまい受けから立つことが出来なく失敗した。

<105 kg級>

園山選手（自衛隊体育学校） スナッチ2回目150kgを成功し、3回目155kgは引き出しの際、腰が落ちてセカンドプルが繋がらなかった。ジャークは1回目182.5kgを成功し、2・3回目190kgはディップ不十分で腰がふらついていたため失敗した。

<+105 kg級>

関谷選手（サンスエ） スナッチ1回目145kg成功し、2・3回目150kgは決めの際後方に流れてしまい修正出来ず失敗した。ジャークは1回目185kg成功し、2回目195kgをクリーンで受けた際、後方に倒れてしまい失敗。3回目195kgはディップにおいて突ききれず失敗した。

最後になりますが、原団長はじめ各役員、監督、スタッフの皆様本当にお世話になり、有り難うございました。本大会に男子コーチとして参加させていただき、私にとっても大変勉強になった大会になりました。今後は、目で見て聞いたことを少しでも役立てるよう指導育成していきたいと思います。

自衛隊体育学校コーチ／鈴木 誠二

2004インターナショナルフレンドシップトーナメント写真



出発前に激励する原団長



選手団ホテル（開化大酒店）



試合会場 浙江省青少年举重訓練基地



熱烈歓迎の街並み



試合後の記念写真

2004インターナショナルフレンドシップ ウエイトリフティングトーナメント報告書

女子コーチ 野沢 雄一

2004フレンドシップ大会は、中国の浙江省開化という地で行われた。女子選手団には、監督に長谷場久美・若手初出場コーチで野沢雄一（小山北桜高）・翁長真由美（宮古農林高）の2名。選手は、48kg級に角田祥子（立命館大）、53kg級に沼田洋子（平成国際大）、58kg級に松本萌波（早稲田大）、63kg級に川上知子（日体大）、69kg級に狩俣康美（宮古農林高）、75kg級に宮城寿子（日体大）、+75kg級に今鉢一恵（日体大）の7名が決定していた。しかし、松本が8月の大会で怪我をしてしまい本人は強く出場を希望していたが大会直前まで双方監督の話し合いの結果、選手の将来性を考慮し、本人も納得の上で棄権を決断した。

女子チームは、全日程を通してリーダーの今鉢を中心にまとまりがあり、良い雰囲気の中で良く練習をするメンバーが揃った。大学生主体のチームのため海外遠征経験も豊富で初遠征の高校生狩俣をサポートしている姿を見るとまるで同じ学校の選手たちのようであった。大会においても36試技中22本成功と1人平均4本までには2本足りなかったものの、海外において失格者もなくチームでこの成績は健闘したのではないかと思われる。特に直前の練習で一番調子の悪かった宮城は6本成功させた。

日程は、9月18日（土）に国立スポーツ科学センターに集合して直前合宿に入った。練習前のミーティングで選手全員に男子監督の菊田先生より「今回の大会は、チャンピオンシップではないが個人の記念試合という意識で出場するな」と檄が飛ばされ練習が始まった。また、2日間の練習と2週間前からの練習内容を資料として、遠征先のミーティングでスタート重量を決めることにした。20日（月）スポーツセンターを出発して、成田空港へ移動した。10：05発の予定であったが、この日の旅行者が非常に多く出国手続きも30分以上遅れ、出発も40分以上遅れてのフライトであった。

杭州空港に着くと、通訳の方と日本チーム担当の方々に出迎えてもらい、空港よりバスで移動した。移動中のバスからの景色で印象的だったのは、市内はほこりっぽく、車やバイク・自転車などの通行が不規則に多くそれぞれの運転者が自分勝手に走っている。そこをいつでもどこでも自分勝手に横切る人々の姿があった。市内のレストランで食事をしてから高速道路に乗った。高速道路はすべて日本のものが使用されていて、良く整備されており、通行車両は様々で日本車やヨーロッパ車などの外車でも高級車が多く、交通マナーの悪い人は少なかったが、中国のドライバーは前の車が危険な時だけでなく追い抜きの時にもその他の時にもすぐクラクションを鳴らす。少し走ると山しかなく、時々見える風景が西遊記に出てくるような景色であった。また、民家は集合住宅が多く、しかもどこの家も3階建ての同じような造りであり、立派な建物も多く目立った。結局1度パーキン

グでトイレ休憩をして移動には約5時間かかってホテルに到着した。ホテルに着くとＳＰや警察官・大会関係者など大勢の人がロビーに集まっていて、地元市長さんに出迎えてもらった。

開化という地区は、浙江省の中でも位置的には西の端にあり、お茶やキノコの名産地でこれから開かれていく町らしくロケットの発射台もあった。車よりバイクで移動する人々の姿がよく見られ、しかも3人乗りである。また、バスでの移動の時には必ず近所の人々に睨まれるため通訳の人に聞くと、外国人がこの地に足を踏み入れること自体が初めてらしい。会場近くには、近代建築ビルが川沿いに列び東京・お台場の様であった。

食事は、油っぽいものが多く3食ともホテルのバイキングで飲み物は、全て常温。冷たいものを飲む習慣がないらしく、バイキングの時にもオレンジジュースとパインジュースが用意されていたが温めたものであった。

大会の状況は、ホテルから会場への移動には、警察車両の先導付きで中国のすばらしさを満喫でき熱烈歓迎がとても印象的だった。会場は2日間とも超満員で体育館に入場できない人達はアップ場のテレビ中継を見ていた。体育館の外側には派手な垂れ幕が50本以上飾り付けてあり、スポーツへの関心や競技の人気から日本でいうと大相撲のようだった。会場内の雰囲気も日本とは違いオープニングの選手から成功するとダウン表示のブザー音が聞こえないほどの大歓声で初日に出場した選手は戸惑いからリズムを崩してしまう選手もいた。

韓国選手団は、クラブチームでの参加だったため戦力的には日本チームと同じ程度であったが強さを感じた。

中国選手団は、記録的にも大幅に差が感じられたが一番注目したのは、選手の三角筋や広背筋などの上半身の骨格が体操競技の選手と同じ骨格をしていることに驚いた。

団体戦では、メダル1個の差で3位であったが、会場にいた子供たちからは日本人選手が一番人気がありサイン責めにあっていた。選手全員からサインをもらい終わると私たちコーチングスタッフにもサインをして欲しいとお願いにきたり、写真を一緒になどと試合終了後にはいつも子供たちに囲まれていた。

今回、私にとって初めての海外遠征の大会のため、すべての事が初体験で感動と反省の毎日だった。このとてもすばらしい経験を今後選手育成のために役立て、次回はチャンピオンシップ大会に参加できる指導者になるための努力をしていきたいと思う。

フレンドシップ大会へのコーチに推薦していただいた日本協会の先生方・支援していただいた地元栃木県協会の先生方・職場の先生方・共に遠征させていただいたコーチングスタッフの先生方と選手諸君に心から感謝申し上げて報告と致します。

2004年 第20回世界マスターズ写真



中島豊（73歳）日本選手団団長



大森康正（世界マスターズ殿堂入り式典）
* 鈴木幸宏（東京都）古賀弘（長野県）
に続いて3人目



75歳以上の部の選手紹介



最年長89歳のチャールズ選手（米国）



チャールズ選手（米国）のスナッチ35kg



フスカ選手71歳（ハンガリー）ローマ、
東京五輪6位の選手が毎年出場し連続優勝

「2004年 第20回IWF世界マスターズ・ウェイトリフティング選手権大会
兼第11回世界マスターズ女子ウェイトリフティング選手権大会」

(概要)

○摂氏30℃を越す猛暑が続く日本国から直行便で約11時間をかけてウィーン(ヴィエナ)空港に到着。空港から車で45分。バーデン着。そこはさわやかな風が心地よい信州の初秋だった。○このオーストリア国ウィーン郊外のバーデン市(人口23,500人、面積27km²)で今年は、同国リフター界のスーパースター、ウォルター・レーゲル氏の記念大会として開催。○古代ローマ時代からリューマチ治療で有名な温泉保養地として、また、1800年代前半にはハプスブルグ皇帝家の夏の避暑地として栄えたバーデン。1480年に市に昇格。時の皇帝フリエドリッヒ3世から温泉保養地を表す、男女が向かい合って木の浴槽につかっている市の紋章を授かっている。○日本国選手団の宿舎としたホテル・カルソーは同市の北東に位置し、なだらかな傾斜地に建つ4階建てで小さっぽりした山荘風の四つ星ホテル。○同ホテルを出て坂道を下れば、公営の大賭博場と国際会議場が同居しているカジノ・バーデン。更に、よく見ないと外観からは判らない警察署、消防署を経てシュテファン分教区教会の前を通り、高さ20mの古い記念碑が立つ町の中央広場に出る。日本人に人気の「第九」をベートーベンが、この地に逗留して書き上げたというベートーベン・ハウス(実は、質素な町屋。)が近くにある。そして、温泉のお湯を使った硫黄の匂いのする噴水が中央にあるヨセフス広場に出る。ナポレオン皇帝の妃となったハプスブルグ家のマリー・ルイーズ皇女が滞在した館など、由緒ある温泉地の建物が見られる。

○競技会場は、ここから東南へ歩いて20分の距離。

- 1 開催期日 平成16年9月25日(土)～10月2日(土)
- 2 場所 オーストリア国 ウィーン近郊のバーデン市スポーツホール
- 3 参加選手 42か国から女性52名、男性438名、合計490名が競技。
女性選手の年代層では、30才代が9名(昨年9名)40才代の28名(昨年25名)が最も多く、50才代の10名(昨年12名)、60才代は5名(昨年4名)が出場した。
男性は今回、90才代の選手の出場は無く、80才代が6名(昨年5名)、70才代は41名(昨年34名)、60才代は107名(昨年46名)が競技をした。

4 参加結果

- (1) 女性選手初参加の岩永選手がフランスを寄せ付けず米国を振り切り初優勝金メダル。
- (2) 日本国は国別団体選手権に第7位入賞。(昨年は初優勝。)

①ドイツ国(221点。昨年180点。)②オーストリア国(216点)③ロシア国(205点。昨年188点。)④米国(205点。193点。)⑤イラン国(203点。)⑥ブルガリア国((200点。)⑦日本国(195点。昨年213点。)⑧英国(193点。昨年204点。)⑨ウクライナ国(178点。)⑩フランス国(114点。昨年140点。)

(3) 個人別選手権(日本国メダル獲得数)

金……5(昨年6)、銀……3(昨年6)、銅……4(昨年1) 合計12(昨年13)

				スナッチ	ジャーク	トータル	MP
ア 金メダル							
* 女性の部							
58 kg級②	岩永小百合	41	(山梨県)	55.0	72.5	127.5	182.8
* 男性の部							
56 kg級⑥	永穂 康弘	63	(大阪府)	57.5	72.5	130.0	320.5
56 kg級⑤	市川 秀俊	55	(長野県)	67.5	82.5	150.0	314.2
69 kg級⑦	桂川 孝三	66	(東京都)	77.5	92.5	170.0	375.8
77 kg級⑤	岡田 隆	56	(山梨県)	92.5	115.0	207.5	360.6
イ 銀メダル							
56 kg級⑤	鈴木 幸宏	57	(東京都)	65.0	75.0	140.0	308.2
62 kg級⑤	砂辺 勇	57	(沖縄県)	80.0	85.0	165.0	339.0
62 kg級③	大塚 真	47	(東京都)	77.5	95.0	172.5	302.5
ウ 銅メダル							
62 kg級⑧	中島 豊	73	(大分県)	50.0	70.0	120.0	360.9
69 kg級⑥	真野 正	63	(広島県)	80.0	90.0	170.0	358.1
105 kg級⑤	下坂 義昭	55	(秋田県)	110.0	130.0	240.0	348.3
56 kg級④	佐古 浩	53	(宮城県)	65.0	85.0	150.0	299.5

エ その他

第4位……5名、第5位……3名、第7位……3名、第10位……1名、失格…
…2名。合計26名。

5 競技進行等の状況について

今回から、パソコン画面の選手名の横に同選手の出番までの試技本数が表示され進行の変化ごとに試技順の数字が自動的に対応表示されるディスプレイシステムが採用され、選手は、アップ場のパソコン画面を見ながら出番までの本数を瞬時に確認し、落ち着いてアップに専念できた。

同じ画面が、ステージ下の重量受付場所や会場進行係のスタッフデスク並びに、会場内の大きなスクリーンいっぱいに鮮明でカラフルな画面が同時映写された。

特に、ステージ下の重量受付場所では、2回目、3回目の試技重量の申し込みを係員が画面を見ながらただちに入力。その時、選手も画面を確認できるというもので、試技票は不要となり使用されなかった。

6 世界記録関係について

昨年、桂川孝三選手（東京都）がスナッチ種目の2回目83.0kgの世界新記録に成功のビッグニュースがあったが今年は、日本選手で世界記録への挑戦はなかった。

今回、バーデンの大会で女性の部で10、男性の部で28の世界記録が樹立された。

7 審判の状況について

ジュリー団からのクレームで判定を覆したケースは、3回あった。ジュリーは、5

人制で審判の判定に問題がある場合は、プレジデント・ジュリーが審判を召集して判定の不具合内容を確認、指導する様子が見られた。

高齢者特有のファイナル姿勢での腕の曲がりについても、前回、容認されていた程度のものは、ことごとく失敗と判定され、一昨年の厳しさに戻った觀があった。

8 ドーピング検査も通常どおり実施された。

9 会議の状況について

- (1) アジア・マスターズ連盟のチエアマンに就任された前団長の武藤久太先生が急逝されたことにより、IWF マスターズ役員会（執行委員会、殿堂入り委員会）の開会に先立ち、各委員会毎に同先生への黙とうが行われ生前の栄誉を称え、ご冥福をお祈りした。そして、最終日のパンケット前の式典では、同先生の業績を称え IWF マスターズから同先生のご家族に感謝の気持ちを表す記念の盾が贈呈され、義理の弟に当たられる現団長の中島先生が受け取られた。
- (2) アジア・マスターズ連盟チエアマンの中島豊先生（大分県）、ヴァイス（副）・チエアマンの鈴木靖二さん（東京都）の2名が、今回よりそれぞれの身分で会議に出席。オーストラリアのオセアニア・チエアマンのボブヘメリイ氏から「アジア・オセアニアマスターズ大会開催」について話し合いを持ちかけられ、討議の内容を確認し、次回、検討をすることとした。
- (3) 今回、大森が IWF マスターズの殿堂入りを許され、鈴木幸宏氏（東京都）、古賀弘氏（長野県）に続き、日本人で3人目の殿堂入りとなった。

10 今後の IWF 世界マスターズ大会（決定分）について

- (1) 来年、2005年はカナダ国 エドモントン。（マスターズ・ゲームスとして実施）
* 開催期日 7月22日（金）～ 7月29日（金）
- (2) 2006年は、フランス国ボルドー市。
- (3) 2007年は、ハンガリー国カジンバルチカ（ブダペスト北東200km）
- (4) 2008年は、現在、エルサルバドル国が立候補。エドモントンの会議で決定。
- (5) 2009年は、オーストラリア国シドニー市。（マスターズゲームスとして実施）

○今回の大会で……特筆すべきは、イラン国の多数参加。揃えのユニフォームや国旗、ベールの女性、子供もファミリーぐるみの大応援。現地のイラン国大使も応援に見えていたし、役員団も各国に名刺を配って挨拶に努めるなど大変な力の入れよう。今後、日本国的好ライバルになることは確実。そして、ユーロ通貨に統一されて初の大会ですが、ヨーロッパの人々の参加状況を見ても、数の上でも、強さの上でも大変な元気ぶり。今回は特に、オーストリア国のウィーンという地理的にも中心的な条件が、良かったのかも知れませんが、ユーロ圏共同体は、元気も含めて今後、大きく進展して行く気配を感じました。

○10月6日（水）には、全員無事帰国しました。

御支援、ありがとうございました。 (文責 大森)

マスターズ特別寄稿

長野県WL協会 古賀 弘

生涯学習（スポーツ）について考えた

怪我をした。考えた。そしてふと思った。小説「インドの道」で知られるイギリスの作家E・フォスター（1970年没）は、「昨日は今日よりましとは限らず、悪くなる可能性もある。だが一つだけ、かけがえのない魅力がある。すなわち、まだ来てないということだ」と言っている。まだ来ない明日が今日になり、今日が昨日になる日々が重なつて、東京の会社を定年退職後丸7年。あっという間に時は経ち、想像もしなかった年齢（67歳）になりました。速いものです。その間、信州で田舎暮らしをしながらウエイトリフティングを継続し、その素晴らしい競技を魅了してきた。

しかし近年、体力の衰えに怪我も重なり、競技活動の継続が辛かったり、苦しかったり、堪えがたい苦痛の現実に直面し、今は生涯学習が少し重荷になってきている。

そもそも生涯学習の本質は、日々スポーツに親しみながら、健康な心身を培い、楽しみや喜び（生きがい）を得ることが学習の目的であるはずなのに、（たしかに日本体育協会も1986年にスポーツ憲章を定めている。この第1条では、スポーツは人々が楽しみ、よりよく生きるために、自ら行う自由な身体活動であるとうたっている。）今までそんな事は考えず、結果（勝敗）ばかり気にしていたいう事に気付き、いかに自分が生涯学習の一番の基本（原点）の姿に無頓着であったか思い知った。

考えてみると、高齢化社会をはっきりと意識する年齢になり、気力と体力の衰えは加齢に比例して日々老化現象を繰り返し老いていく（気がめいる）。

だがそれでも年齢に比べて不思議なほど健康で、日常座臥の間、自分に向かって常々気力体力と言い聞かせ、一見元気元気です。元気「万物生成の根本となる精氣」（広辞苑）と意味し、江戸の儒教者、貝原益軒の「養生訓」では「（元気は）是人身の根本なり」と説明されている……が。私自身にとって元気とは、元はおおもと、気は天地のエネルギーという意味合いの元気さで、気持ちは飽くまで後ろ向きにならないよう体を動かし、汗を流し、自らを励まし続けている。

しかし膝や腰や肩に、物忘れやら、あちこち不注意になって、若い頃のようなわけにはいかない。むろん自分の体力の消耗と引き換えに手に入れた僥倖のリフティングの継続も気力の所産と思い定めて老いに逆らっていますが、何せこの歳です。所詮人生、運不運。この先、なるようにしかならない……。

でも今まで、やるだけの事はやって来たんだから、今更、老いをいたずらに悲観することなく、肩肘張らず、怪我と相談しながら、一步一步急がず、休まず、無理せず、じっくりと。それもお金で買えない感動や体験など、価値ある人生を。これからもきっと。楽しみながら、もっと。他ならぬ、自分の生きていくためのエネルギーとして生涯学習を継続して頑張ろう。そして中高齢者に自信と希望と夢をモットーに、生涯学習の旗振り役を務めよう……と。そんな思いを、たそがれた今は、しみじみと考える。



1997年第13回世界マスターズ大会
(ポーランド・コスザリン) 70kg級
に出場しJ107.5kgの世界新記録
で優勝した。(当時の年齢60歳)

<古賀 弘・プロフィール>

1937年(昭和12年)マーシャル諸島生まれ

1961年(昭和36年)東京西部百貨店入社

1997年(平成9年)セゾングループ定年退職

2001年(平成13年)マスターズ殿堂入り

*アメリカ・ペンシルバニア州ニューヨーク市の殿堂博物館入り



収穫があったアジア・ジュニア選手権大会

かつて女子世界選手権大会やアジア選手権大会が行われた実績のあるチェンマイ市で、10月7日～10日までの4日間に渡って、大会が行われた。男子16カ国70名、女子8カ国31名がエントリーして熱い戦いが繰り広げられた。タイ王国は、先般のアテネオリンピック大会で女子4選手全員がメダリスト、中でも2名が金メダリストでウエイトリフティング人気が高まっている中、日本からは、男子3選手、女子4選手が参加し、積極的な試技をしてくれた。大会はユース大会も控えていたこともあり、ユース選手も多く、会場は、まさに育って欲しい大会、育てたい大会と盛り上がっていた。実に、爽やかな大会に終始していたのは楽しかった。ぜひ、ユース大会にも日本から参加できるよう人材の発掘と一貫指導の必要性を切に願った。

日本選手は、男子は、3位以内には手が届かなかったが、平良健太の意欲ある試技はSnatch122.5Kgの自己新記録、Jerkも軽く、自己新記録には届かなかったが、確実に大きく、強くなっていた。仲程忠史は、直前の大学の練習で痛めた手首通が、痛みが継続していて、棄権も想定する状態だったけれども、できるリフティングをしてくれた。6試技成功は次に繋がる試技であり、観客には競技の醍醐味を、指導者には、選手との信頼感が伝わってきた。渡辺勇人は、去年に引き続き、今大会にでたので、結果を出して欲しい選手であったが、気負いすぎたのか、成長の後を残すことが出来なかつたが、これからももっと練習を積み重ねて成長していって欲しい。

女子は、大城みさきは、体調は決して好くなかったけれども、6試技成功で気持ちよく終えることができた。Jrも終わり、Srとしての記録の伸びに期待したい。島袋由加里は、Jerkで、体重差ながら2位となり、Snatchでは納得行かなかつたが、着実に結果を残しているので、彼女もまた、Srとしての記録の伸びに期待したい。菊田裕子は、Snatchでは、過緊張状態で3試技目でようやく挙げたが、Jerkでは3試技とも成功し、自己新記録を成功させ、次に繋がる戦い方を示してくれた。城内史子はSnatchから徐所に大会の雰囲気を利用し、Jerkでは、117.5Kgに挑戦したが、惜しくもJerkで差しきれず落としてしまつた。しかし、最近、進境著しく、今後に期待できる選手に育って欲しい。

以上、男子10位、女子4位で終了できた。これで今年度の国際大会は終わつた。

最後に、成果と課題について述べたい。

成果

アテネオリンピックが終り、北京オリンピックを目指にする時、新たな強化対策を構築しなければならない。実際には、18歳～21歳の選手をどう強化するに懸かっている。本大会がその4年後を語るときの大きな資料となる大会であった。なぜなら、2007年の世界選手権大会（北京オリンピック枠取り大会）がチェンマイ市で開催されることで、世界の素材の宝庫と言われる東南アジアのジュニア層を知ることができることであった。そして、

次代の日本を背負うであろう今回の選手の力量を知る格好の大会であった。その二点に於いて、十分な刺激と情報と可能性を入手できた。選手は全員、積極的な試合運びをしてくれた。

課題

東南アジアのジュニア層の厚さを知ることができた。日本は、強化策の練り直し、つまりジュニア層の通年での強化計画と、選手層の厚みをつけるために国内のみならず、国外でのライバルを想定することで、海外との交流を図っていかなければならない。

選手の個人的には、全身の筋力面でのひ弱さが、目についた。もっともっと筋力面をつけることによって、パワーを高めるトレーニングが必要だと痛感した。この二点克服に向けて着実に実行していきたい。



第49回全日本学生新人選手権大会

男子最優秀選手（寺島啓史：日大）

女子最優秀選手（山口智子：明大）が受賞！



最優秀選手の山口選手と寺島選手

大型台風が毎週のようにやってくる中、皆の願いが届いたのか、見事な秋晴れの中、平成16年度第49回全日本学生ウエイトリフティング新人選手権大会」が横浜市磯子スポーツセンターにて10月16日から17日の二日間開催されました。

この大会は、全日本のタイトルのつく権威ある大会であり、若手選手の育成を目的に開催され、多くの名選手たちの登竜門として49回という長い歴史があります。

今回は85名の参加のもと、各階級において力強い試技が繰り広げられました。そして、学生の新人の大会ということで、記録はもとよりスポーツマンらしい礼儀正しい競技を繰り広げる若い選手のすがすがしい競技が目立ち、今後の活躍が大いに期待できる試合となりました。

試合結果としては、男子+105kg級においてC&J競技で3回目に175kgの大会新記録に成功し、トータルにおいても310kgの大会新記録を樹立して優勝した日本大学の寺島啓史選手が最優秀選手に選ばれました。女子では、58kg級で優勝した明治大学の山口智子選手が同じく最優秀選手賞を手にしました。

両選手はもとより、その他の多くの若手選手が、今後の学生スポーツ並びに日本ウエイトリフティング界を大いに盛り上げていってくれるもの信じております。

学生連盟副理事長／篠 弘明

全日本学生新人選手権大会優勝者の感想



56kg級優勝 清水 洋平 中央大1年

身長 159cm 谷村工業高校出

大会結果 S 95.0 J 115.0 T 210.0

練習ベスト S95、J115、Sql165、DL140、Mp55

<Q1> 優勝の感想は？

優勝は大変嬉しいですが、反省点も多くまだま
だなと思いました。60点の出来。

<Q2> 高校時代と大学の練習の違いは？

高校時代は、ただ与えられたメニューをこなす
だけでしたが、大学では自分の弱点や調子によつ
てその日にやるメニューをアレンジしています。
あとは、シャフトを触る時間が増えた事です。
軽い重量でも自己ベスト以上の重量を意識して
練習しています。

<Q3> これから抱負？

今年中に全日本選手権大会出場の基準記録を突破
し、オリンピックに出場した山田さんの記録を抜
きたい。そして怪我することなく長く競技を続
けて行きたい。

69kg級優勝 田原 英一郎 早稲田大学4年

身長 159cm 島根県浜田高校出

大会結果 S 107.5 J 135.0 T 242.5

練習ベスト S107.5、J135、Sq205、DL180、Mp75

<Q1>

4年生ですから嬉しさと恥ずかしさが半分ずつで
す。全国大会という舞台で表彰台に立てたことが
良い思い出になると思います。100点の出来。

<Q2>

高校時代は、先生の指示で練習していたが、大学
では選手達が自分自身で考え練習しているところ。
結果的に伸び伸びと練習出来ているのが記録上昇
につながっていると思います。

<Q3>

生涯スポーツとしてこの競技を選びましたので、
就職しても練習を何とか続け斬新に記録を伸ばし
細く長く、ゆくゆくはマスターズ大会でも活躍で
きるよう身体を大事にしていきたいです。

62kg級優勝 五百歳 正和 大商大1年

身長 164cm 高知中央高校出

大会結果 S 110.5 J 135.0 T 245.0

練習ベスト S110、J135、Sql180、DL160、Mp65

<Q1>

嬉しいです！！ 90点の出来。

<Q2>

高校では、部員数が少なく活気がなかったけれど、
大学では部員数も多く練習を楽しく、そして教
えてくれる先輩いるので、高校で気づかなかつた点
を練習できる事です。

<Q3>

大学のレベルに早く追いつけるように頑張り、イ
ンカレで優勝したい。

抜きたい。

77kg級優勝 廣島 崇喜 國士館大2年

身長 165cm 八千代松蔭高校出

大会結果 S 112.5 J 140.0 T 252.5

練習ベスト S115、J142.5、Sql182.5、DL180、Mp65

<Q1>

この大会で自己ベストを出すことはできません
でしたが、初めて獲得したメダルが金で大変嬉
しいです。80点の出来。

<Q2>

高校時代は先生の指示で練習していたが、大学で
は、選手達が自分自身で考え練習しているところ
が大きな違いだと思います。
結果的に伸び伸びと練習ができ記録の伸びにつな
がっていると思います。

<Q3>

今年中にS. Jを5kgアップし、國士館大学を
一部昇格すること。

一生に一回の初タイトル“新人戦”の感想

85kg級優勝 田中 裕人 法政大学1年

身長164cm 金足農業高校出

大会結果 S 115. 5 J 150. 0 T 265. 0

練習ベスト S125、J152.5、Sq215、DL180、Mp87.5

<Q1> 優勝の感想は？

大変嬉しいですが、全体的に成功率が悪かったので全然納得していません。58点の出来。

<Q2> 高校時代と大学の練習の違いは？

高校と違い、周りの先輩たちが全国レベルで良い刺激となっています。また、練習量が多く特にスナッチ、ジャークは常にベスト近くの重量でセットをこなすメニューになっています。

<Q3> これから抱負

スナッチ・ジャークの記録を伸ばせるようにしたい。また、安定性がないので1本1本集中し、失敗しない練習をしたいです。

将来は、国際大会に出れるように頑張ります。

105kg級優勝 白井 仁士 日本大学1年

身長175cm 鎮西高校出

大会結果 S 135. 0 J 160. 0 T 295. 0

練習ベスト S132.5、J162.5、Sq235、DL200、Mp80

<Q1>

どうでもよかったです。60点の出来。

<Q2>

高校時代は、毎日ほぼ一緒の練習でしたが、大学では毎日が先輩やコーチが考えていただいた練習なので、高校時代に比べたら、ポイントにそった練習をしています。

<Q3>

今回の試合で、スナッチで自己新を出せて良かった。今年中に140kgの170kgをとりたい。将来は、105kg級の日本記録を樹立したい。

53kg級優勝 平澤 佐代子 日体大1年

身長157cm 土岐商業高校出

大会結果 S 55. 0 J 67. 5 T 122. 5

練習ベスト S57.5、J72.5、Sq100、DL90、Mp32.5

<Q1>

久しぶりにライバルの子に勝てて嬉しい。先輩方が色々でサポートして下さった結果調子を上げていく事ができました。自己評価は70点

<Q2>

練習時間が増えた。高校時代は回数やセット数が多くたけれど、大学は少ない分、重い重量でセットを組んだりしている。高校時代はフォームなど先生の指導に頼ってばかりでしたが、大学では先生や先輩のアドバイスを交え自分で考えてできるようになった。

<Q3>

体重、筋力を増やしてトータル150kgを目指したい。

そして、将来競技を続けながら指導者になりたい。

94kg級優勝 本多 淩 法政大学1年

身長168cm 勿来工業高校出

大会結果 S 125. 5 J 150. 0 T 280. 0

練習ベスト S130、J155、Sq210、DL200、Mp92.5

<Q1>

スナッチでは自己新記録を挙げる事ができましたが、その後のジャークでは記録的に満足できません。60点のでき。

<Q2>

大学の練習は、高校時代と比べると質・量ともにとても充実しています。大学の練習は上体を鍛えるメニューが多く、自分の苦手なジャークの補強になり、大変満足しています。

<Q3>

ジャークで常に160kg以上とれるようにジャークの苦手意識を無くし、将来はオリンピックに出場できるように日々の練習を大切にしていきたいです。

+105kg級優勝 寺島 啓史 日本大学1年

身長173cm 福島石川高校出

大会結果 S 135. 0 J 175. 0 T 310. 0

練習ベスト S137.5、J175、Sq245、DL230、Mp90

<Q1>

毎日の練習がこの結果を出すことができました。50点の出来。

<Q2>

高校時代は回数が多く、大学は重量を挙げるのが中心になっている。

<Q3>

まずは、ジュニア記録、そして大学記録を樹立し、スナッチ200kgをとり日本記録を樹立したい。

58kg級優勝 山口 智子 明治大学1年

身長158cm 熊本第一高校出

大会結果 S 60. 0 J 80. 0 T 140. 0

練習ベスト S 75、J 92. 5、Sq 120. 0

<Q1>

記録が低いため悔しい試合でした。
自己評価は40点

<Q2>

高校時代は、挙がれば良いと思っていたのでフォームの事など気にした事があまり無かったが、大学生になり、ちょっとした所にも気を配るような練習になった。力だけだったのが技術的な練習に変わったと思います。

<Q3>

自分の力を全て出し切るような練習をしたい。
そして、1つ1つ目標をクリアし、それが記録に結び付いていけたらいいなと思います。

2004年日・中市民スポーツ交流事業報告

報告者 小宮山哲雄
長谷場久美

- 1、事業主 (財) 日本体育協会スポーツ指導育成部
- 2、目的 日本と中国のスポーツ競技力向上のための指導者研修
- 3、日程 平成16年10月20日(水)～26日(火)
- 4、研修場所 中華人民共和国・北京市及び上海市
- 5、参加者 小宮山哲雄(日本ウェイトリフティング協会)
長谷場久美(日本ウェイトリフティング協会)
野口 有里(日本体育協会育成部育成課課長)

【 報告書 】

10月20日(水) 日本→中華人民共和国・北京 移動

10月21日(木) 22日(金) 23日(土) 北京市

(財) 日本体育協会の事業であるため中国体育総局(協会)事業部へ訪問。



五輪マーク入りの車で行動



国家体育総局(日本の体育協会)

国家体育総局部長 史 康成 氏と国家体育局課長 謝 燕歌 氏の談

中国強化体制（ウェイトリフティング含む全競技・種目について）

① 選手育成

☆国をあげての選手づくり、地方で選手発掘

郷・村で選手発掘→県及び区での強化 → 各省選抜 → ナショナルメンバー

② 指導者育成

☆選手終了後は教師あるいはコーチの道へ

コーチ資格及び研修会は日本とほぼ同じである。

初級・中級・高級のそれぞれの資格がある。

③ 報奨制度

☆ オリンピック金	国家より	20万元 (日本円約280万円)
	省より	50万元 (" 700万円)
	市より	50万元 (" 700万円)
	県または村より	家またはアパート 等
		スポンサーからは別に報奨金あり
		(例…一人の香港人は30万香港ドルと1kgの金を提供)
オリンピック銀	金の2/3	
オリンピック銅	金の1/3	

○ 北京体育大学訪問

懇談者…余 学鋒 氏（外事所長） 梁 文 氏（副教授：通訳）
謝 勇 監督（ウェイトナショナルコーチ）

余 氏 談

概要… 学生約10,000名（本科生6,000名：通信及び本校以外）
大学院生1,000名
付属体育高校2校で約1,000名（地方で通信等で3,000名）
創立51年を迎える。

国家体育北京体育大学内に国家体育総局教司所（日本の体育協会育成課）があるため、コーチの資格（初級・中級・高級）勉強が大学でも出来る（上海体育大学も同じ）。選手育成よりも資格を取る生徒が多い。選手生活が終わって勉強に専念する生徒もいるため、年齢も20後半から30歳になる学生も少なくない。（アテネオリンピック男子69kg級チャンピオンの張国政選手やシドニーオリンピック男子77kg級チャンピオン占旭剛選手も在籍）

全競技種目で優秀選手（国内3位以内、国際大会6位以内）は推薦入学制度ある。但し、オリンピックで活躍する選手も学費は支払い、免除等はない。

校内にリハビリティーションの施設も完備。

謝 勇 監督 談 (ウエイトリフティング部概要)

1979年創部、現在25年目である。

部員 男子18名 女子8名 (12歳~30歳: 中・高・大・社会人の一貫教育をしているためこの年齢構成) 指導者(コーチ)は3名

現在ウエイトリフティング競技を行っている大学は8校で高校は多い。小学生や中学生は地方の学校で競技を行っており、ウエイトリフティングが出来る“少年技術学校”あるいは“運動技術学院”に通っている生徒もいる。

現在6名の世界チャンピオンがこの大学から出ている。84年ロスオリンピックや、99年世界選手権大会女子でも活躍。

中国では12歳以下でも競技を行っているものが多い。

年代別大会 12・13歳の大会

14・15歳の大会

16・17歳の大会

スカウトも行っており、省や市・県・郷および村で能力(体力、バネ等)の高い選手がいたら勧誘してくる。18歳以下であれば近くの中学校や付属高校に通う。

男子上位選手	62kg 級選手	S 145 kg	J 180 kg
	69kg 級選手	S 150 kg	J 180 kg
	69kg 級選手	S 140 kg	J 175 kg



小宮山氏 謝監督 野口氏
余氏 史氏 長谷場氏 梁氏

北京体育大学練習風景

董 生輝 氏 紹介と談 (中国拳重協会事務局長)

現在5種目の事務局長でもある。
(ウェイト、ボクシング、柔道、
レスリング、テコンドウ)

- ・山東省出身
- ・国家公務員
(日本で言うと行政の役人)
- ・3年前は自転車競技の事務局長



右から3人目 董 氏

○ 中国のウェイトリフティング競技全国試合

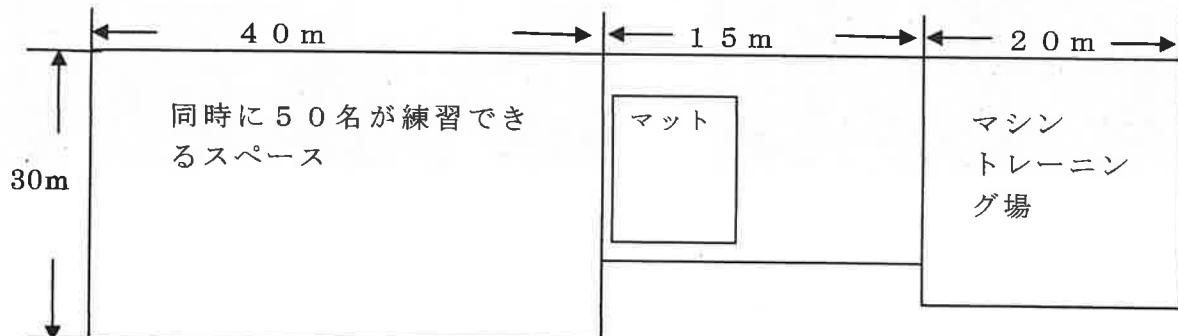
- ・全国運動競技会 (4年に1回) … 各省で予選あり (日本の国体と同じ)
- ・全国優勝大会 (毎年) … ランキング15位以内
- ・全国選手権大会 (毎年) … 各地方予選あり

○ コーチ制度

- ・1985年から始まる。
- ・他競技と同じ初級 (各支部で育てる)、中級、高級 (ナショナルコーチ)
上記コーチ 計200名

○ 北京ナショナルトレーニングセンター

- ・北京市において通年で練習。
- ・男子 30~40名 女子 40名程度 (入れ替えあり)
- ・軽量級は南地域、重量級は北地域の選手が多い。



○ 先農壇運動技術学院

- 北京市内に体育技術学校は6校あり、この学校にはウェイトリフティング競技種目がある。

- 男子 18名
(ナショナル1名、Jr 3名)
- 女子 16名
(Jr 3名)

- 高級コーチ 1名
コーチ 3名



トレーニング場風景

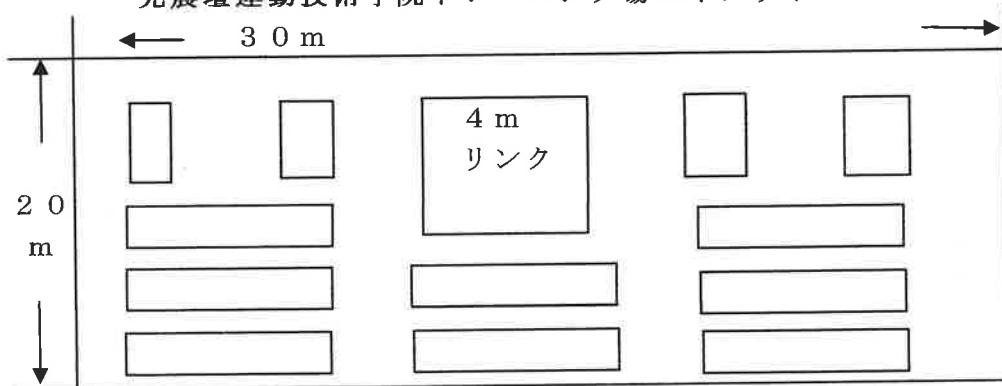
トレーニング形態 (○印はトレーニング)

	日	月	火	水	木	金	土
午 前	終日休み	授業	○	○	授業	○	○
(9:00~11:00)							
午 後		○	○	○	○	軽○	○
(14:30~17:00)							
夜				授業		授業	

- 授業については一般科目と体育専門科目を学習
- 全寮制であり、授業料・寮費も国・市・省が負担

男子の上位選手	77kg 級選手(85生)	S 150 kg	J 190 kg
	94kg 級選手(84生)	S 160 kg	J 205 kg
	105kg 級選手(80生)	S 165 kg	J 205 kg
女子の上位選手	48kg 級選手(87生)	S 80 kg	J 100 kg
	53kg 級選手(87生)	S 97.5 kg	J 120 kg
	+105kg 級選手(87生)	S 125 kg	J 165 kg

先農壇運動技術学院 トレーニング場レイアウト



10月24日（日）25日（月） 上海市

○ 上海体育学院紹介

- ・ 1952年創立
- ・ 教職員 700名
生徒 4000名
- ・ 10の専攻科あり
(スポーツ中心でコーチ養成、社会体育等)
- ・ 全寮制
- ・ 付属校 1校



左から通訳 張 家馬 氏 戴 光裕氏
の金銀日氏

上海体育学院では北京体育学校と同じ形態で学校を運営しており、競技で活躍している選手もいるが、どちらかというとコーチの資格、教員養成、社会体育各競技種目指導者要請を目指している。

1988年から国家体育総局（日本でいう日本体育協会）がコーチ養成を目的として上記2校に国際のコーチ資格を取得できる授業を組み入れた。

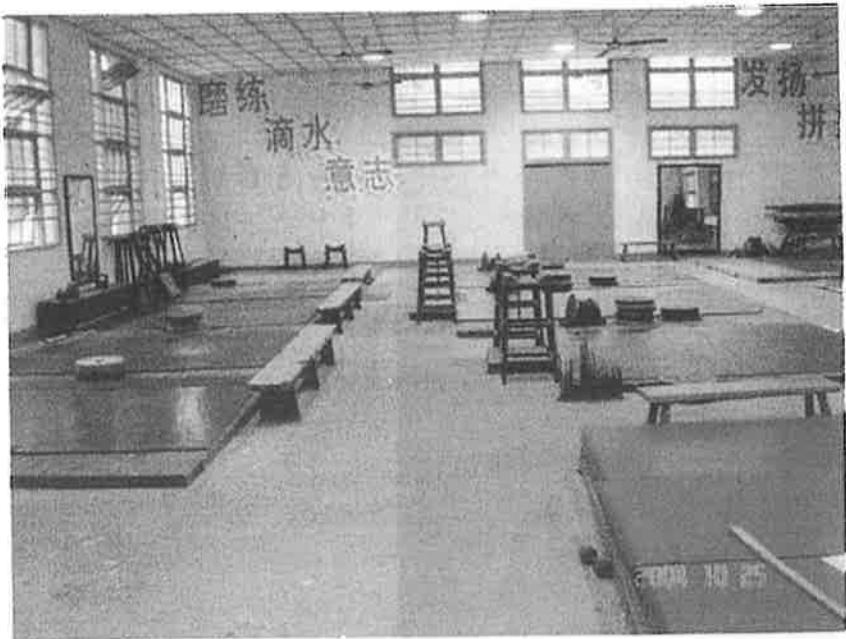
2002年から中国教育局、上海教育局の管理下になる

張 家馬 氏 紹介

- ・ 上海体育学院 成人教育部教育培訓主任 心理学副教授

戴 光裕 氏 紹介と談

- ・ 上海体育学院教授
- ・ 現在中国ウエイトリフティング協会顧問、以前は副会長。
- ・ 女子の指導にも貢献。北京は男子中心の強化、上海は女子中心の強化。
- ・ ウエイトリフティング部部員 男子 女子 で30名 コーチ 3名
少年体育学校より良い選手はスカウトする。
練習は午前授業午後トレーニング中心。
88年・94年女子選手世界チャンピオンを輩出。



トレーニング場風景

10カ所で同時に練習可能

○ 上海体育運動技術学院

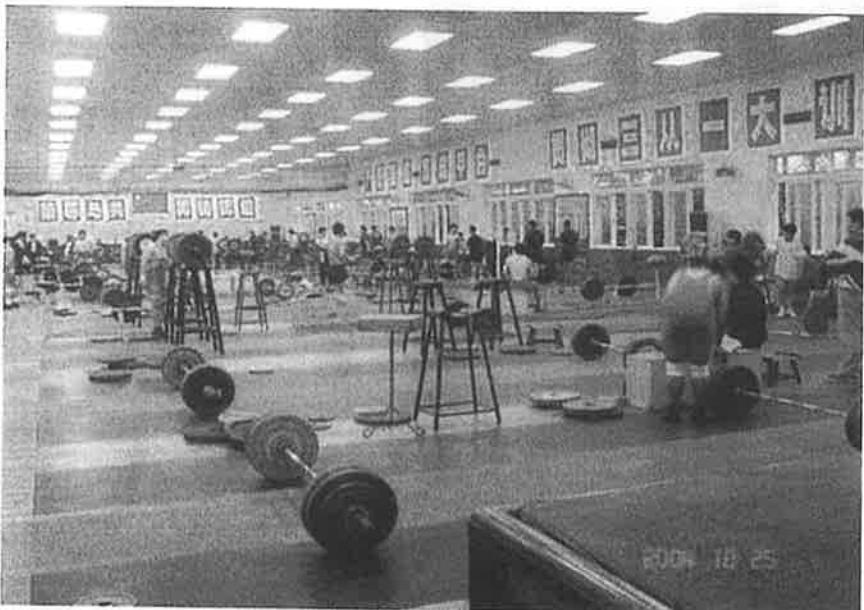
- ・ウエイトリフティング、陸上、自転車競技の3つの種目を持つ運動専門学校。
(アテネオリンピック男子110mハードル金メダリストの劉翔選手もこの学校の生徒である)
- ・ウエイトリフティング競技 選手 70名 指導者 8名
　　陸上競技 選手 200名 指導者 20名
　　自転車競技 選手 40名 指導者 6名
- ・ウエイトリフティング場(60m×20m)、400mトラック、自転車場(300mバンク)が完備され、当然全寮制である。

ウエイトリフティング場はとにかく大きい。同時に50名がトレーニングできるスペースであり、150名～180名はトレーニングできるであろう。

男子選手(14歳～27歳) 40名 女子選手(13歳～20歳) 30名
指導者 7名

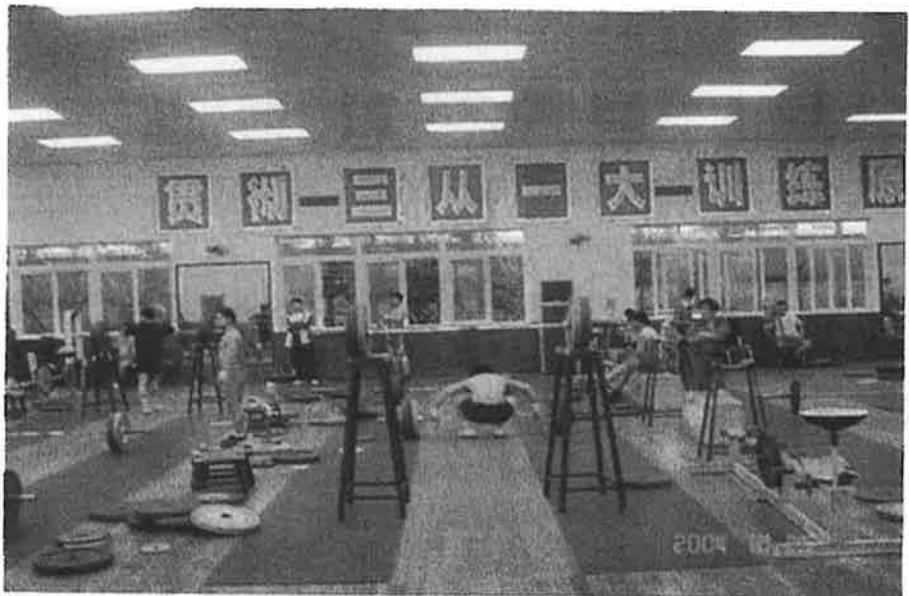
男子の上位選手	77kg 級選手(87生)	S 150kg	J 205kg
	+105kg 級選手(81生)	S 185kg	J 220kg
女子の上位選手	48kg 級選手	S 80kg	J 105kg
	53kg 級選手	S 87.5kg	J 105kg
	58kg 級選手	S 95kg	J 115kg
	63kg 級選手	S 95kg	J 120kg
	69kg 級選手	S 115kg	J 132.5kg
	+75kg 級選手	S 127.5kg	J 160kg

- ・ トレーニング形態については北京市の先農壇運動技術学院とほぼ同じで、練習中心である



広々とした
トレーニング場

選手は日々と
練習に打ち込んでいた



10月26日（水） 上海→成田空港へ

【 研修を通して 】

中国のウェイトリフティング競技は強化種目であるが、人気種目ではないようである。やはりサッカー・バレーの球技系や体操等が人気だそうだ。しかし、国・省・市がスポーツ選手に対して教育費、寮費等を全て負担（経済的に貧しい家庭が多い）し、練習に打ち込める環境を整えているため専念できるのであろう。

また、各省・市・区・学校の強化体制はその場所に集まれる13歳から27歳までが同じ道場で練習していること（一貫指導）。そして、強くなればJrチーム・ナショナルチームへ選抜され、通年で練習できることであろう。

報奨金は結果が出てからの見返りであって、練習できる環境作りが一番であろう。

世界記録と中国記録の比較（男子）

階級	種目	世界記録	中国記録	Jr 世界記録	Jr 中国記録
56kg	S	138.5	132.5S	130.5	130.0
	J	168.0	165.5	165.0	165.0
	T	305.0	295.0	295.0	295.0
62kg	S	153.0	153.0	152.5	152.5
	J	182.5	182.5	175.5	175.0
	T	325.0S	327.5	322.5	327.5
69kg	S	165.0	160.0	155.0	155.0
	J	197.5	197.5	187.5	192.5
	T	357.5	352.5	355.0	337.5
77kg	S	173.5	172.5	172.5	165.0
	J	210.0	207.5	202.5	195.0
	T	377.5	370.0	375.0	355.0
85kg	S	182.5	175.0	182.5	175.0
	J	218.0	218.0	205.0	200.0
	T	395.0	387.5	372.5	370.0
94kg	S	188.0	175.0S	185.0	167.5S
	J	232.5	213.0	232.5	205.0
	T	417.5S	387.5	412.5	365.0
105kg	S	198.5	198.0	198.5	172.5S
	J	242.5S	225.0	232.5	207.5
	T	440.0S	420.0	415.0	372.5S
+105kg	S	213.0	200.0	195.0	185.0
	J	263.5	250.0	240.0	231.0
	T	472.5	447.5	430.0	407.5

※ 記録の後のS印はスタンダード（基準）記録

世界記録と中国記録の比較（女子）

階級	種目	世界記録	中国記録	Jr 世界記録	Jr 中国記録
48kg	S	97.5	97.5	92.5	97.5
	J	116.5	120.0	115.5	112.5
	T	210.0	212.5	207.5	210.0
53kg	S	102.5	100.0	97.5	97.5
	J	127.5	127.5	125.0	122.5
	T	225.0	225.0	220.0	215.0
58kg	S	110.0	115.0	110.0	112.5
	J	133.0	140.0	132.5	137.5
	T	240.0	250.0	240.0	240.0
63kg	S	115.0	117.5S	113.0	115.0
	J	138.0	145.0	133.0	140.0
	T	247.5	257.5S	242.5	240.0
69kg	S	122.5	122.5	122.5	122.5
	J	153.0	155.0	153.0	155.0
	T	275.0	277.5	275.0	277.5
75kg	S	125.0	125.5	125.0	125.5
	J	152.5	157.5S	147.5	150.0
	T	272.5	282.5S	272.5	365.0
+75kg	S	137.5	137.5	132.5	130.0
	J	182.5	182.5	168.5	165.0
	T	305.0	312.5	295.0	292.5

※ 記録の後のS印はスタンダード（基準）記録

男・女とも世界記録より高い中国記録が存在する。

第59回国民体育大会を締めくくる

埼玉県協会理事／佐藤 薫



団体表彰を受ける埼玉県西澤成年監督

“彩の国まごころ国体”は、昭和42年に開催された第22回大会以来、37年ぶりの埼玉県開催であった。「日本一簡素で心のこもった国体」という大会理念で実施され、関係各位の創意工夫・努力が随所でみられた大会でもあった。特に顕著であったのが、競技会場毎に実施されていた開会セレモニーが省略されたことでした。これは、選手を始めセコンド人にとり競技・身体調整に専念することができ、また、運営側にとっては、時間と多くの労力が軽減されたと思います。

会場施設が、昨年落成したばかりの新施設“さいたま市記念総合体育館”であり、成年会場と少年会場が同一施設内で実施されたことは、移動手段の削除またセコンド陣の管理面の態勢充実等で有効となり、各県の代表選手並びに監督も競技に専念することが出来たと思います。

各会場内では、小学生から中学生～高校生等の地元の多くの声援もあり、大会の雰囲気を盛り上げていた。途中、中越地震の発生により試合を一時中断する場面はありましたが、その他異状なく競技続行された。少年会場では、高校新記録を4名が更新し、ジュニア選手では、2名がジュニア日本新記録を樹立した。今後の活躍進展に大いに期待したい。また、ベテラン選手の活躍も印象に残った。成年出場者数188名中、30才以上選手が26名であり、その内入賞17名が天皇得点を獲得し貢献したのであった。

総合優勝争いは、沖縄県、山梨県、埼玉県の大接戦の末、地元埼玉県が101点を獲得し優勝した。2位は沖縄県の100点、3位は山梨県の85点であった。

開催地埼玉県の4年ぶり通算10回目の優勝は、本大会に花添え、大会役員、競技会役員、市実行委員、関係した皆様の喜びの笑顔で本国体が終わった。

国体団体優勝した喜びの感想 (埼玉県チーム)

<成年・少年総合得点>

1位	埼玉県	101点
2位	沖縄県	100点
3位	山梨県	85点
4位	岡山県	77点
5位	京都府	76点
6位	兵庫県	72点
7位	福岡県	61点
8位	福島県	54点
8位	熊本県	54点

※ 参加点 10 点を加算した得点

<少年総合得点>

1位	沖縄県	44点
2位	福島県	42点
2位	福岡県	42点
4位	宮崎県	41点
5位	山梨県	38点
6位	京都県	37点
7位	埼玉県	34点
8位	岡山県	28点
8位	香川県	28点

<成年総合得点>

1位	埼玉県	57点
2位	沖縄県	46点
2位	岡山県	39点
4位	東京都	38点
5位	山梨県	37点
6位	兵庫県	37点
7位	熊本県	36点
8位	京都県	29点

監督・選手

優勝した感想 (満足度は何点)

少年監督

埼玉栄高校教諭 田頭 裕



満足度 80 点

埼玉県に指導者として来た年に国体が開催され、そして少年の部監督に選ばれ国体優勝できるなんて大変嬉しく思います。

<国体優勝に向けた苦労話や、特別練習は?>

4月から埼玉栄高校に赴任して、その時点での各選手の苦手な所、弱い所を克服出来るように苦手種目をメニューに多く取り入れました。失敗の多い練習だったのを、なるべく失敗しない(特に高重量での)練習を行った。

戦い方に団体戦だからとか個人戦とか考えたことはありません。どの試合でも全力を尽くす。

<これからの抱負>

今回は成年の力(点数)を借りて団体優勝しましたが、これからは少年の力を向上し成年の足を引っ張らないようにしたい。

満足度 50 点

自分は、高校3年間で国体の団体優勝は初めてだったので高校生活の一番の思い出になりました。

<国体優勝に向けた苦労話や、特別練習は?>

国体団体優勝に向けてSの強化練習をし「合宿」で失敗しなくなり、自信がつきました。

個人戦は自分1人の戦いなのであまり人に気を使わないが、今回の団体戦は失敗したらチームが負けてしまうので、良いプレッシャーが集中力となって好成績につながったと思います。

<これからの抱負>

次の大会で新記録を出したい。そして大学に行って、今のジャークの記録をスナッチで挙げ、ジャークは今の30kgをアップする。

*練習ベスト記録 S92.5, J122.5, Sq155, DL160, MP65

満足度 90 点

2位の沖縄とわずか1点で差で優勝できて大変嬉しい。

<国体優勝に向けた苦労話や、特別練習は?>

特に特別な練習はしませんでしたが、試合前はものすごく練習の回数も量も落としました。団体戦は重量よりも得点を重視していることです。インターハイより今回の国体の方が優勝を意識しているのが分かりました。

<これからの抱負>

今回の国体はS115, J140の結果で終わりましたが、S120, J145が出来なくて残念です。

高校生活は後2年あるので、こつこつ着実に記録を伸ばしたい。

*練習ベスト記録 S117.5, J140.0, Sq220, DL180, MP80

満足度 85 点

国体団体優勝出来てとても嬉しく、一年から埼玉国体に向けて練習してきたので練習の成果が出てとても満足している。

<国体優勝に向けた苦労話や、特別練習は?>

強化合宿で苦手とする種目の強化と大学生との合同合宿での体力強化で体力と苦手とする種目の克服が国体での成績につながったと思います。団体戦での戦いでは、個人戦と違い自分の成績一つで団体の順位が変わってしまうので一本一本とても緊張した。特に団体戦最後が自分なので一つでも順位を上げる気持ちで試合に臨んだ。

<これからの抱負>

苦手とするスナッチが自己新記録が出て驚いたが、得意のジャークは、あまり良い結果が出せなかつたので悔しい。

大学に入ってもこの競技を続け新記録を出し良い成績を残せるよう頑張っていきたい。

*練習ベスト記録 S112.5, J145.0, Sq200, DL200, MP85

少年 56kg級

埼玉栄高校 3年 関根 直

S 92.5 kg ~ 3位
J 120.0 kg ~ 3位



自分は、高校3年間で国体の団体優勝は初めてだったので高校生活の一一番の思い出になりました。

<国体優勝に向けた苦労話や、特別練習は?>

国体団体優勝に向けてSの強化練習をし「合宿」で失敗しなくなり、自信がつきました。

個人戦は自分1人の戦いなのであまり人に気を使わないが、今回の団体戦は失敗したらチームが負けてしまうので、良いプレッシャーが集中力となって好成績につながったと思います。

<これからの抱負>

次の大会で新記録を出したい。そして大学に行って、今のジャークの記録をスナッチで挙げ、ジャークは今の30kgをアップする。

*練習ベスト記録 S92.5, J122.5, Sq155, DL160, MP65

満足度 90 点

2位の沖縄とわずか1点で差で優勝できて大変嬉しい。

<国体優勝に向けた苦労話や、特別練習は?>

特に特別な練習はしませんでしたが、試合前はものすごく練習の回数も量も落としました。団体戦は重量よりも得点を重視していることです。インターハイより今回の国体の方が優勝を意識しているのが分かりました。

<これからの抱負>

今回の国体はS115, J140の結果で終わりましたが、S120, J145が出来なくて残念です。

高校生活は後2年あるので、こつこつ着実に記録を伸ばしたい。

*練習ベスト記録 S117.5, J140.0, Sq220, DL180, MP80

満足度 85 点

国体団体優勝出来てとても嬉しく、一年から埼玉国体に向けて練習

してきたので練習の成果が出てとても満足している。

<国体優勝に向けた苦労話や、特別練習は?>

強化合宿で苦手とする種目の強化と大学生との合同合宿での体力強化で体力と苦手とする種目の克服が国体での成績につながったと思います。団体戦での戦いでは、個人戦と違い自分の成績一つで団体の順位が変わってしまうので一本一本とても緊張した。特に団体戦最後が自分なので一つでも順位を上げる気持ちで試合に臨んだ。

<これからの抱負>

苦手とするスナッチが自己新記録が出て驚いたが、得意のジャークは、あまり良い結果が出せなかつたので悔しい。

大学に入ってもこの競技を続け新記録を出し良い成績を残せるよう頑張っていきたい。

*練習ベスト記録 S112.5, J145.0, Sq200, DL200, MP85

少年 85kg級

埼玉栄高校 1年 平原 孝人

S 115.0 kg ~ 2位
J 140.0 kg ~ 4位



自分は、高校3年間で国体の団体優勝は初めてだったので高校生活の一一番の思い出になりました。

<国体優勝に向けた苦労話や、特別練習は?>

特に特別な練習はしませんでしたが、試合前はものすごく練習の回数も量も落としました。団体戦は重量よりも得点を重視していることです。インターハイより今回の国体の方が優勝を意識しているのが分かりました。

<これからの抱負>

今回の国体はS115, J140の結果で終わりましたが、S120, J145が出来なくて残念です。

高校生活は後2年あるので、こつこつ着実に記録を伸ばしたい。

*練習ベスト記録 S117.5, J140.0, Sq220, DL180, MP80

満足度 85 点

国体団体優勝出来てとても嬉しく、一年から埼玉国体に向けて練習

してきたので練習の成果が出てとても満足している。

<国体優勝に向けた苦労話や、特別練習は?>

強化合宿で苦手とする種目の強化と大学生との合同合宿での体力強化で体力と苦手とする種目の克服が国体での成績につながったと思います。団体戦での戦いでは、個人戦と違い自分の成績一つで団体の順位が変わってしまうので一本一本とても緊張した。特に団体戦最後が自分なので一つでも順位を上げる気持ちで試合に臨んだ。

<これからの抱負>

苦手とするスナッチが自己新記録が出て驚いたが、得意のジャークは、あまり良い結果が出せなかつたので悔しい。

大学に入ってもこの競技を続け新記録を出し良い成績を残せるよう頑張っていきたい。

*練習ベスト記録 S112.5, J145.0, Sq200, DL200, MP85

成年監督
自衛隊体育学校監督
西澤 勝美



成年 56kg級
自衛隊体育学校コーチ
堀越 典昭



成年 56kg級
自衛隊体育学校
八戸工大一高卒 堀川 康信

S 110.0 kg ~ 1位
J 140.0 kg ~ 3位



成年 62kg級
自衛隊体育学校
明治大学卒 富永 憲志

S 120.0 kg ~ 1位
J 150.0 kg ~ 1位



成年 85kg級
自衛隊体育学校
明治大学卒 鈴木 和美

S 142.5 kg ~ 2位
J 177.5 kg ~ 1位



成年 94kg級
自衛隊体育学校
日本大学卒 佐藤 彰紘

S 140.0 kg ~ 5位
J 185.0 kg ~ 1位



満足度 90点

団体優勝し、本音は「ホット」しています。
点数目標は成年で 60 点を獲得することで団体優勝できると考えて
いましたが 57 点と少年に助けられました。

<国体優勝に向けた苦労話や、特別練習は?>

特に特別な練習はしていませんが、国体に向け合同合宿により団結
力が高まり優勝につながったと思います。

スタート重量は確実に取れる重量に設定するとともに順位を確保した
のちに勝負を賭けた。

<これからの抱負>

岡山国体でも団体優勝目指します。

満足度 95点

みんな本当に頑張った。大変嬉しい。

<国体優勝に向けた苦労話や、特別練習は?>

国体前に、成年少年合同合宿を組み団体優勝に向け練習したことが
優勝に結びついた。

個人戦と団体戦の違いは 1 点でも多く取ること。

<これからの抱負>

来年もまた優勝したい。

満足度 95点

スナッチは良かったが、ジャークで 3 位だったので悔しかった。

<国体優勝に向けた苦労話や、特別練習は?>

ジャークのさしだけを特に練習した。団体戦では、失格しないよう
にスタート重量に気を遣った。

<これからの抱負>

56kg級でスナッチ 120kg、ジャーク 150kg を挙げて、
オリンピックに出場したい。

*練習ベスト記録

S 120.0 J 147.5 Sq 210 DL 160 MP 75

満足度 100点

うれしい。

<国体優勝に向けた苦労話や、特別練習は?>

余計な練習はやらないで、スナッチ・ジャークだけを徹底的に行つた。
団体戦では、失格するわけにはいかないので、スタート重量で悩んだ。
本音はもう少し高い重量からスタートしたかった。

<これからの抱負>

スナッチ 130kg、ジャーク 160kg を挙げオリンピック出場
したい。

*練習ベスト記録

S 132.5 J 165.0 Sq 220 DL 200 MP 80

満足度 95点

まさか団体優勝できるとは思わなかった。でも地元開催で優勝でき
て嬉しかった。

<国体優勝に向けた苦労話や、特別練習は?>

成年と少年の合同練習につきます。個人で練習するより合同練習の方
が盛り上りました。団体戦では試技一本一本を大切にして確実に
点数を取ることです。個人戦はベストの最低 10kg 下から試合に出
てきました。

<これからの抱負>

基礎的なものをしっかりと冬場にトレーニングをし、記録を伸ばして
アジア大会でメダルを取りたい。

*練習ベスト記録 S 155.0, J 195.0, Sq 265, DL 230, MP 112.5

満足度 80点

開催県の代表で団体優勝できて大変嬉しい。

<国体優勝に向けた苦労話や、特別練習は?>

特別な練習はしていないが、普段の練習を頑張った。

団体戦は個人戦と違い失格できないのでスタート重量を低めに設定した。

<これからの抱負>

怪我を早く治し、基本をしっかりとやっていきたい。そして記録を
更に伸ばし、一つでも多くの国際大会を経験したい。

*練習ベスト記録

S 147.5 J 190.0 Sq 270 DL 250 MP 110

内閣総理大臣杯 第41回全日本社会人選手権大会 晴れの国おかやま国体記念杯女子競技会を終了して

岡山県協会事務局長／長谷 章一



団体表彰を受ける自衛隊体育学校



高校53kg級優勝の今井選手(須磨友)

「内閣総理大臣杯第41回全日本社会人ウェイトリフティング選手権大会・晴れの国おかやま国体記念杯女子ウェイトリフティング競技会」が、平成16年11月21日から23日にかけ、岡山県倉敷市にて倉敷体育館を第一会場として倉敷市運動公園ウェイトリフティング場を第二会場として開催された。尚、この大会は来る平成17年度のおかやま国体のリハーサルとしての開催でもあり、選手エントリー数は310名と多く、全国の力自慢が倉敷で3日間それぞれの階級で日頃の練習で培った妙技を競い合った。

試合結果の詳細は記録表で確認していただくとして、簡単に結果を紹介させていたたけば、内閣総理大臣杯は、団体総合成績優勝の「自衛隊体育学校」が受賞した。部門別では、地域スポーツクラブチームの部優勝の「かいじクラブA」、官公庁チームの部優勝の「自衛隊体育学校」、そして企業チームの部優勝の「トヨタ自動車㈱」が頂点を極めた。

個人においては、オリンピック代表選手でもある山梨かいじクラブAの今村俊雄選手が文部大臣賞（最優秀選手賞）を手にした。また、晴れの国おかやま国体記念杯女子競技会においても、埼玉県平成国際大学大学院の63kg級大倉妙子選手がJ112.5kgの日本記録更新し大会を大いに盛り上げてくれました。

最後に、北は北海道。南は沖縄県の仲間達がクラブチームを結成し倉敷に集い、まずい大会運営にも関わらず文句一つ言わず競技をしていただいた選手・監督、また運営に携わっていただいた役員の皆様へ岡山県協会一同御礼を申し上げます。

第41回全日本社会人選手権大会団体優勝者の感想

*<官公庁チーム優勝 自衛隊体育学校> 内閣総理大臣杯受賞



1位自衛隊体育学校
53点

2位警視庁
36点

3位広島工業高校
6点

94kg級3位 菅井 博朗 23歳 自衛隊
身長175cm 柴田農林高校出
大会結果S135, OJ177, ST312, 5
練習ベストS140, J185, Sq240, DL230

<Q1：優勝の感想は>
チーム一丸となって勝ち取った勝利なので嬉しいです。90点の出来。
<Q2：学生時代と社会人になっての練習の違いは><Q2>
高校時代は、与えられたメニューをただ毎日やるだけでしたが、社会人となり一つ一つの動作に注意し、考えるようになった。

<Q3：JOCや協会の要望>
強化合宿を増やしてもらいたい。
場所を変えての練習がより競技力を向上できる。

<Q4：これからの抱負>
弱点の脚力を強化して94kg級の日本記録を塗り替え、世界の舞台で活躍したい。

105kg級優勝 田山 昇 26歳 自衛隊
身長182cm 法政大学出
大会結果S145, OJ180, ST325, 0
練習ベストS155, J190, Sq250, DL220, Mp100

<Q1>
団体戦で挑む機会は少ないので、その一員として貢献できたので感無量です。80点の出来。
<Q2>
バーベルに対しての気持ちの入れよう。
学生時代はただ漫然と練習していたが、社会人になり計画性や怪我について考えるようになった。
そして、いつまでも現役でいられない事から、一日の大切さが違う。

<Q3>
色々な団体と合宿等をやり互いに競技力を高めた。関東合宿や高校・大学・社会人別も良いが合同でも良いのでは。
<Q4>
まだまだ記録に対して満足していない。2.5kgも重いバーベルを挙げ、中途半端に終わりたくない。

*<地域スポーツクラブチーム優勝 かいじクラブA>



1位かいじクラブA
39点

2位チームももっち
20点

3位みやこクラブ
18点

69kg級優勝 今村 優雄 25歳かいじクラブ

身長 163cm 日川高校・日本大学出
大会結果 S130.0 J157.5 T287.5
練習ベスト S132.5、J165、Sq217.5、DL175

<Q1> 優勝の感想は>

正直嬉しいです。個人が今持っている力を発揮できただことが優勝につながったと思います。

良い思い出になると思います。85点の出来。

<Q2> 学生時代と社会人になっての練習の違いは>
社会人になると、自分の練習メニューを見つけて作り作ったりするのが難しく、なにより練習時間の確保が厳しい。

<Q3> JOCや協会の要望>

特に無し

文部大臣賞いただきありがとうございました。

<Q4> これからの抱負>

試合で常に自己記録を塗り替える様な練習をしてオリンピックのメダリストになりたい。

85kg級優勝 木曾川 章 25歳 かいじクラブ

身長 168cm 日川高校・法政大出
大会結果 S150.0 J175.0 T325.0
練習ベスト S152.5、J180、Sq260、DL280、Mp82.5

<Q1>

総合は準優勝だったので次回は優勝を狙う。

60点の出来。

<Q2>

練習の量と質。高校大学は時間があるが、質に劣り、社会人になると量が出来ない分を質でカバーするため記録の向上が望める。

<Q3>

時間や金をかけるべき選手にはかけずに、時間も環境もある若手に金を使いすぎた。本当に戦う力のある選手を強化し、底上げは中央でやらず各組織にゆだねる。

<Q4>

記録はまだ伸びているので、今出きる練習をしっかりとする。そして大きな大会に出場しトップを常に狙いオリンピックを狙いたい。

***<企業チーム優勝 トヨタ自動車(株)>****56kg級第13位 古賀丈士 44歳トヨタ自動車**

身長 160cm 有田工業高校出

大会結果 S75.0 J90.0 T165.0

練習ベスト S85.0 J100.0

<Q1>

部門別2連勝はチームの力の証しなので嬉しい。

総合では、昨年の5位から8位に落ちたことが残念。80点の出来。

<Q2>

個人レベルで効率の良いトレーニング方法と高い技術の習得をいかにして自分で考え行動し結果につなげるかを求められるところに社会人の難しさがある。

<Q3>

企業対抗戦の試合を復活させてほしい。
同じ条件の者同士で争いたい。

<Q4>

過去チーム10連勝の記録を破られぬよう、若返りをスムーズに行い、個人レベルをアップしチーム力の向上を目指したい。

69kg級第2位 近藤伸次 24歳 トヨタ自動車

身長 165cm 士別商業高校出

大会結果 S117.5 J150.0 T267.5

練習ベスト S127.5、J157.5、Sq200、DL180、Mp90

<Q1>

団体優勝に貢献でき一言嬉しいです。

満足度 70点。

<Q2>

練習時間をつくる事が難しく、定期的なメニューが組めず同じ練習の繰り返しになってしまふ。
多人数と練習する機会が少なく個人のモチベーションしだい。

<Q3>

3位以内の者には国際大会出場のチャンスを是非与えてもらいたい。

<Q4>

T290kgを近年内に達成し、後の全日本選手権に優勝し国際大会で自分の力を試したい。

岡山国体記念杯女子競技会優勝者の感想

48kg級優勝 大城 みさき 平成硝子
身長 147cm 南風原高校出

大会結果 S 75.0 J 82.5 T 157.5
練習ベスト S75、J90、Sq110、DL100、Mp52.5

<Q1> 優勝の感想は？

S 75kg の自己新をとって満足ですが J は 1 本で終わつたので悔しいです。来年は S で日本記録を狙いたい。85点のでき。

<Q2> もし 12 歳からウエイトを始めていたら
私は 17 歳から始めたので 12 歳から始めていたら S 90kg 、 J 105kg くらいは出来たかもしれません。

<Q3> JOC や協会への要望？

特になし

<Q4> これからの抱負？

足がすごく弱いので、脚力を強化し日本記録をいざれはとりたい。年下の選手には絶対負けない。

58kg級優勝 平廣 真理 豊見城高校教員
身長 156cm 日本体育大学出

大会結果 S 75.0 J 97.5 T 172.5
練習ベスト S85、J113、Sq155、DL137.5、Mp57.5

<Q1>

生徒と共に上位入賞を目標に頑張り、そして優勝でき生徒も全員入賞できた事が良かった。100点

<Q2>

現在は試合にでていないと思う。ピークパフォーマンスが早い時期になるだけでベスト重量はさほど変わらないと思います。しかし、これから子供達は、その年代に応じた練習方法や、怪我の対処等が研究され競技歴に比例するのではないか。

<Q3>

大会や合宿など選手だけでなく、その所属コーチも
帶同するシステムをつければ競技力向上が図れる。

<Q4>

他の競技団体に優る活躍ができるように、一人でも多く生徒を引っ張り、育てていきたい。
そして生徒の試合をテレビ中継で見たい。

69kg級優勝 猪俣 康美 宮古農林高校

大会結果 S 75.0 J 82.5 T 157.5
練習ベスト S82.5、J100.0、Sq 、DL140、Mp52.5

<Q1>

全国大会 3 回目の出場で始めての優勝で嬉しいです。次の大会も優勝したいです。50点。

<Q2>

今より強くなっていたと思います。

<Q3>

ありません。

<Q4>

練習では少しづつ記録が伸びているけれど、大会で自己新記録を挙げる事ができるように頑張りたい。
進学して学生の強い選手ともまれ強くなりたい。

53kg級優勝 松宮久美恵 白鷹高等学校
身長 150cm 日体大出

大会結果 S 75.0 J 102.5 T 177.5
練習ベスト S137.5、J175、Sq245、DL230、Mp90

<Q1>

優勝はしましたが自分の力を発揮出来なくて悔しさが残った。50点の出来。

<Q2>

12歳から走ったり、色々な動きの運動をしながらウエイトをする事でバランスの良い身体をつくれて、今よりトータル 20kg はアップしていました

と思います。

<Q3>

私は JISS で身体をコントロールできるようなトレーニングを教わっている。自分の弱点を知り克服すれば必ず世界に通用する人材が生まれる。

<Q4>

世界に通用する記録 S 90.0 、 J 120 を挙げる。
そして、次世代の選手にそれを教えていきコーチ理論、運動理論をもっと勉強していきたい。

63kg級優勝 大曾 梓子 平成国際大学院
身長 156cm 平成国際大出

大会結果 S 80.0 J 112.5 NR T 192.5
練習ベスト S80.0、J110、Sq150.0、DL125、Mp50

<Q1>

C & J で狙っていた日本新記録が出て素直に嬉しい。58kg級の記録を下回っているので、更に記録を更新したい。80点の出来。

<Q2>

大学 4 年間で引退し、指導する側にまわってい
思います。

<Q3>

特に無し。

<Q4>

今度は 58kg 級で日本記録を更新する。S の記録を伸ばし T 200kg 以上挙げること。そして怪我を少なくし、4 年後の北京を目指したい。

75kg級優勝 真下 智恵美 日本体育大学
身長 163cm 利根実業高校出

大会結果 S 75.0 J 102.5 T 177.5
練習ベスト S80、J100、Sq140、DL120、Mp55

<Q1>

嬉しいです。 S 80kg まで行けなかったのが悔しい。80点の出来。

<Q2>

12歳から始めて、大学まで続けていたら記録は伸びていなかつたと思います。できて S 85.0 、 J 105 位で止まっていると思います。

<Q3>

特にありません。

<Q4>

次の大会では S 80kg J 100kg スタートを
目指し、最後のインカレで S 85kg 、 J 110kg を挙げることです。そして、群馬県の女子ウエイトの指導者になり、母校の教員を目指したい。

実業団クラブ紹介

トヨタ自動車ウェイトリフティング部

監督：古賀 丈士

1 会社クラブの概要

トヨタ自動車は自動車製造の街である愛知県豊田市に位置し、本クラブはトヨタ自動車本社運動部32クラブ中の1つとして所属しています。 ウエイトリフティング部は昭和59年に小薗井部長を中心としたウエイトリフティング経験のある先輩方のご尽力により、創部されました。その後、実業団チームとして39年間、多くの優秀な選手を輩出してきました。国体・全日本選手権大会では優勝や上位入賞者を出し、全日本実業団大会では団体10連覇という偉業も成し遂げ、現在は12名の部員で活動しています。



社会人大会：部門別「企業チーム優勝」のトヨタ選手

2 部員のスカウト

部員の勧誘には毎年、頭を痛めている問題です。これは、どの実業団チームの指導者の方々も悩まれている事と思います。バブル崩壊以降、各企業とも加速的に企業内クラブの縮小を必須とし、他の競技を見ても名門と呼ばれたチームが廃部という道を選択せざる終えない環境にあります。本クラブにおいても優秀な高校生を勧誘し育て、レベルの高いチーム作りが日々の課題であり、各学校の先生方、各県の協会の皆様方の情報や各大会での結果などを収集し、色々な方面にアンテナを伸ばし奮闘しています。

しかし、採用人員の減少や求人校の減少により、優秀な選手と求人の有無がマッチせず、部の存続に必要な人員も確保できない危うい状態にあります。トヨタ運動部としても会社に働きかけ新卒入社のクラブ経験が記載された情報紙を発行してもらってはいますが社会人となっての勧誘は非常に難しく、なかなか成果をあげる事ができません。

その為、現在では在籍している部員の母校や、永年親しくして頂いてる北海道協会・岐阜協会のご理解・ご協力により毎年、選手を入社させて頂き、何とか存続し危機をまぬがれているのが実状です。

3 日常トレーニング

トレーニングは火曜から日曜まで週6日の間で豊田市の外れに位置するトヨタスポーツセンターと呼ばれるスポーツ施設で行っています。しかしながら各部員の勤務形態・残業時間等が異なる事から、部員の練習日・時間がバラバラで全員が集まってトレーニングができるのは日曜日のみとなり、平日は自主練習となります。平日のトレーニングは補助種目が主で練習のサイクルも一定でなく継続性を持った練習メニューが組めない事で練習量・質ともに各選手の自主性が大きく寄与してきます。さいわいにも、日頃から選手間同志でコミュニケーションを図り、ミニグループ単位で練習を行う意識づけが定着しつつある為、平日2日は行われているのが現状ですが競技力アップにはまだまだ不足感はぬぐえません。その為、週1回の日曜練習に重点を置き全員参加を必須として平日に不足している種目について約2時間半のトレーニングを実施しています。特に技術面のトレーニングが主で効率の良いフォームへの矯正を目的に反復練習をくりかえしています。また、定期的に土日合宿を組み、日常、不足しているトレーニングの質と量を補なっています。以上のように仕事とプライベートとの間をぬってトレーニングの場を極力設け定着させる事で少しでもチームの競技力を向上させているのが現状です。

4 団体10連覇を成した要因

過去、実業団大会で10連覇・現在でもトップを争っていられる事柄として以下の3点が上げられます。

① 優秀な人材の獲得と環境つくり。

<人材の確保>

本チームでは早期に獲得選手をリストアップし、インターハイ・国体に出向いてスカウト活動ができ、一人でも多くの人材と接触できた事。また、インターハイ上位者がほとんど大学へ進む中、トヨタ自動車へ一度選手を送ってみようと企業チームに興味・ご理解を頂いた各高校の指導者のみなさんのご協力。この2点がうまく合致し、不定期ながらも優秀な人材が獲得でき、チームとしての向上につながっています。

また、スカウト活動のなくなった現在でもこれまでのおつきあいで築いた信頼関係から良い人材を紹介していただくチャンスにも恵まれ、厳しい中でもなんとかやりくりできています。

<環境づくり>

本チームは「スポーツマンである前に良い企業人であれ。」をモットーに競技を離れた場でも家族主義を率先してきました。企業で新人選手がクラブ活動が継続できるかどうかは“入社1年目の環境”でほとんどが決まります。まずしっかりと生活基盤ができるよう指導者は親代わりとして、先輩は兄としてプライベートでも企業人としてのアドバイスや悩み事の身近な相談相手として親身になって対応しています。また、クラブ活動では練習場への足の確保やチームに早く溶け込めるよう部員から声かけをしっかりと行い気軽に話しができる環境をつくってきました。この「トヨタイズム」が先輩方より代々引き継がれ現在も実行されており、個人競技でありながらチームとしての結束力につながり3年・5年と競技が継続できチーム力を減退させる事がなかったのが強みであったと思います。

② ライバルチームの存在

県下には同じ実業団チームとして名古屋鉄道があり、お互いに実業団のトップをめざし、これまでライバル企業として切磋琢磨してきました。チームとしても個人でも合同練習・県内大会・全国大会を通じて刺激しあえる相手が身近に存在した事が個々の競技力アップに繋がってきました。また、全日本実業団では常に優勝を目指して他企業チームと毎年、僅差の熾烈な争いができた事が更なる刺激としてトップを維持するには何が必要か（エントリー階級の再編成や成功率のアップ等）考えさせられる機会を数多く経験させられました。やはりライバルの存在というのは大きな影響力をもち、相手を倒す為、チームの団結力を高める要素になります。

③ 愛知県協会との密接な交流

愛知県では、企業チームを中心として県内での合同練習が定期的に実施されています。合同練習では各学校・企業の指導者より色々なアドバイスを受け個々の弱点、長所などを明確にし自身で認識してこれをもちかえり、日々の練習メニューに組み込み練習しています。また本チームのスポーツ施設を県の強化合宿や国体合宿の場に開放し、県トップレベルの選手を交えて練習を行う事で選手間や指導者間の会話の場を設け、技術論やトレーニング方法についてお互い意見交換し、現状に満足せず常に競技力向上を念頭において活動を継続しています。

5 今後に向け

昨年より、実業団大会も社会人大会に吸収された形で一辺に実業団対抗の色あいがなくなり非常に残念に感じています。昨年の変更は実業団チームとしてチーム対抗の場をなくされた思いで一杯です。今後は個人レベルでトップクラスに入る選手の育成も年頭に置き、今まで通りのスタイルを更に強力にしてチームづくりに努力していきたいと思います。

企業戦士としてチーム入りしたい方は、古賀まで連絡下さい。

文部科学大臣杯

第50回全日本大学対抗選手権大会

全日本学生ウエイトリフティング連盟

会長 小平 紀生

平成16年度文部科学大臣杯；第50回全日本大学対抗選手権大会・第5回全日本大学対抗女子選手権大会が、横浜市磯子スポーツセンターにおいて、11月27日・28日の両日、1部校の精銳選手男女99名を迎え盛大に開催された。

男子の大会は、実に半世紀に及ぶ、伝統をもつ最も権威のある大会にふさわしい熱戦が各階級において展開された。

大学日本一の行方は、まず女子において、日本体育大学が、出場4選手全員がトータル1位となる安定した強さを発揮し、2位以下を圧倒し、5連覇を選手一丸となって達成した。

ここにあらためて監督・コーチ・選手の皆さんに心からお祝い申し上げます。

個人では、69kg級で斎藤里香（立命）が、スナッチ88kgの日本新記録を樹立した。ジャークも115・5kgの日本記録更新に挑戦したが、惜しくも失敗する。尚大会新記録は、53kg級三宅（法政）・58kg級川上（日体）・69kg級斎藤（立命）・+75kg級今鉢（日体）・城内（早稲田）の5選手によって、15個の大会新記録が樹立された。出場選手は少なかったが、斎藤選手の活躍等女子選手の記録ラッシュは今後が大いに楽しみである。

一方男子大会では、69kg級平良健太（法政）がトータル282・5kgのジュニア日本新記録を樹立し、94kg級では平岡（明治）が、トータル325kgの大会新記録を樹立した。

団体戦の行方は、初日、56kg級、大田・須田（日体大）の両選手が総合で40点をあげ首位に立ち、日体大が好スタートを切る。

初日は77kg級迄終り、日大が76点で首位に立ち、65点の法政が2位で追う。2日目に入ると僅少差の得点を争う緊迫した試合が、日本大学と法政大学の両校の間で繰りひろげられた。勝負は最後の+105kg級のジャーク最終試技迄纏め込み、兼島（明治）のジャークがキーポイントとなる展開になる。

高橋（日大）は175kg、葛葉（日大）も175kgで3回の試技を終る。この時点で野原（法政）は2回目を終り177・5kgに成功。兼島（明治）は2回目を終り180kgに成功する。3回目のジャーク野原は182・5kgに成功する。兼島はジャークとトータルで逆転をするべく、ジャーク3回目の試技を185kgに重量を上げるが、惜しくも失敗する。ここに、力を尽し、白熱した試合も決着がつく。ジャーク：1位野原、2位兼島、3位高橋、4位葛葉。トータル：1位野原、2位葛葉、3位高橋、4位兼島となる。団体は、1位法政（162点）、2位日大（160点）、3位明治（117点）、となり2点差で法政大学が4年ぶり15回目の優勝を飾る。

大接戦を制し、優勝した法政大学の監督・コーチ・選手諸君に心からお祝い申し上げます。

九州国際大学は、全階級で確実に得点を重ね109点をあげ、4位に躍進した。来年以降の活躍を予感させる戦いぶりであった。9位立命館、10位秋田経法は、残念ながら来年は、2部に降格となるが、両校とも捲土重来、1部復帰を果たすよう精進・努力を期待します。

来年は1部復帰を果たす、中央大学、拓殖大学を迎えて1部校各大学は一段と力をつけて、今年以上の熱戦を展開されんことを望みます。

第50回全日本大学対抗戦に団体優勝して



円陣を組み校歌を歌う法政大学選手と応援関係者

平成16年度第50回全日本大学対抗戦ウエイトリフティング選手権大会は、おかげさまで本学が4年ぶり15度目の日本一の栄冠を奪回することができました。これも選手をはじめ学生諸君の日頃から弛まぬ努力と研鑽のたまものであり、日頃ご支援ご声援を賜りました数多くの方々に心から感謝御礼申し上げます。ありがとうございました。

私も監督に就任して5年目になります。今回で2回目の優勝をさせていただきました。前回は1年目で、3連覇達成した後の強力なチームを引き継がせていただき、監督らしいこともせずに優勝することが出来ました。その後優勝経験豊富な選手達で戦いましたが、毎年故障者や病気等で大会まで克服することなく2位、4位、4位と低迷する結果となりました。今大会をふり返って見ますと、多少の故障者はいたもののまずまずのコンディションで臨むことが出来ました。結果的にみると優勝経験者がいない分プレッシャーもなく、伸び伸びとプレーが出来たのかも知れません。

戦前の予想では日本大学の圧勝が伝えられ、実際私もそう予想していました。しかし、常々最後まで諦めるなど学生に“激”を飛ばして来ましたし、大会中もそうでした。実際後半戦では、私の方が諦めかけた瞬間もありましたが、「何とか勝つ方法はないものか」と色々なシュミレーションを繰り返し、チーム一丸となって優勝を勝ち取ることが出来ました。最後まで諦めることなく頑張ってくれた学生諸君に感謝しております。彼らは最後まで諦めずに頑張ることがどんなに素晴らしい大切であるかと言う事を、この優勝をとおして学んだ事思います。そして、この経験を誇りに思い驕る事なくこれから的人生に役立ててほしいと思います。

終わりになりましたが、この優勝は日本大学をはじめ、強力なライバル校が存在したからに他ありません。改めてライバルの大切さを再認識する事ができ有り難う御座いました。来年以降も努力精進し良いチームを作り、学連並びに日本協会の発展に微力ながら貢献出来る様頑張る所存です。

法政大学監督／平良 朝順

第5回全日本大学対抗女子団体に優勝して



優勝カップをもらう日体大女子選手達

全日本大学対抗戦が終わり、今はとてもほっとしています。

今回の試合では日体大女子総合5連覇がかかっていたし、インカレメンバーの記録からしてみれば優勝は絶対優勝しなくては行けないと思いました。また、4年生が全員メンバーとして出たので、優勝して最後を飾りたいと思い、試合が近づくにつれて3人でインカレの事をよく話し合うようになりました。

しかし絶対優勝が頭にはありました、不安もすこしはありました。団体戦という一人一人が点をしっかりと取らなくてはならないし、一人でも欠けてはならない中、選手が普段の力を出せるか、また他大学の選手の記録も伸びているので、本数をしっかりと取って記録を上げていかなくてはいけないと思い、試合では優勝の自信と不安でいっぱいでした。

試合の結果は、4人が優勝し35点とパーフェクトで優勝することができました。このような結果が出せたのも、櫻井先生をはじめコーチの先生方の指導や、試合中のアドバイス、部員の応援やセコンドによるものだと思い、とても感謝しています。

また、今回の試合では遠いところから応援に来て下さったOB、OG、の先輩方や家族、友人等に5連覇したところを見せられてよかったです、たくさんの方に応援していただけて、うれしく思います。

来年はもっと総合優勝するのに難しくなってくると思うが、周りにたくさんの応援してくれる人やサポートしてくれる部員がいることを思って6連覇を目指して後輩の部員達には頑張ってほしいと思います。

インカレで応援、サポートして下さった方のおかげで5連覇できる
ことができました。ありがとうございました。

日本体育大学女子ウエイトリフティング部
主将 今鉢 一恵

第50回全日本大学対抗選手権大会優勝しての感想

<Q 1>もし11歳からウエイトを始めていたら？ <Q 2>JOC やエイト協会に対しての要望は？ <Q 3>これからの抱負は？



56kg級優勝 大田 真志 日体大4年 身長163cm 倉敷商業出

<優勝の感想> 練習ベスト S100、J130、Sq175、DL160、Mp77.5

大学最後の大会に優勝できて嬉しい。70点のでき。

<Q 1> 指導者や練習環境が整ってバックアップもあればすごい選手になっているかもしれないが、大学4年でやめていたかもしれない。

<Q 2> ジュニアやそれ以下の選手を中心に海外での合宿や試合に参加させ、若い世代に経験を積ませた方がよい。

<Q 3> ウエイト人生の中で一度は日本記録S115以上、J150以上を挙げてみたい。そして誰にも負けない選手になり、オリンピックに出場したい。

S105.0kg、J130.0kg、T235.0kg



62kg級優勝 小林 一生 日本大2年 身長162cm 広島工業高校出

<優勝の感想> 練習ベスト S117.5、J145.0、Sq217.5、DL190、Mp80

今回Sが試合タイで、J・Tが試合新記録だったので大変嬉しい。まだ両種目とも伸びると思うのでしっかり練習し、怪我のないように残りの大学生活を全て優勝したい。99点の出来。

<Q 1> たぶんやめていたと思う。記録はS125、J160はできると思う。

<Q 2> 特になし。

<Q 3> 日本記録をとる。そして一流の選手になると共に一流の人間になる。

S110.0kg、J145.0kg、T255.0kg



69kg級優勝 平良 健太 法政大3年 身長169cm 沖縄工業高校出

<優勝の感想> 練習ベスト S120、J157.5、Sq202.5、DL195、Mp87.5

大学入学して初の全日本タイトルなので大変嬉しいです。自己評価90点

<Q 1> おそらく今とあまり変わらないと思う。色々なスポーツを経験させた方が良いと思う。

<Q 2> 特になし。

<Q 3> 日々を精一杯頑張り、記録も今の記録ではまたまだなのでもっと伸ばし精進したい。

S125.0kg、J157.5kg、T282.5kg JNR



77kg級優勝 内藤 定博 日本大4年 身長167cm 日川高校出

<優勝の感想> 練習ベスト S142.5、J175、Sq230、DL210、Mp92.5

膝の怪我で1年程試合に出ておらず不安でしたが、記録的には良くありませんが、気合いで優勝できて満足しています。自己評価100点

<Q 1> 技術面、体力面、精神面全てにおいて今より優れていると思う。

<Q 2> 選手強化に関して、合宿による選手強化の他に、大学での練習のサポートがほしい。具体的には、トレーニング施設の無料利用や資金面での援助など。

<Q 3> 常に記録にこだわり伸ばしていきたい。そしてグローバルな視野をもって世界と戦える選手になり、人格者となりたい。

S130.0kg、J162.5kg、T292.5kg

大接戦の最重量級は野原（法政）が制し団体優勝

85kg級優勝 高橋 竜太 九州国際大2年 身長169cm 九國大付属高出

<優勝の感想> 練習ベスト S135、J165、Sq220、DL200、Mp90

ラッキーで優勝できました。腰を痛めていたのでジャークで本来の力を發揮出来なかつたのが悔しい。自己評価70点

<Q1> もっと筋肉質になっていたと思う。記録はおそらく85kg級で S160、J190くらい挙げていたと思います。

<Q2> もっとウエイトをメジャーにしてほしい。

<Q3> 次のJr大会では、最低でも145、175を挙げたい。腰を痛めているので早く完治させ、いずれはオリンピックに出場してみたい。



S140.0kg, J165.0kg, T305.0kg

94kg級優勝 平岡 勇輝 明治大4年 身長173cm 清水工業高出

<優勝の感想> 練習ベスト S142.5、J182.5、Sq235、DL210、Mp92.5

学生最後の試合で優勝できた事に関しては大変嬉しい。自己評価85点

<Q1> たぶん他にやりたい事がたくさんあったのでウエイトを好きになれるか分からぬ。記録的にあまり変わりがないと思う。

<Q2> 特になし。

<Q3> スナッチ、ジャークともあと20kgは伸ばしたい。そして自分の限界を見てみたい。



S142.5kg, J182.5kg, T325.0kg CR

105kg級優勝 門脇 駿一 日本大4年 身長181cm 三木東高出

<優勝の感想> 練習ベスト S162.5、J190、Sq290、DL245、Mp90

ジャークの3本目を挙げたかった。自己評価30点

<Q1> たぶんやめていると思います。

<Q2> 特になし。

<Q3> まだまだジャークが弱いので、強化克服しもっと強くなりたい。そして、来年こそ日本大学が団体優勝してもらいたい。



S150.0kg, J170.0kg, T320.0kg

+105kg級優勝 野原 兼太 法政大2年 身長172cm 糸満高校出

<優勝の感想> 練習ベスト S135、J182.5、Sq260、DL250、Mp105

部員全員で優勝を目指して頑張ってきたのでとても嬉しい。監督やコーチ、部員の皆さんのおかげです。ありがとうございました。自己評価100点

<Q1> 記録はS150、J200はやっていたと思います。

<Q2> 重量挙げを始める練齢をもっと早くしたりする。

重量挙げを知らせる機会を多くする。

重量挙げが出来る環境を多くつくる。

<Q3> 来年もまた、優勝できるよう頑張っていきたい。大学記録をつくり、吉本さんや岩崎さんみたいに+105kg級で世界大会に出場してみたい。

S135.0kg, J182.5kg, T317.5kg

第5回全日本大学対抗女子選手権大会優勝の感想

<Q 1>もし11歳からウエイトを始めていたら? <Q 2>JOC やエイト協会に対しての要望は? <Q 3>これからの抱負は?



48kg級優勝 角田 梢子 立命館大1年 身長153cm 倉敷商業高校出身

<優勝の感想> 練習ベスト S72.5、J90、Sq120、DL107.5、Mp42.5
試合数週間前に故障してしまって悔しいです。今年は記録が出ませんでしたが、来年は大幅に記録アップしたい。自己評価50点

<Q 1> 体重は60kg近くあり、オリンピックに出場していて、人生観や生活感が全く違っていたと思います。S85、J105は挙げていたと思います。もし過去に戻れるならもっと早く出会いたかった。

<Q 2> 高校時代や大学でも行く場所、監督によって指導が全く違うので統一した指導をしてもらえば選手は迷わないですむ。

<Q 3> 春から記録が伸び悩んでいますが、補強を強化し来年の春にはS75 J95 Tを170を目標に頑張りたい。そして将来、日本のトップになってオリンピック上位入賞することです。

S40.0kg、J50.0kg、T90.0kg



53kg級優勝 三宅 宏実 法政大1年 身長148cm 埼玉栄高校出身

<優勝の感想> 練習ベスト S82.5、J107.5、Sq142.5、DL140、Mp52.5
オリンピック後の試合ということで、ベストを大きく下回りましたが、大学4連勝を目指して頑張っていきたいと思います。自己評価60点

<Q 1> 今よりは伸びていたのではないかと思いました。

<Q 2> 世の中の人達にもっと“ウエイトリフティング”というものをもっと広めていってもらいたいし、広めたい。

<Q 3> 今はバーベル以外の事を主に行い、怪我をしないように自分を見つめ直してから、1日1日を大切に2008年の北京へつなげて行きたい。

S77.5kg、J100.0kg、T177.5kgCR



58kg級優勝 川上 知子 日体大4年 身長155cm 小山南高校出身

<優勝の感想> 練習ベスト S80、J107.5、Sq130、DL120、Mp62.5
大学最後の試合を4年生全員で大学の為に貢献できたので良い思い出になりました。個人では、自分のくせが試合にてて力不足を感じました。60点

<Q 1> 始めても怪我等あまり記録は伸びていなかったと思います。やってS90、J110くらいだと思います。

<Q 2> 誰でも参加できる講習会を定期的に行い、沢山の技術を全国に広め指導面の事を学ぶチャンスをつくってほしい。合宿の日程を公開し、見学するチャンスを与える人に勉強してもらい広める。

<Q 3> まずは日本記録を塗り替えることS90、J120を達成したい。そして、競技経験を積んで最後は自分の手で競技者を増やし、活躍できる選手を育てていきたい。

S80.0kg、J100.0kg、T180.0kgCR



63kg級優勝 塩見 佳世 日体大4年 身長158cm 鶴野高校出身

<優勝の感想> 練習ベスト S85、J110、Sq145、DL135、Mp60
優勝できてとても嬉しいです。しかし、今回のインカレが最初で最後の学生の試合となってしまうことがとても残念です。自己評価60点

<Q 1> 基礎的な力や技術はついていると思います。しかし、多くのスポーツを経験させる事で更なる成長が見られると思います。

<Q 2> 女子はシドニー五輪から始まりましたが、ウエイト女子人口が高校から大学へ進学する人が減少しているので、もっと多くの選手が活躍できる企画や試合を取り込んでほしい。

<Q 3> これから、仕事をしながらも休日はトレーニングをしていきたいと思っています。

S75.0kg、J100.0kg、T175.0kg

69kg級齋藤（立命館）スナッチ88kg日本新



69kg級優勝 齋藤 麻香 立命館大3年 身長163cm 加悦谷高校出

<優勝の感想> 練習ベスト S85、J110、Sq155、DL160、Mp60

出場者が1名だったのですが、団体戦ということで、優勝できた事は素直に嬉しく思います。自己評価80点

<Q1> 環境が大きく影響すると思いますが、楽しく技術や知識を学ぶ事ができれば、現在よりも高重量を挙上できていたと思います。

<Q2> 技術、知識の共有と、一貫指導がとても重要だと思いますので、今後も更に発展させていってほしいと思います。

<Q3> 今の記録に満足することなく、もっともっと上を目指して記録を伸ばしていきたい。そして、北京オリンピックに向けて技術・力・精神力も向上させていきたい。

S88.0kgNR、J110.0kgCR、T197.5kgCR



75kg級優勝 宮城 寿子 日体大3年 身長159cm 沖縄工業高校出

<優勝の感想> 練習ベスト S85、J110、Sq150、DL155、Mp55

“めっちゃ悔しい”です。階級が違っていても同級生には負けたくなかつた。インカレ5連覇のため監督の指示どおり挙げたが自己新に挑戦したかった。自己評価40点

<Q1> ウエイトを早く始めていたら、今頃は日本記録のS90kg、J120kgを挙げていたと思う。

<Q2> 特にありません。

<Q3> もっと普段から自分を追い込み厳しく、嫌いな事を克服すれば記録はおのずと伸びてくると思います。限界つくらず挑戦し、日本記録が世界に近づいていけるように、「日本の活力」となりたい。

S85.0kg、J107.5kg、T192.5kg



+75kg級優勝 今井 一恵 日体大4年 身長163cm 埼玉栄高校出

<優勝の感想> 練習ベスト S107.5、J120、Sq160、DL160、Mp65

記録や内容は満足のいくものではありませんが、日体大が5連覇できた事は素直に嬉しい。自己評価100点

<Q1> 色々な大会に出れていたら続けていると思うし、そうでなかつたらやめていると思う。記録は今より20kg上をやってみたい。

<Q2> 練習できる環境をたくさんつくってほしい。

<Q3> 怪我を少なくし、S110kg、J135kgに早く到達し、誰も近づけない記録を出したい。

S95.0kgCR、J115.0kgCS、T210.0kgCR



大学紹介

立命館大学

1. 立命館大学キャンパス紹介

立命館大学衣笠キャンパスがある京都と言えば、1200年の歴史を伝える街並み、山紫水明と称される三山（北山・東山・西山）の景観と、多くのベンチャービジネスを生み出した進取の気風が共存する古都。日本を代表する学問と文化、そして大学と学生の街です。その西北、「衣笠」の地にある衣笠キャンパスは、金閣寺、龍安寺、仁和寺、そして等持院などの名刹に囲まれ、学問・研究の場にふさわしい静かなたたずまいの中にあります。私たちはこの恵まれた環境の中で、キャンパスライフを過ごしています。



2. ウエイトリフティング部紹介

衣笠キャンパスから車で10分程離れた「原谷グランド第二尚友館」に練習場があります。部の創設は1964年からで、当時から暫くは経験者や指導者はほとんどなく、大学から始めた部員達の、強豪校へ少しでも近づきたいという熱い気持ちが部を支えていました。

それから20数年が経った1988年度以降、大学が始めたスポーツ選抜入試により、高校からの経験者が徐々に入学を始め、1992年からは女子も同様に入学し、現在に至っています。現在の部員数は、14名（男子6名、女子8名）で活動中です。近年では、徐々に全国で戦える力を付けていくことができ、最近の戦績としては、2003年度インカレ男子II部優勝（I部昇格）、女子インカレ準優勝という結果を残しています。

練習内容ですが、月～土の週6日で約2時間半の練習を行っています。男女合同で練習をしていますが、メニューは男女別で行っており、毎日の強弱を考えながら、練習に取り組んでいます。また、怪我をした選手は別の部屋にあるマシントレーニングジムや、練習場の周辺で、部分的な補強を行っています。練習の雰囲気は、声を出し合って励ましあい、時には笑い声もある明るい雰囲気の中で練習を行っています。今年は、男子はインカレI部入賞、女子はインカレ優勝を目指し、この目標を成し遂げられるよう、引き続き頑張って行きます。

3. 詳 細

(ア) 大学の沿革

1900年「私立京都法政学校」として発足、100年以上の歴史を持ち、「平和と民主主義」を教学理念としている。

(イ) 学部及びキャンパス

(衣笠キャンパス)

京都市北区等持院北町 56-1

法学部、文学部、産業社会学部、国際関係学部、政策科学部

(草津キャンパス)

滋賀県草津市野路東 1-1-1

経済学部、経営学部、理工学部、情報理工学部

(ウ) 部の現体制

部長 藤 健一 (文学部教授)

副部長 山本 高明

監督 影山 博文

コーチ 渋谷 公二

部員数 14名 (男 6名、女 8名)

(エ) トレーニング場及び施設

原谷グランド内第二尚友館内 (京都市右京区鳴滝宇多野谷 17)

ウェイトリフティング場 (8m×3m 2面)

各種トレーニングマシンルーム

(オ) 主な戦績 (2003年度)

① 全日本大学対抗戦

男子 II部 1位 (I部昇格)

女子 1部 2位

② 西日本学生選手権

男子 2位

2004年度

① 全日本大学対抗戦

男子 1部 9位

女子 1部 2位

② 西日本学生選手権

男子 3位



「力」の民話・伝説（22） 滋賀県の巻

JWA会長 林 克也

はじめに

滋賀県東浅井郡朝日村（現・湖古町）には、平氏が山本源氏を攻めたとき、伊吹三郎と山本判官が投げ合ったという礫石（つぶていし）がある。礫石は神や英雄が投げた石といわれ、小石から岩石までいろいろである。

三重県飯南郡宮前林（現・飯高町）には、天照大神が、伊勢の国境を決めるために、投げた石といわれるものがあり、岡山県久米郡久米町の礫石は、弁慶の戯れの仕業だという。

礫石伝説は、現在も全国各地に残る伝説なので、別の機会に詳細に述べ度いと考えている。

1 の怪力僧弁慶については、すでに、これまで何度も取りあげてきたが、^{みいではら}三井寺にある弁慶の引き摺り鐘は、あまりにも有名であり、類話は群馬県内にもある。

^{おうみはせまん}近江八幡の馬渕^{まぶち}というところに、米俵を二俵背負ったまま、川に落ちて動けなくなっている牛を、米俵ごと、牛を両手で救い出した話が愉快に語られているが、本稿では、紙数の関係で、2 の大力娘「おいね」話にとどめた。

1. 弁慶の引き摺り鐘（三井寺の鐘の縁起伝説）

今から、およそ千年程むかし、俵藤太（藤原秀卿のこと。）という、勇名を馳せた武将がいた。

あるとき、武将が瀬田の唐橋（琵琶湖畔）を渡る際、白髪の老人（龍神の化身）から、湖底の金銀宝玉で飾られた宮殿に誘われた。

そこで、龍神の姫が、悪者の大ムカデに、毎晩のように襲われるので、助けて欲しいと懇願された。

武将は、その夜、襲ってきた大ムカデを見事、強弓打ち負かして、姫を救った。

龍神は大いに嬉こび、礼として、つり鐘、刀、鎧、鍋、米を出しても尽きぬ俵を贈った。
「俵藤太」の名は、この俵に由来するという。

武将は、贈られた中のつり鐘を、近くの^{みいではら}三井寺に寄進したのである。

このときから、2~300 年たった、源・平時代、大津の三井寺と比叡山の延暦寺は、共に僧をくり出し、斗争をくり返していた。

延暦寺側には、荒法師として名の知れた、弁慶がいた。

ある日、その弁慶を先頭に、延暦寺の僧兵が三井寺を荒らし廻った。

この日、弁慶は、俵藤太が龍神からもらったつり鐘を、戦利品として、延暦寺まで一人で引き摺って持ち帰った。延暦寺といえば、標高八百m以上もある比叡山の中腹にある寺である。六百貫以上（2,000k 以上）もあるつり鐘を、山の上まで運んだわけである。

ところが、延暦寺では、戦利品のつり鐘についてみるのだが、さっぱり良い音色が響かない。
おこった弁慶は、この鐘を崖の上から、谷間に投げ捨ててしまった。

何年かの年月を経て、ようやく延暦寺と三井寺は、仲なおりする。

三井寺では、早速、谷底で風雪に耐えていたつり鐘を、幾人もの人手で三井寺まで持ち帰った。

ところが、つり鐘はここでも良い音色が出ない。弁慶が引き摺ったり、谷底に投げ落としたために、損傷してしまったのである。

ある時、にょにんきんせい女人禁制の三井寺へ、こつそり、一人の女がやってきた。女は、あたりに人が居ないことをさいわいと、引き摺り鐘にむかって「どうぞ、私に鉄の鑑をとらせて下さい。」

と一所懸命に祈ったところ、つり鐘から、鉄の鑑が削りとられ、女の前に落ちた。その日は、天文18年（1549年）のお盆の15日であった。それから、女人禁制の三井寺も、毎年、お盆の15日だけは、禁制が解かれたという。

現在、三井寺には、伝説を異にする三つの鐘がある。俵藤太が竜神からもらったという、弁慶のつり鐘は、写真でみられるように、立派な堂内に收められ、訪れる人々は、その伝説を知り、鐘の大きさに驚嘆やまないのである。



2. 大力娘「おいね」（安曇川村）

むかし、むかし。

琵琶湖の西側のある村に、「おいね」という美しい力持ちの娘がいた。

娘は、先祖から残された狭い土地を、少しでも拡くしようと、とても無理と思われた周辺の荒地を、一所懸命になって、大水のときに、川から流れ出された大石を取り除いたり、大木を引き抜いたりして、先祖が残してくれた田畠を、より拡げていった。

ある日、

娘は、台所の水ガメの水が残り少なくなったので、近くの川の水を桶一杯に汲みあげ、それを担えて家にもどる途中、このあたりでは、日頃みかけない男と出合う。

男は、娘が美しかったので、すれ違いざま、戯ずら心をおこし、娘のお尻あたりに手を出した。

この時、娘は、少しも慌てず、男の手をそのまま脇にはさんで、平然と歩いて家にむかった。

男は驚いて、手を引き抜こうとするが、娘の力が余りにも強いので、どうすることも出来ない。そのまま、娘の家の前まで引き摺られてしまう有りさまである。

男は、娘に、

「堪忍、堪忍、あなたが、美しかったのでつい出来心でやってしまったのです。何卒。許して下さい。」

と、何んども頭を低くして、許しを乞うた。娘は、水桶を置くと、

「あなたは、旅の途中のようですが、何をする人ですか、また、何処へ行こうとなさっているのですか。」

「私は、越前の國の者で、宮中で力くらべがあると聞いたので、参加のため、都にのぼろうと思っています。」

「私がみたところ、今のあなたの力では、倒底、無理だと思います。これも、何かの縁なのでしょう。私が、あなたに力がつきますよう、お手伝いしましょう。」

男は、娘の申し出によろこび、娘のところに、しばらくとどまることにした。

娘は、その夜から、力がつくよう、おこわを炊いたり、強健なからだに役立つ山の木の実や山菜で料理をつくって、かいがいしく世話をやいた。

朝は、早くから野良仕事に、男と一緒に出かけ、荒地に散在する石などを除いたりした。はじめ、男の運ぶ石は小さかったが、昨日より今日、今日より明日と徐々に大きい石を運ぶ努力をした。

これは、今日のウエイトトレーニングでいう「漸増負荷の原則」にかなっている。

やがて、努力が実り、力は娘を凌駕するまでになった。

食もはじめは少なかったが、日が経つうちに、食欲旺盛となり、並みの人間の二倍も三倍も食べられるようになった。その結果、身体は以前より一廻りも二廻りも大きくなり、筋肉の盛りあがりは、近くの寺の仁王様のようだ。

米俵などは、一度に三俵も四俵も持って運んでいく程である。

ある日、娘は男に、

「今のあなたに勝てる人はいないでしょう、都に行きなさい。」

男は、

「大変お世話になりました。必ず、帝（みかど）の前で勝利を収めてみせましょう。」

といって、都に向かった。その後姿は、来たときとは較べようのない、たくましさである。都には、力自慢の男達が全国から集まっていた。

男は、これら力自慢の男達のすべてに勝ち、帝から一生豊かに暮らせるだけの褒美を受け、それをみやげに、娘のもとに戻っていった。

その後の二人が、幸せであったことは、言うまでもない。

「参考」

俵藤太（たわらのとうた）について

藤原の秀卿のこと、藤原鎌足の後裔、藤原魚名の孫村雄と下野掾鹿島の女との間に生まれた。近江田原の出身とも、下野田原の出身ともいわれる。下野国の押領使。藤原一門中居楯の武人として知られ、戦国以降の武門には後の後裔と称する者が少くない。彼については将門討伐の伝承と、琵琶湖のムカデ退治の伝承が名高い。

前者は、承平年間、東国において乱を起した平将門の「承平の乱」を平定した史実に基づくもので、『將門記』などさまざまな文献に記載がある。後者は、『太平記』をはじめ『寺門伝記補録』『蒲生記』等々に散見する。

ムカデ退治の伝説は『日本書記』の日本武尊の伝承、『今昔物語』所伝、その他多くの話根を総合して、作りあげたものらしい。

——日本昔話事典（弘文堂）——より

平成16年後半記録一覧

<ブロック大会>

第31回東北総合体育大会	58
第48回関東選手権大会	58
第9回北信越社会人選手権大会	59
第5回北信越高校女子選手権大会	60
第44回東海四県選手権大会	60
第9回東海女子選手権大会	60
第40回近畿社会人選手権大会	60
第35回中国選手権大会	60
第46回九州選手権大会	61
第18回九州マスターズ選手権大会	61

<国内・国際大会>

12回日・韓・中ジュニア交流競技大会	62
第32回東日本大学対抗選手権大会	63
2004年インターナショナルフレンドシップ大会	64
第40回西日本学生新人選手権大会	65
第17回アジアジュニア選手権大会	65
第9回アジアジュニア女子選手権大会	66
第6回アジアユース選手権大会	67
第49回全日本学生新人選手権大会	69
第59回国民体育大会	70
内閣総理大臣杯 第41回全日本社会人選手権大会	74
晴れの国おかやま国体記念杯女子大会	76
文部科学大臣杯 第50回全日本大学対抗選手権大会	78
第5回全日本大学対抗女子選手権大会	80

第31回東北総合体育大会
成年の部

2004/08/28~29 岩手県江刺市

階級	順位	氏名	所属	生年	体重	スナッチ			クリーン&ジャーク			ベスト							
						1	2	3	1	2	3	S	1	2					
53kg	1 保原 順一郎	田川県立第一高等学校	79 24	52.70	85.0 cs	90.0	92.5	x	105.0	112.5 cr	115.0	x	90.0	95.0	97.5	x	70.0	95.0	165.0
53kg	2 雄三郎	形美乃彌	79 25	51.46	85.0 x	85.0	92.5 cr	102.5	107.5 cs	112.5	x	90.0	95.0	100.0	x	70.0	95.0	165.0	
53kg	3 仁寿	和幸岩 手佐野達哉	84 19	51.40	65.0 x	65.0	75.0	x	80.0	85.0	x	90.0	95.0	100.0	x	70.0	95.0	155.0	
53kg	4 滝水秀人	森 八戸工業大学	85 18	49.94	60.0 x	60.0	65.0	x	70.0	80.0	x	60.0	65.0	70.0	x	60.0	65.0	120.0	
53kg	5 高木本 大安	大安 肇 島根県立中等教育院	82 22	52.36	45.0	50.0	55.0	x	60.0	67.5	x	55.0	60.0	67.5	x	50.0	60.0	130.0	
56kg	1 佐藤山 鳥	形秋田清流法科大学	80 3	55.70	95.0 x	95.0	100.0	x	110.0	120.0	x	95.0	110.0	120.0	x	85.0	100.0	190.0	
56kg	2 小久留勝彦 猪	鳥巣也才介	70 34	54.54	85.0	90.0	95.0	x	100.0	102.5	x	90.0	100.0	102.5	x	80.0	100.0	170.0	
56kg	3 板橋 錠一	田 里男ビリメンズ	80 24	55.98	85.0 x	85.0	90.0	x	95.0	105.0	x	85.0	105.0	108.0	x	70.0	100.0	171.5	
56kg	4 高橋 城	城(株)東洋ゴム工業	79 25	55.94	70.0 x	80.0	85.0	x	95.0	100.0	x	75.0	100.0	175.0	x	60.0	100.0	210.0	
56kg	5 阿部 大道	大通 岩手県立小淵沢工業	81 22	55.92	70.0	70.0	75.0	x	80.0	85.0	x	70.0	80.0	85.0	x	60.0	80.0	207.5	
62kg	1 井川 順輔	鳥 日本大学	85 18	61.42	90.0	95.0	100.0	x	120.0	125.0	x	90.0	126.0	125.0	x	80.0	120.0	202.5	
62kg	2 三浦 遼	修造宮 城 東北楽天大学	80 23	61.96	85.0	90.0	95.0	x	105.0	120.0	x	90.0	120.0	125.0	x	80.0	120.0	200.0	
62kg	3 安藤 良	宇喜多秋田	82 22	52.36	45.0	50.0	55.0	x	60.0	67.5	x	55.0	60.0	67.5	x	50.0	60.0	122.5	
62kg	4 佐藤 肇	祐伸秋田	80 23	55.70	95.0 x	95.0	100.0	x	110.0	120.0	x	95.0	110.0	120.0	x	85.0	100.0	190.0	
62kg	5 佐藤 順	鳥巣也才介	70 34	58.12	85.0	90.0	95.0	x	100.0	105.0	x	90.0	110.0	120.0	x	80.0	100.0	170.0	
62kg	6 佐藤 順	森 伊藤義典	84 19	60.84	85.0	90.0	95.0	x	100.0	105.0	x	90.0	110.0	120.0	x	80.0	100.0	170.0	
62kg	7 佐藤 順	森 伊藤義典	81 22	55.92	70.0	70.0	75.0	x	80.0	85.0	x	70.0	90.0	95.0	x	60.0	90.0	155.0	
62kg	8 佐藤 順	森 伊藤義典	80 3	55.70	95.0 x	95.0	100.0	x	100.0	105.0	x	90.0	100.0	105.0	x	80.0	100.0	170.0	
62kg	9 佐藤 順	森 伊藤義典	79 25	60.50	85.0	90.0	95.0	x	100.0	105.0	x	90.0	111.75	117.5	x	80.0	110.0	190.0	
62kg	10 佐藤 順	森 伊藤義典	78 26	60.50	85.0	90.0	95.0	x	100.0	105.0	x	90.0	111.75	117.5	x	80.0	110.0	190.0	
62kg	11 佐藤 順	森 伊藤義典	77 27	66.56	95.0	100.0	105.0	x	120.0	130.0	x	105.0	132.5 cr	137.5	x	90.0	110.0	207.5	
62kg	12 佐藤 順	森 伊藤義典	76 27	66.56	95.0	100.0	105.0	x	120.0	130.0	x	105.0	132.5 cr	137.5	x	90.0	110.0	207.5	
62kg	13 佐藤 順	森 伊藤義典	75 27	66.56	95.0	100.0	105.0	x	120.0	130.0	x	105.0	132.5 cr	137.5	x	90.0	110.0	207.5	
62kg	14 佐藤 順	森 伊藤義典	74 28	66.56	95.0	100.0	105.0	x	120.0	130.0	x	105.0	132.5 cr	137.5	x	90.0	110.0	207.5	
62kg	15 佐藤 順	森 伊藤義典	73 29	66.56	95.0	100.0	105.0	x	120.0	130.0	x	105.0	132.5 cr	137.5	x	90.0	110.0	207.5	
62kg	16 佐藤 順	森 伊藤義典	72 27	66.56	95.0	100.0	105.0	x	120.0	130.0	x	105.0	132.5 cr	137.5	x	90.0	110.0	207.5	
62kg	17 佐藤 順	森 伊藤義典	71 26	66.56	95.0	100.0	105.0	x	120.0	130.0	x	105.0	132.5 cr	137.5	x	90.0	110.0	207.5	
62kg	18 佐藤 順	森 伊藤義典	70 25	66.56	95.0	100.0	105.0	x	120.0	130.0	x	105.0	132.5 cr	137.5	x	90.0	110.0	207.5	
62kg	19 佐藤 順	森 伊藤義典	69 35	65.76	95.0	100.0	105.0	x	120.0	130.0	x	105.0	132.5 cr	137.5	x	90.0	110.0	207.5	
62kg	20 佐藤 順	森 伊藤義典	68 36	65.76	95.0	100.0	105.0	x	120.0	130.0	x	105.0	132.5 cr	137.5	x	90.0	110.0	207.5	
62kg	21 佐藤 順	森 伊藤義典	67 35	65.76	95.0	100.0	105.0	x	120.0	130.0	x	105.0	132.5 cr	137.5	x	90.0	110.0	207.5	
62kg	22 佐藤 順	森 伊藤義典	66 34	65.76	95.0	100.0	105.0	x	120.0	130.0	x	105.0	132.5 cr	137.5	x	90.0	110.0	207.5	
62kg	23 佐藤 順	森 伊藤義典	65 33	65.76	95.0	100.0	105.0	x	120.0	130.0	x	105.0	132.5 cr	137.5	x	90.0	110.0	207.5	
62kg	24 佐藤 順	森 伊藤義典	64 30	64.76	95.0	100.0	105.0	x	120.0	130.0	x	105.0	132.5 cr	137.5	x	90.0	110.0	207.5	
62kg	25 佐藤 順	森 伊藤義典	63 29	64.76	95.0	100.0	105.0	x	120.0	130.0	x	105.0	132.5 cr	137.5	x	90.0	110.0	207.5	
62kg	26 佐藤 順	森 伊藤義典	62 28	64.76	95.0	100.0	105.0	x	120.0	130.0	x	105.0	132.5 cr	137.5	x	90.0	110.0	207.5	
62kg	27 佐藤 順	森 伊藤義典	61 27	64.76	95.0	100.0	105.0	x	120.0	130.0	x	105.0	132.5 cr	137.5	x	90.0	110.0	207.5	
62kg	28 佐藤 順	森 伊藤義典	60 26	64.76	95.0	100.0	105.0	x	120.0	130.0	x	105.0	132.5 cr	137.5	x	90.0	110.0	207.5	
62kg	29 佐藤 順	森 伊藤義典	59 25	64.76	95.0	100.0	105.0	x	120.0	130.0	x	105.0	132.5 cr	137.5	x	90.0	110.0	207.5	
62kg	30 佐藤 順	森 伊藤義典	58 24	64.76	95.0	100.0	105.0	x	120.0	130.0	x	105.0	132.5 cr	137.5	x	90.0	110.0	207.5	
62kg	31 佐藤 順	森 伊藤義典	57 23	64.76	95.0	100.0	105.0	x	120.0	130.0	x	105.0	132.5 cr	137.5	x	90.0	110.0	207.5	
62kg	32 佐藤 順	森 伊藤義典	56 22	64.76	95.0	100.0	105.0	x	120.0	130.0	x	105.0	132.5 cr	137.5	x	90.0	110.0	207.5	
62kg	33 佐藤 順	森 伊藤義典	55 21	64.76	95.0	100.0	105.0	x	120.0	130.0	x	105.0	132.5 cr	137.5	x	90.0	110.0	207.5	
62kg	34 佐藤 順	森 伊藤義典	54 20	64.76	95.0	100.0	105.0	x	120.0	130.0	x	105.0	132.5 cr	137.5	x	90.0	110.0	207.5	
62kg	35 佐藤 順	森 伊藤義典	53 19	64.76	95.0	100.0	105.0	x	120.0	130.0	x	105.0	132.5 cr	137.5	x	90.0	110.0	207.5	
62kg	36 佐藤 順	森 伊藤義典	52 18	64.76	95.0	100.0	105.0	x	120.0	130.0	x	105.0	132.5 cr	137.5	x	90.0	110.0	207.5	
62kg	37 佐藤 順	森 伊藤義典	51 17	64.76	95.0	100.0	105.0	x	120.0	130.0	x	105.0	132.5 cr	137.5	x	90.0	110.0	207.5	
62kg	38 佐藤 順	森 伊藤義典	50 16	64.76	95.0	100.0	105.0	x	120.0	130.0	x	105.0	132.5 cr	137.5	x	90.0	110.0	207.5	
62kg	39 佐藤 順	森 伊藤義典	49 15	64.76	95.0	100.0	105.0	x	120.0	130.0	x	105.0	132.5 cr	137.5	x	90.0	110.0	207.5	
62kg	40 佐藤 順	森 伊藤義典	48 14	64.76	95.0	100.0	105.0	x	120.0	130.0	x	105.0	132.5 cr	137.5	x	90.0	110.0	207.5	
62kg	41 佐藤 順	森 伊藤義典	47 13	64.76	95.0	100.0	105.0	x	120.0	130.0	x	105.0	132.5 cr	137.5	x	90.0	110.0	207.5	
62kg	42 佐藤 順	森 伊藤義典	46 12	64.76	95.0	100.0	105.0	x	120.0	130.0	x	105.0	132.5 cr	137.5	x	90.0	110.0	207.5	
62kg	43 佐藤 順	森 伊藤義典	45 11	64.76	95.0	100.0	105.0	x	120.0	130.0	x	105.0	132.5 cr	137.5	x	90.0	110.0	207.5	
62kg	44 佐藤 順	森 伊藤義典	44 10	64.76	95.0	100.0	105.0	x	120.0	130.0	x	105.0	132.5 cr	137.5	x	90.0	110.0	207.5	
62kg	45 佐藤 順	森 伊藤義典	43 9	64.76	95.0	100.0	105.0	x	120.0	130.0	x	105.0	132.5 cr	137.5	x	90.0	110.0	207.5	
62kg	46 佐藤 順	森 伊藤義典	42 8	64.76	95.0	100.0	105.0	x	120.0	130.0	x	105.0	132.5 cr	137.5	x	90.0	110.0	207.5	
62kg	47 佐藤 順	森 伊藤義典	41 7	64.76	95.0	100.0	105.0	x	120.0	130.0	x	105.0	132.5 cr	137.5	x	90.0	110.0	207.5	
62kg	48 佐藤 順	森 伊藤義典	40 6	64.76	95.0	100.0	105.0	x	120.0	130.0	x	105.0	132.5 cr	137.5	x	90.0	110.0	207.5	
62kg	4																		

第5回北信越高校女子選手権大会

2004/08/22 長野県松本市

階級	順位	氏名	支部	所属	生年	年齢	体重	スナッチ	クリーン&ジャーブ	スナッチ	クリーン&ジャーブ	トータル	
階級	順位	氏名	支部	所属	生年	年齢	体重	1	2	3	1	2	S C.J.
53kg	1	森川 寧	幸司三重支部	住友電装株	79 25	52.60	90.0	92.5	115.0	120.0	125.0	92.5	120.0
53kg	2	鈴木 真一	真一子(子)	75 25	50.75	65.0	75.0	82.5	87.5	90.0	70.0	87.5	157.5
56kg	1	中橋 良輔	知名古屋産業大学	80 20	55.40	80.0	85.0	100.0	110.0	110.0	95.0	105.0	202.5
56kg	2	伊藤 勲	伊藤(子)	75 23	53.65	75.0	80.0	82.5	95.0	100.0	82.5	95.0	182.5
62kg	1	小野 駿輔	四(体江戸)岡	75 23	55.25	70.0	80.0	80.0	90.0	95.0	100.0	110.0	197.5
62kg	2	鈴木宏一	鈴木(子)	79 26	59.20	90.0	95.0	97.5	110.0	115.0	120.0	120.0	135.0
62kg	3	加藤 伸秀	加藤(子)	80 18	61.65	70.0	80.0	80.0	90.0	95.0	100.0	105.0	190.0
62kg	4	佐久間一世	佐久間(子)	80 19	61.70	70.0	70.0	85.0	87.5	90.0	80.0	87.5	175.0
62kg	5	中山 大介	大介(子)	82 3	59.50	70.0	75.0	80.0	90.0	100.0	105.0	110.0	120.0
62kg	6	近藤 功二	近藤(子)	81 23	60.80	60.0	65.0	70.0	80.0	85.0	90.0	95.0	120.0
69kg	1	近藤 伸次郎	伸次郎(子)	79 25	61.25	75.0	75.0	75.0	95.0	95.0	95.0	95.0	112.5
69kg	2	新木 達朗	新木(子)	79 25	61.20	110.0	115.0	120.0	140.0	145.0	150.0	150.0	212.5
69kg	3	堀木 哲	堀木(子)	84 2	63.60	85.0	90.0	92.5	115.0	120.0	125.0	125.0	197.5
69kg	4	木下 静	木下(子)	84 2	63.60	70.0	75.0	80.0	90.0	100.0	105.0	110.0	180.0
69kg	5	見木 雄一	見木(子)	85 19	67.70	80.0	85.0	90.0	105.0	110.0	115.0	115.0	200.0
69kg	6	青木 健	青木(子)	83 17	67.30	75.0	80.0	85.0	95.0	100.0	105.0	110.0	197.5
69kg	7	木本 多	木本(子)	84 19	74.00	100.0	105.0	110.0	120.0	125.0	130.0	130.0	215.0
77kg	1	西宮 慶	慶(未久)株	85 19	72.75	75.0	80.0	85.0	95.0	100.0	105.0	110.0	197.5
77kg	2	廣大嶽 崇	崇(未久)株	70 33	75.45	80.0	85.0	90.0	100.0	105.0	110.0	115.0	200.0
77kg	3	大堀 勇	大堀(未久)株	76 27	78.70	90.0	95.0	97.5	110.0	115.0	120.0	120.0	200.0
77kg	4	澤田 駿	澤田(未久)株	85 18	78.95	90.0	95.0	100.0	115.0	120.0	125.0	125.0	200.0
77kg	5	洋介 岐	洋介(未久)株	76 27	78.75	90.0	95.0	100.0	115.0	120.0	125.0	125.0	200.0
77kg	6	小宮 駿	小宮(未久)株	76 27	78.75	110.0	120.0	130.0	140.0	145.0	150.0	150.0	200.0
77kg	7	堀田 工業	堀田(未久)株	75 26	75.26	80.0	85.0	90.0	100.0	105.0	110.0	110.0	197.5
77kg	8	澤田 駿	澤田(未久)株	76 27	78.75	110.0	120.0	130.0	140.0	145.0	150.0	150.0	200.0
77kg	9	澤田 駿	澤田(未久)株	76 27	78.75	110.0	120.0	130.0	140.0	145.0	150.0	150.0	200.0
77kg	10	澤田 駿	澤田(未久)株	76 27	78.75	110.0	120.0	130.0	140.0	145.0	150.0	150.0	200.0
77kg	11	澤田 駿	澤田(未久)株	76 27	78.75	110.0	120.0	130.0	140.0	145.0	150.0	150.0	200.0
77kg	12	澤田 駿	澤田(未久)株	76 27	78.75	110.0	120.0	130.0	140.0	145.0	150.0	150.0	200.0
77kg	13	澤田 駿	澤田(未久)株	76 27	78.75	110.0	120.0	130.0	140.0	145.0	150.0	150.0	200.0
77kg	14	澤田 駿	澤田(未久)株	76 27	78.75	110.0	120.0	130.0	140.0	145.0	150.0	150.0	200.0
77kg	15	澤田 駿	澤田(未久)株	76 27	78.75	110.0	120.0	130.0	140.0	145.0	150.0	150.0	200.0
77kg	16	澤田 駿	澤田(未久)株	76 27	78.75	110.0	120.0	130.0	140.0	145.0	150.0	150.0	200.0
77kg	17	澤田 駿	澤田(未久)株	76 27	78.75	110.0	120.0	130.0	140.0	145.0	150.0	150.0	200.0
77kg	18	澤田 駿	澤田(未久)株	76 27	78.75	110.0	120.0	130.0	140.0	145.0	150.0	150.0	200.0
77kg	19	澤田 駿	澤田(未久)株	76 27	78.75	110.0	120.0	130.0	140.0	145.0	150.0	150.0	200.0
77kg	20	澤田 駿	澤田(未久)株	76 27	78.75	110.0	120.0	130.0	140.0	145.0	150.0	150.0	200.0
77kg	21	澤田 駿	澤田(未久)株	76 27	78.75	110.0	120.0	130.0	140.0	145.0	150.0	150.0	200.0
77kg	22	澤田 駿	澤田(未久)株	76 27	78.75	110.0	120.0	130.0	140.0	145.0	150.0	150.0	200.0
77kg	23	澤田 駿	澤田(未久)株	76 27	78.75	110.0	120.0	130.0	140.0	145.0	150.0	150.0	200.0
77kg	24	澤田 駿	澤田(未久)株	76 27	78.75	110.0	120.0	130.0	140.0	145.0	150.0	150.0	200.0
77kg	25	澤田 駿	澤田(未久)株	76 27	78.75	110.0	120.0	130.0	140.0	145.0	150.0	150.0	200.0
77kg	26	澤田 駿	澤田(未久)株	76 27	78.75	110.0	120.0	130.0	140.0	145.0	150.0	150.0	200.0
77kg	27	澤田 駿	澤田(未久)株	76 27	78.75	110.0	120.0	130.0	140.0	145.0	150.0	150.0	200.0
77kg	28	澤田 駿	澤田(未久)株	76 27	78.75	110.0	120.0	130.0	140.0	145.0	150.0	150.0	200.0
77kg	29	澤田 駿	澤田(未久)株	76 27	78.75	110.0	120.0	130.0	140.0	145.0	150.0	150.0	200.0
77kg	30	澤田 駿	澤田(未久)株	76 27	78.75	110.0	120.0	130.0	140.0	145.0	150.0	150.0	200.0
77kg	31	澤田 駿	澤田(未久)株	76 27	78.75	110.0	120.0	130.0	140.0	145.0	150.0	150.0	200.0
77kg	32	澤田 駿	澤田(未久)株	76 27	78.75	110.0	120.0	130.0	140.0	145.0	150.0	150.0	200.0
77kg	33	澤田 駿	澤田(未久)株	76 27	78.75	110.0	120.0	130.0	140.0	145.0	150.0	150.0	200.0
77kg	34	澤田 駿	澤田(未久)株	76 27	78.75	110.0	120.0	130.0	140.0	145.0	150.0	150.0	200.0
77kg	35	澤田 駿	澤田(未久)株	76 27	78.75	110.0	120.0	130.0	140.0	145.0	150.0	150.0	200.0
77kg	36	澤田 駿	澤田(未久)株	76 27	78.75	110.0	120.0	130.0	140.0	145.0	150.0	150.0	200.0
77kg	37	澤田 駿	澤田(未久)株	76 27	78.75	110.0	120.0	130.0	140.0	145.0	150.0	150.0	200.0
77kg	38	澤田 駿	澤田(未久)株	76 27	78.75	110.0	120.0	130.0	140.0	145.0	150.0	150.0	200.0
77kg	39	澤田 駿	澤田(未久)株	76 27	78.75	110.0	120.0	130.0	140.0	145.0	150.0	150.0	200.0
77kg	40	澤田 駿	澤田(未久)株	76 27	78.75	110.0	120.0	130.0	140.0	145.0	150.0	150.0	200.0
77kg	41	澤田 駿	澤田(未久)株	76 27	78.75	110.0	120.0	130.0	140.0	145.0	150.0	150.0	200.0
77kg	42	澤田 駿	澤田(未久)株	76 27	78.75	110.0	120.0	130.0	140.0	145.0	150.0	150.0	200.0
77kg	43	澤田 駿	澤田(未久)株	76 27	78.75	110.0	120.0	130.0	140.0	145.0	150.0	150.0	200.0
77kg	44	澤田 駿	澤田(未久)株	76 27	78.75	110.0	120.0	130.0	140.0	145.0	150.0	150.0	200.0
77kg	45	澤田 駿	澤田(未久)株	76 27	78.75	110.0	120.0	130.0	140.0	145.0	150.0	150.0	200.0
77kg	46	澤田 駿	澤田(未久)株	76 27	78.75	110.0	120.0	130.0	140.0	145.0	150.0	150.0	200.0
77kg	47	澤田 駿	澤田(未久)株	76 27	78.75	110.0	120.0	130.0	140.0	145.0	150.0	150.0	200.0
77kg	48	澤田 駿	澤田(未久)株	76 27	78.75	110.0	120.0	130.0	140.0	145.0	150.0	150.0	200.0
77kg	49	澤田 駿	澤田(未久)株	76 27	78.75	110.0	120.0	130.0	140.0	145.0	150.0	150.0	200.0
77kg	50	澤田 駿	澤田(未久)株	76 27	78.75	110.0	120.0	130.0	140.0	145.0	150.0	150.0	200.0
77kg	51	澤田 駿	澤田(未久)株	76 27	78.75	110.0	120.0	130.0	140.0	145.0	150.0	150.0	200.0
77kg	52	澤田 駿	澤田(未久)株	76 27	78.75	110.0	120.0	130.0	140.0	145.0	150.0	150.0	200.0
77kg	53	澤田 駿	澤田(未久)株	76 27	78.75	110.0	120.0	130.0	140.0	145.0	150.0	150.0	200.0
77kg	54	澤田 駿	澤田(未久)株	76 27	78.75	110.0	120.0	130.0	140.0	145.0	150.0	150.0	200.0
77kg	55	澤田 駿	澤田(未久)株	76 27	78.75	110.0	120.0	130.0	140.0	145.0	150.0	150.0	200.0
77kg	56	澤田 駿	澤田(未久)株	76 27	78.75	110.0	120.0	130.0	140.0	145.0	150.0	150.0	200.0
77kg	57	澤田 駿	澤田(未久)株	76 27	78.75	110.0	120.0	130.0	140.0	145.0	150.0	150.0	200.0
77kg	58	澤田 駿	澤田(未久)株	76 27	78.75	110.0	120.0	130.0	140.0	145.0	150.0	150.0	200.0
77kg	5												

第46回九州選手権大会																						
順位		氏名		支部		所属		生年		体重		1		スナッチ		クリーン&ジャーク						
56Kg	1	河井 健二	島根 出雲一郎	71	33	54.25	80.0	65.0	87.5	95.0	100.0	102.5	x	107.5	100.0	187.5	0.0					
56Kg	2	河井 3 河井 健二	島根 出雲一郎	83	21	55.35	70.0	75.0	80.0	90.0	105.0	110.0	75.0	100.0	185.0	77Kg	白石 韶起	鹿児島 大分	明治大学			
56Kg	3	小川 雄史	島根 出雲一郎	74	30	61.35	102.5	102.5	102.5	105.0	135.0	140.0	130.5	105.0	140.0	245.0	85Kg	高橋 1	高橋 1	明治大学		
62Kg	1	小藤 篤弘	島根 出雲一郎	63	19	61.70	102.5	95.0	100.0	107.5	132.5	135.0	137.5	x	105.0	130.0	150.0	85Kg	2	平良 2	明治大学	
62Kg	2	石井 5 大	島根 出雲一郎	82	22	60.05	95.0	100.0	102.5	127.5	x	130.0	125.0	125.0	x	110.0	120.0	127.5	85Kg	3	吉岡 3 吉岡	明治大学
62Kg	4	日本 大川	島根 出雲一郎	80	24	62.00	92.5	97.5	102.5	105.0	110.0	112.5	x	105.0	115.0	207.5	94Kg	武田 1 武田	大川 1 大川	明治大学		
62Kg	5	日本 大川	島根 出雲一郎	77	26	61.10	90.0	90.0	95.0	112.5	x	117.5	x	120.0	90.0	117.5	207.5	94Kg	2 内ノ倉 2 内ノ倉	大川 2 大川	明治大学	
62Kg	6	日本 大川	島根 出雲一郎	84	19	60.30	65.0	67.5	70.0	75.0	80.0	85.0	x	70.0	80.0	185.0	94Kg	4 伊藤 4 伊藤	大川 4 大川	明治大学		
62Kg	7	土江 大輔	島根 出雲一郎	84	19	60.30	65.0	67.5	70.0	75.0	80.0	85.0	x	70.0	80.0	185.0	94Kg	5 伊藤 5 伊藤	大川 5 大川	明治大学		
63Kg	1	永井 啓吾	島根 出雲一郎	94	19	68.55	100.0	105.0	112.5	120.0	130.0	135.0	x	105.0	130.0	235.0	94Kg	6 伊藤 6 伊藤	大川 6 大川	明治大学		
63Kg	2	山崎 勇	島根 出雲一郎	77	26	68.70	102.5	105.0	110.0	120.0	130.0	135.0	x	105.0	120.0	232.5	105Kg	7 伊藤 7 伊藤	大川 7 大川	明治大学		
63Kg	3	日名 謙磨	島根 出雲一郎	80	24	64.30	90.0	100.0	105.0	110.0	120.0	130.0	x	110.0	120.0	230.0	105Kg	8 伊藤 8 伊藤	大川 8 大川	明治大学		
63Kg	4	杉本 伸	島根 出雲一郎	85	19	69.00	100.0	105.0	110.0	120.0	130.0	135.0	x	110.0	120.0	230.0	105Kg	9 伊藤 9 伊藤	大川 9 大川	明治大学		
63Kg	5	大谷 隆	島根 出雲一郎	78	26	65.95	80.0	85.0	90.0	100.0	105.0	110.0	x	100.0	110.0	200.0	+105Kg	6 伊藤 6 伊藤	大川 6 大川	明治大学		
63Kg	6	大谷 隆	島根 出雲一郎	55	49	65.15	85.0	87.5	x	60.0	70.0	75.0	x	60.0	70.0	185.0	+105Kg	7 加戸 7 加戸	大川 7 大川	明治大学		
63Kg	7	鈴木 勝	島根 出雲一郎	68	34	68.80	50.0	55.0	60.0	60.0	65.0	70.0	x	70.0	70.0	125.0	+105Kg	8 鈴木 8 鈴木	大川 8 大川	明治大学		
63Kg	8	鈴木 勝	島根 出雲一郎	68	34	68.80	50.0	55.0	60.0	60.0	65.0	70.0	x	70.0	70.0	125.0	+105Kg	9 鈴木 9 鈴木	大川 9 大川	明治大学		
63Kg	9	鈴木 勝	島根 出雲一郎	81	23	76.65	120.0	127.5	130.0	135.0	140.0	145.0	x	120.0	130.0	250.0	*105Kg	1 金田 1 金田	鈴木 1 鈴木	明治大学		
77Kg	1	片岡 正義	島根 出雲一郎	83	21	71.20	120.0	115.0	117.5	125.0	130.0	135.0	x	120.0	130.0	250.0	77Kg	2 田中 勝也	片岡 2 片岡	明治大学		
77Kg	3	野村 勝也	島根 出雲一郎	77	26	72.56	120.0	115.0	117.5	125.0	130.0	135.0	x	115.0	125.0	250.0	77Kg	4 伊藤 4 伊藤	片岡 4 片岡	明治大学		
77Kg	5	片岡 勝也	島根 出雲一郎	77	26	72.56	120.0	115.0	117.5	125.0	130.0	135.0	x	115.0	125.0	250.0	77Kg	6 伊藤 6 伊藤	片岡 6 片岡	明治大学		
77Kg	7	片岡 勝也	島根 出雲一郎	81	23	76.65	120.0	127.5	130.0	135.0	140.0	145.0	x	120.0	130.0	250.0	77Kg	8 伊藤 8 伊藤	片岡 8 片岡	明治大学		
77Kg	9	片岡 勝也	島根 出雲一郎	81	23	76.65	120.0	127.5	130.0	135.0	140.0	145.0	x	120.0	130.0	250.0	77Kg	10 伊藤 10 伊藤	片岡 10 片岡	明治大学		
77Kg	11	片岡 勝也	島根 出雲一郎	81	23	76.65	120.0	127.5	130.0	135.0	140.0	145.0	x	120.0	130.0	250.0	77Kg	11 伊藤 11 伊藤	片岡 11 片岡	明治大学		
77Kg	12	片岡 勝也	島根 出雲一郎	81	23	76.65	120.0	127.5	130.0	135.0	140.0	145.0	x	120.0	130.0	250.0	77Kg	12 伊藤 12 伊藤	片岡 12 片岡	明治大学		
77Kg	13	片岡 勝也	島根 出雲一郎	81	23	76.65	120.0	127.5	130.0	135.0	140.0	145.0	x	120.0	130.0	250.0	77Kg	13 伊藤 13 伊藤	片岡 13 片岡	明治大学		
77Kg	14	片岡 勝也	島根 出雲一郎	81	23	76.65	120.0	127.5	130.0	135.0	140.0	145.0	x	120.0	130.0	250.0	77Kg	14 伊藤 14 伊藤	片岡 14 片岡	明治大学		
77Kg	15	片岡 勝也	島根 出雲一郎	81	23	76.65	120.0	127.5	130.0	135.0	140.0	145.0	x	120.0	130.0	250.0	77Kg	15 伊藤 15 伊藤	片岡 15 片岡	明治大学		
77Kg	16	片岡 勝也	島根 出雲一郎	81	23	76.65	120.0	127.5	130.0	135.0	140.0	145.0	x	120.0	130.0	250.0	77Kg	16 伊藤 16 伊藤	片岡 16 片岡	明治大学		
77Kg	17	片岡 勝也	島根 出雲一郎	81	23	76.65	120.0	127.5	130.0	135.0	140.0	145.0	x	120.0	130.0	250.0	77Kg	17 伊藤 17 伊藤	片岡 17 片岡	明治大学		
77Kg	18	片岡 勝也	島根 出雲一郎	81	23	76.65	120.0	127.5	130.0	135.0	140.0	145.0	x	120.0	130.0	250.0	77Kg	18 伊藤 18 伊藤	片岡 18 片岡	明治大学		
77Kg	19	片岡 勝也	島根 出雲一郎	81	23	76.65	120.0	127.5	130.0	135.0	140.0	145.0	x	120.0	130.0	250.0	77Kg	19 伊藤 19 伊藤	片岡 19 片岡	明治大学		
77Kg	20	片岡 勝也	島根 出雲一郎	81	23	76.65	120.0	127.5	130.0	135.0	140.0	145.0	x	120.0	130.0	250.0	77Kg	21 伊藤 21 伊藤	片岡 21 片岡	明治大学		
77Kg	22	片岡 勝也	島根 出雲一郎	81	23	76.65	120.0	127.5	130.0	135.0	140.0	145.0	x	120.0	130.0	250.0	77Kg	22 伊藤 22 伊藤	片岡 22 片岡	明治大学		
77Kg	23	片岡 勝也	島根 出雲一郎	81	23	76.65	120.0	127.5	130.0	135.0	140.0	145.0	x	120.0	130.0	250.0	77Kg	23 伊藤 23 伊藤	片岡 23 片岡	明治大学		
77Kg	24	片岡 勝也	島根 出雲一郎	81	23	76.65	120.0	127.5	130.0	135.0	140.0	145.0	x	120.0	130.0	250.0	77Kg	24 伊藤 24 伊藤	片岡 24 片岡	明治大学		
77Kg	25	片岡 勝也	島根 出雲一郎	81	23	76.65	120.0	127.5	130.0	135.0	140.0	145.0	x	120.0	130.0	250.0	77Kg	25 伊藤 25 伊藤	片岡 25 片岡	明治大学		
77Kg	26	片岡 勝也	島根 出雲一郎	81	23	76.65	120.0	127.5	130.0	135.0	140.0	145.0	x	120.0	130.0	250.0	77Kg	26 伊藤 26 伊藤	片岡 26 片岡	明治大学		
77Kg	27	片岡 勝也	島根 出雲一郎	81	23	76.65	120.0	127.5	130.0	135.0	140.0	145.0	x	120.0	130.0	250.0	77Kg	27 伊藤 27 伊藤	片岡 27 片岡	明治大学		
77Kg	28	片岡 勝也	島根 出雲一郎	81	23	76.65	120.0	127.5	130.0	135.0	140.0	145.0	x	120.0	130.0	250.0	77Kg	28 伊藤 28 伊藤	片岡 28 片岡	明治大学		
77Kg	29	片岡 勝也	島根 出雲一郎	81	23	76.65	120.0	127.5	130.0	135.0	140.0	145.0	x	120.0	130.0	250.0	77Kg	29 伊藤 29 伊藤	片岡 29 片岡	明治大学		
77Kg	30	片岡 勝也	島根 出雲一郎	81	23	76.65	120.0	127.5	130.0	135.0	140.0	145.0	x	120.0	130.0	250.0	77Kg	30 伊藤 30 伊藤	片岡 30 片岡	明治大学		
77Kg	31	片岡 勝也	島根 出雲一郎	81	23	76.65	120.0	127.5	130.0	135.0	140.0	145.0	x	120.0	130.0	250.0	77Kg	31 伊藤 31 伊藤	片岡 31 片岡	明治大学		
77Kg	32	片岡 勝也	島根 出雲一郎	81	23	76.65	120.0	127.5	130.0	135.0	140.0	145.0	x	120.0	130.0	250.0	77Kg	32 伊藤 32 伊藤	片岡 32 片岡	明治大学		
77Kg	33	片岡 勝也	島根 出雲一郎	81	23	76.65	120.0	127.5	130.0	135.0	140.0	145.0	x	120.0	130.0	250.0	77Kg	33 伊藤 33 伊藤	片岡 33 片岡	明治大学		
77Kg	34	片岡 勝也	島根 出雲一郎	81	23	76.65	120.0	127.5	130.0	135.0	140.0	145.0	x	120.0	130.0	250.0	77Kg	34 伊藤 34 伊藤	片岡 34 片岡	明治大学		
77Kg	35	片岡 勝也	島根 出雲一郎	81	23	76.65	120.0	127.5	130.0	135.0	140.0	145.0	x	120.0	130.0	250.0	77Kg	35 伊藤 35 伊藤	片岡 35 片岡	明治大学		
77Kg	36	片岡 勝也	島根 出雲一郎	81	23	76.65	120.0	127.5	130.0	135.0	140.0	145.0	x	120.0	130.0	250.0	77Kg	36 伊藤 36 伊藤	片岡 36 片岡	明治大学		
77Kg	37	片岡 勝也	島根 出雲一郎	81	23	76.65	120.0	127.5	130.0	135.0	140.0	145.0	x	120.0	130.0	250.0	77Kg	37 伊藤 37 伊藤	片岡 37 片岡	明治大学		
77Kg	38	片岡 勝也	島根 出雲一郎	81	23	76.65	120.0	127.5	130.0	135.0	140.0	145.0	x	120.0	130.0	250.0	77Kg	38 伊藤 38 伊藤	片岡 38 片岡	明治大学		
77Kg	39	片岡 勝也	島根 出雲一郎	81	23	76.65	120.0	127.5	130.0	135.0	140.0	145.0	x	120.0	130.0	250.0	77Kg	39 伊藤 39 伊藤	片岡 39 片岡	明治大学		
77Kg	40	片岡 勝也	島根 出雲一郎	81	23	76.65	120.0	127.5	130.0	135.0	140.0	145.0	x	120.0	130.0	250.0	77Kg	40 伊藤 40 伊藤	片岡 40 片岡	明治大学		
77Kg	41	片岡 勝也	島根 出雲一郎	81	23	76.65	120.0	127.5	130.0	135.0	140.0	145.0	x	120.0	130.0	250.0	77Kg	41 伊藤 41 伊藤	片岡 41 片岡	明治大学		
77Kg	42	片岡 勝也	島根 出雲一郎	81	23	76.65	120.0	127.5	130.0	135.0	140.0	145.0	x	120.0	130.0	250.0	77Kg	42 伊藤 42 伊藤	片岡 42 片岡	明治大学		
77Kg	43	片岡 勝也	島根 出雲一郎	81	23	76.65	120.0	127.5	130.0	135.0	140.0	145.0	x	120.0	130.0	250.0	77Kg	43 伊藤 43 伊藤	片岡 43 片岡	明治大学		
77Kg	44	片岡 勝也	島根 出雲一郎	81	23	76.65	120.0	127.5	130.0	135.0	140.0	145.0	x	120.0	130.0	250						

第12回日・韓・中ジュニア交流競技大会

●平成16年8月25日[女子全階級] 26日[男子全階級] ●CHN 長春市

【男子】

56Kg級

順位	氏名	国名	年生	体重	スナッチ	クリーン&ショット	ペスト	トータル			
				1	2	3	1	2	3	S	C&J
1	LI Xiangwu	CHN	87	55.75	110.0	115.0	115.0	135.0	140.0	140.0	115.0
2	WU Yongsheng	CHN	90	55.10	90.0	95.0	100.0	110.0	120.0	120.0	120.0
3	JUNG Sung-Hoon	KOR	86	55.25	80.0	90.0	100.0	115.0	120.0	120.0	120.0
4	幸地 艇	JPN	86	55.25	87.5	92.5	100.0	117.5	117.5	117.5	110.0

62Kg級

1	CHEN Fuxing	CHN	87	61.70	115.0	120.0	125.0	135.0	140.0	140.0	115.0
2	山本 勇治	JPN	86	61.25	95.0	100.0	100.0	120.0	125.0	125.0	120.0
3	TIAN Mingming	CHN	87	61.95	120.0	120.0	120.0	120.0	150.0	155.0	—

69Kg級

1	ZHENG Zhisheng	CHN	87	67.45	130.0	135.0	137.5	160.0	172.5	172.5	172.5
2	JUNG Sang-Yoon	KOR	86	66.80	100.0	110.0	120.0	130.0	140.0	145.0	140.0
3	GUO Lei	CHN	89	69.00	110.0	115.0	120.0	130.0	140.0	142.5	130.0
4	川畑 力大	JPN	86	67.90	105.0	112.5	112.5	135.0	136.0	140.0	135.0

77Kg級

1	LU Changliang	CHN	86	76.70	145.0	152.5	157.5	180.0	190.0	190.0	157.5
2	KIM Seung-Hee	KOR	86	76.40	105.0	110.0	115.0	145.0	150.0	150.0	125.0
3	菅野 和利	JPN	86	76.25	105.0	110.0	110.0	140.0	145.0	145.0	125.0
4	Li Jiazhuang	CHN	87	76.20	120.0	130.0	130.0	155.0	155.0	155.0	120.0

85Kg級

1	LU Yong	CHN	86	84.25	150.0	160.0	167.5	180.0	190.0	190.0	167.5
2	SONG Zhishuang	CHN	87	83.55	120.0	125.0	130.0	160.0	165.0	165.0	165.0
3	JWA Kyung-Hwan	KOR	86	81.85	110.0	115.0	120.0	140.0	147.5	155.0	155.0
4	大城 裕之	JPN	86	84.80	105.0	112.5	112.5	140.0	150.0	150.0	120.0

94Kg級

1	WANG Chuan	CHN	87	92.85	140.0	140.0	145.0	180.0	190.0	190.0	167.5
2	SHANG Wanwu	CHN	88	93.15	140.0	130.0	147.5	180.0	185.0	185.0	170.0
3	CHUN Jung-Woo	KOR	86	92.85	110.0	115.0	120.0	120.0	145.0	160.0	170.0
4	知念 剣	JPN	87	93.55	110.0	110.0	120.0	140.0	150.0	150.0	120.0

105Kg級

1	WANG Wentian	CHN	87	104.80	140.0	140.0	145.0	147.5	180.0	180.0	167.5
2	太田 和臣	JPN	86	123.85	127.5	137.5	137.5	145.0	165.0	170.0	170.0
3	LI Bingbing	CHN	89	103.50	140.0	140.0	140.0	145.0	165.0	170.0	170.0
4	宮下 寛志	JPN	87	101.10	80.0	—	—	100.0	—	—	100.0

【女子】

48Kg級

1	YE Ying	CHN	87	47.80	77.5	82.5	85.0	95.0	102.5	102.5	87.5
2	HE Liulan	CHN	87	47.95	70.0	75.0	80.0	90.0	97.5	97.5	90.0
3	竹下 莉絵	JPN	88	47.70	60.0	60.0	60.0	75.0	85.0	85.0	60.0
4	NAM Seung-Min	KOR	87	118.20	110.0	120.0	120.0	120.0	160.0	160.0	137.5

2004年インターネットショナルフレンドシップパートナードットコム

●平成16年9月22日[男子56kg級～77kg級・女子48kg～63kg級]・23日[男子85kg級～+105kg級・女子69kg級～+75kg級]

2004年インターナショナルフレンドシップトーナメント											
●平成16年9月22日[男子56kg級～77kg級・女子48kg級～63kg級]・23日[男子85kg級～105kg級・女子69kg級～75kg級]											
【男子】											
56kg級											
順位											
姓 名											
生 年											
体 重											
1 FENG Xiaohui	CHN	83	65.65	100.0	105.0	120.0	127.5	132.5	140.0	147.5	232.5
2 大田 真志	JPN	82	55.90	95.0	100.0	100.0	127.5	132.5	140.0	95.0	227.5
62kg級											
1 CHEN Weifan	CHN	83	61.85	125.0	135.0	155.0	160.0	165.0	175.0	185.0	290.0
2 YANG Chul-Woong	KOR	83	60.35	100.0	105.0	110.0	132.5	137.5	142.5	142.5	252.5
3 大城 隆三	JPN	83	61.75	105.0	110.0	115.0	132.5	137.5	142.5	110.0	247.5
69kg級											
1 BI Shijie	CHN	83	68.55	130.0	140.0	140.0	150.0	155.0	160.0	170.0	290.0
2 CHEON Jeong-Pyung	KOR	85	67.30	110.0	115.0	120.0	140.0	145.0	150.0	120.0	270.0
3 井戸 豊	JPN	83	68.50	110.0	110.0	110.0	120.0	145.0	150.0	155.0	—
77kg級											
1 LU Xaqiun	CHN	84	73.90	140.0	140.0	150.0	170.0	175.0	185.0	190.0	315.0
2 新谷 義人	JPN	81	71.80	130.0	130.0	135.0	165.0	170.0	175.0	175.0	305.0
3 CHO Sung-Hyun	KOR	74	76.80	130.0	135.0	137.5	150.0	165.0	170.0	137.5	302.5
85kg級											
1 GUO Feng	CHN	79	79.65	140.0	145.0	150.0	175.0	180.0	190.0	150.0	340.0
2 JUNG Hyeon-Seop	KOR	85	84.60	130.0	130.0	135.0	165.0	170.0	180.0	190.0	320.0
3 高橋 竜太	JPN	85	82.95	125.0	130.0	135.0	155.0	160.0	165.0	135.0	312.5
LEE Hyeong-Dong	KOR	85	85.00	130.0	130.0	130.0	160.0	165.0	170.0	165.0	300.0
94kg級											
1 SONG Yihua	CHN	83	89.50	140.0	145.0	150.0	175.0	180.0	190.0	150.0	330.0
2 菅井 博朋	JPN	81	92.60	130.0	135.0	140.0	170.0	180.0	190.0	140.0	320.0
3 BYUN Jie-Young	KOR	79	93.65	130.0	130.0	140.0	180.0	185.0	190.0	130.0	320.0
105kg級											
1 ZHANG Chongxi	CHN	80	104.80	155.0	160.0	170.0	190.0	200.0	210.0	170.0	380.0
2 園山 留	JPN	78	102.80	145.0	150.0	155.0	182.5	190.0	190.0	150.0	322.5
3 PARK Cheon-Hak	KOR	84	101.00	120.0	130.0	—	140.0	—	—	130.0	270.0
+105kg級											
1 CHEN Xihua	CHN	85	135.55	160.0	165.0	165.0	195.0	200.0	215.0	165.0	365.0
2 CHOI Woo-Seek	KOR	83	106.35	140.0	145.0	150.0	185.0	195.0	195.0	150.0	335.0
3 関谷 圭介	JPN	82	128.90	145.0	150.0	150.0	185.0	195.0	195.0	145.0	330.0
48kg級											
1 JIE Xiaomei	CHN	80	47.75	70.0	75.0	80.0	85.0	90.0	95.0	75.0	170.0
2 角田 淳子	JPN	85	47.55	65.0	67.5	70.0	82.5	85.0	87.5	67.5	152.5
53kg級											
1 TANG Juanhua	CHN	83	52.70	85.0	90.0	92.5	110.0	115.0	117.5	92.5	207.5
2 沼田 洋子	JPN	86	52.50	65.0	70.0	72.5	82.5	87.5	90.0	82.5	152.5
3 KIM Kyung-Hee	KOR	82	51.35	55.0	60.0	65.0	75.0	80.0	82.5	65.0	147.5

第40回西日本学生新人選手権大会

西大重慶部擴置場(吹田市)
明治16年9月26日

56KG級		62KG級														
順位	氏名	大学名	生年	体重	スナッチ	1	2	3	クリーン&ジャーク	1	2	3	S	C&J	ベント	トータル
1	鷲山 嘉行	姫路商科大学	86.1	52.64	67.5	75.0	80.0	92.5	100.0	x	100.0	x	80.0	100.0	180.0	
2	成尾 英士	大阪商業大学	85.1	54.14	72.5	x	77.5	x	97.5	100.0	x	100.0	x	72.5	97.5	170.0
3	清水 一泰	関西大学	86.1	55.42	60.0	65.0	70.0	75.0	80.0	x	82.5	x	65.0	82.5	147.5	

<u>69K</u>	<u>E級</u>
1 福住	
2 森井	
3 錦本	
4 大竹	
5 行川	

<u>77K</u>	<u>E級</u>
1 守谷	
2 久保	
3 吉田	
4 金子	
5 三河	
6 稲智	
7 高橋	
8 小川	

69KG級																			
1 福住 2 久保 3 吉田 4 大竹	昌也 修司 梅本 行川	関西大学 九州国際大学 姫路経営大学 京都大学	86 1 85 1 82 2 84 1	67.88 66.90 86.06 65.64	97.5 90.0 87.5 40.0	102.5 100.0 92.5 45.0	x x x x	102.5 100.0 95.0 47.5	x x x x	122.5 120.0 115.0 60.0	x x x x	102.5 130.0 112.5 80.0	x x x x	122.5 97.5 87.5 47.5	x x x x	102.5 97.5 87.5 60.0	122.5 115.0 110.0 107.5	222.5 220.0 197.5 107.5	
77KG級																			
1 寺谷 2 久保 3 吉田 4 金子 5 三田岡 6 越智 7 高橋 8 小宮 9 岩本 10 山口	裕一 圭太 裕太 将之 有基 裕之 裕之 豪 名城大 名古屋産業大 名古屋大 弘洋 名城大 近畿大 松川 七井 星田	関西大学 九州国際大学 姫路経営大学 京都大学 名古屋産業大 名古屋大 近畿大 大阪商業大学 大阪商大 星野	85 1 85 1 85 2 85 1 85 1	76.40 74.12 70.40 70.5 73.92 72.52 76.70 75.50 76.26 74.48 70.68 74.48 73.72 70.96	105.0 95.0 100.0 100.0 97.5 90.0 80.0 80.0 75.0 60.0 42.5 42.5 90.0 90.0	x x x x x x x x x x x x x x x x	110.0 100.0 100.0 105.0 102.5 90.0 85.0 85.0 75.0 62.5 47.5 102.5 100.0 90.0	x x x x x x x x x x x x x x x x	112.5 105.0 120.0 105.0 102.5 95.0 85.0 85.0 75.0 62.5 50.0 102.5 95.0 90.0	x x x x x x x x x x x x x x x x	135.0 127.5 120.0 120.0 112.5 115.0 100.0 100.0 95.0 77.5 — 102.5 105.0 100.0	x x x x x x x x x x x x x x x x	140.0 132.5 135.0 125.0 117.5 120.0 105.0 105.0 100.0 80.0 — 105.0 105.0 100.0 120.0 100.0	x x x x x x x x x x x x x x x x	142.5 140.0 135.0 125.0 122.5 125.0 110.0 105.0 105.0 80.0 — 120.5 120.5 105.0 110.0 105.0	x x x x x x x x x x x x x x x x	122.5 132.5 130.0 120.0 97.5 95.0 85.0 85.0 85.0 62.5 62.5 105.0 105.0 100.0 110.0 105.0	140.0 132.5 130.0 120.0 122.5 120.0 110.0 105.0 100.0 80.0 — 122.5 120.0 110.0 110.0 105.0	225.0 222.5 220.0 215.0 190.0 190.0 180.0 180.0 180.0 142.5 110.0 142.5 142.5 140.0 140.0 140.0
85KG級																			
1 田中慎太郎 2 片岡 3 中村 4 洋介 5 沢田 6 井戸	貴志 鷹志 鷹志 鷹志 正 和哉	九州国際大学 大阪商業大学 京都大学 名古屋産業大 名古屋大 近畿大 大阪学院大学 大阪商大 星野	85 1 85 2 85 1 85 1 85 1 85 1 84 2 84 2 85 1	80.42 84.88 80.48 86.74 83.66 82.12 82.12 89.20	102.5 100.0 80.0 65.0 65.0 42.5 47.5 102.5 100.0	x x x x x x x x x	107.5 105.0 85.0 90.0 90.0 — 50.0 102.5 100.0	x x x x x — — x x	110.0 100.0 100.0 90.0 90.0 — 50.0 100.0 100.0	x x x x x — — x x	122.5 130.0 105.0 110.0 110.0 112.5 57.5 112.5 117.5	x x x x x — — x x	127.5 135.0 105.0 110.0 110.0 112.5 62.5 112.5 122.5	x x x x x — — x x	132.5 135.0 115.0 115.0 115.0 112.5 65.0 112.5 122.5	x x x x x — — x x	127.5 135.0 110.0 110.0 110.0 107.5 67.5 107.5 117.5	235.0 235.0 197.5 197.5 195.0 195.0 110.0 110.0 110.0	
94KG級																			
1 伊藤 2 遠邁 3 田山	裕一 久史 慎也	名古屋産業大 京都大学 九州国際大学	85 1 85 1 85 1	68.68 88.08 77.88	90.0 55.0 100.0	x x x	90.0 60.0 100.0	x x x	95.0 62.5 90.0	x x x	110.0 65.0 110.0	x x x	120.0 75.0 120.0	x x x	90.0 80.0 120.0	100.0 62.5 140.0	230.0 137.5 140.0		
105KG級																			
1 中井 2 井上 3 伊藤	後藤 泰郎 敬太	大阪商大 九州国際大学 大阪商大	85 1 85 1 84 2	102.88 94.66 101.82	95.0 100.0 115.0	x x x	105.0 110.0 120.0	x x x	115.0 110.0 120.0	x x x	115.0 112.5 105.0	x x x	145.0 145.0 140.0	x x x	152.5 152.5 120.5	115.0 115.0 100.0	267.5 267.5 227.5		
1 田中慎太郎 2 宮地 3 野崎	江原 宏九 清貴 馬啓	九州国際大学 京都大学 城阳大学	86 1 85 1 85 1	116.26 113.76 115.60	115.0 110.0 105.0	x x x	115.0 112.5 107.5	x x x	145.0 142.5 107.5	x x x	152.5 152.5 120.0	x x x	115.0 115.0 137.5	x x x	267.5 267.5 227.5				

第17回アジアジュニア選手権大会

平成16年10月7日 [56Kg級～62Kg級]・8日 [69Kg級～77Kg級]・9日 [85Kg級]・10日 [94Kg級～105Kg級]

94Kg級

1	OMID Naji Kenari	IRI	85	93.10	147.5	152.5	155.0	185.0	192.5	195.0	x 155.0	1 192.5	1 1347.5
2	ALI Dehghanian	IRI	85	93.35	147.5	152.5	155.0	x 190.0	197.5	x 197.5	x 152.5	2 190.0	2 324.5
3	ASAD Kayss	SYR	85	90.85	142.5	147.5	150.0	x 170.0	175.0	x 180.0	x 150.0	3 175.0	4 335.0
4	ISTOMIN Sergey	KAZ	85	87.40	140.0	x 145.0	x 145.0	x 170.0	175.0	x 177.5	x 140.0	5 177.5	3 317.5
5	KOPYTOV A.	KAZ	85	89.15	140.0	x 140.0	x 140.0	x 170.0	175.0	x 180.0	x 170.0	6 170.0	5 310.0
6	達刃 勇人	JPN	84	93.90	130.0	x 130.0	x 135.0	x 187.5	187.5	x 170.0	x 170.0	6 170.0	6 300.0
7	RANSILU Jayathilake	SRI	86	93.80	110.0	120.0	125.0	x 155.0	155.0	x 162.5	x 120.0	9 155.0	7 275.0
8	SARAVUT Natcharoen	THA	87	86.85	105.0	110.0	x 110.0	x 140.0	145.0	x 152.5	x 105.0	10 145.0	9 250.0
MOMINBEKOV Iskander	UZB	86	91.15	146.0	140.0	x 150.0	x 170.0	—	—				
RICHARD Agosto	PHL	84	93.70	135.0	140.0	x 140.0	x 170.0	7 135.0	4 172.5				
FU Pi-Hung	TPE	84	93.50	122.5	x 122.5	x 122.5	x 142.5	x 147.5	x 147.5	x 147.5	x 147.5	8 —	—

105Kg級

1	JOUGHUL Alaid	SYR	84	103.65	160.0	165.0	170.0	CR 200.0	207.5	CR 215.5	x 170.0	1 207.5	1 377.5
2	GAVAD Goharrzadehfard	IRI	84	104.40	160.0	165.0	170.0	x 195.0	202.5	210.0	x 165.0	2 202.5	2 367.5
3	TEN Vyatcheslav	UZB	87	94.95	125.0	x 125.0	x 130.0	x 130.0	x 155.0	x 160.0	x 165.0	3 165.0	3 295.0
4	HSU Che-Jung	TPE	86	102.60	125.0	130.0	x 130.0	x 152.5	x 162.5	x 162.5	x 162.5	4 162.5	4 287.5
5	IBOTOV Gollibon	UZB	86	103.75	100.0	110.0	x 110.0	x 140.0	x 145.0	x 150.0	x 110.0	5 145.0	5 255.0

+105Kg級

1	CHEN Xihua	CHN	85	134.50	160.0	167.5	x 172.5	x 205.0	CR 215.0	x 220.0	x 167.5	2 215.0	1 382.5
2	RASHID Sharifi	IRI	84	122.65	170.0	175.0	x 175.0	x 200.0	210.0	CR 215.0	x 210.0	2 280.0	2 380.0
3	SAJJAD Anoushirivani	IRI	84	115.45	165.0	x 165.0	x 170.0	x 190.0	202.5	x 205.0	x 202.5	3 187.5	3 387.5
4	LIN Hsiu-Chi	TPE	86	128.60	135.0	147.5	x 147.5	x 175.0	190.0	x 190.0	x 175.0	4 190.0	4 323.5
5	MAMATQOLOV Hoosniddin	UZB	84	106.35	120.0	125.0	x 125.0	x 160.0	170.0	x 170.0	x 170.0	5 170.0	5 295.0
6	TON Ngenthong	THA	85	112.50	120.0	x 120.0	x 125.0	x 155.0	160.0	x 160.0	x 160.0	6 155.0	6 275.0
7	ABDUL Azim Najmi	MAS	86	125.60	120.0	x 120.0	x 120.0	x 150.0	155.0	x 150.0	x 150.0	7 220.0	7 220.0

+105Kg級

1	NGUYEN Thi Thiet	VIE	84	62.00	87.5	92.5	x 110.0	x 115.0	x 120.0	x 120.0	x 120.0	1 115.0	1 207.5
2	LIAO Hsueh-Li	TPE	85	62.50	75.0	80.0	x 80.0	x 95.0	100.0	x 100.0	x 100.0	2 100.0	3 175.0
3	島袋 梢かや	JPN	84	62.25	72.5	77.5	x 77.5	x 95.0	100.0	x 100.0	x 100.0	2 102.5	3 185.0

国 別 得 点 表

順位	国名	56Kg	62Kg	69Kg	77Kg	85Kg	94Kg	105Kg	+105Kg	合計得点	1 LU Wan-I	TPE	85	66.90	90.0	95.0	97.5	122.5	97.5	1 220.0
1	IRI	75	/1	84	/1	84	/1	81	/1	159	/2	75	/1	147	/2	610	/8	2 290.0		
2	CHN	75	/1	84	/1	84	/1	84	/1	76	/1	76	/1	76	/1	484	/6	3 207.5		
3	UZB	61	/1	59	/1	59	/1	59	/1	71	/1	22	/1	132	/2	63	/1	4 177.5		
4	THA	123	/2	56	/1	63	/1	63	/1	63	/1	51	/1	51	/1	474	/8	5 145.0		
5	TPE	64	/1	65	/1	53	/1	55	/1	18	/1	66	/1	66	/1	466	/8	—		
6	KAZ	75	/1	63	/1	63	/1	61	/1	61	/1	128	/2	128	/2	337	/5	1 222.5		
7	MAS	63	/1	68	/1	21	/1	61	/1	57	/1	270	/4	257	/4	216	/3	1 227.5		
8	VIE	84	/1	60	/1	53	/1	60	/1	66	/1	387	/7	257	/4	216	/3	1 227.5		
9	SYR	64	/1			65	/1	63	/1	58	/1			84	/1	186	/3	1 227.5		
10	JPN																	1 227.5		
11	BAN	55	/1			18	/1	42	/1	51	/1					166	/4	1 227.5		
12	TW	51	/1			55	/1									129	/3	1 227.5		
13	PHL					56	/1	46	/1	19	/1					121	/3	1 227.5		
14	KGZ					69	/1									69	/1	1 227.5		
15	SIN									56	/1					56	/1	1 227.5		
16	SRI															55	/1	1 227.5		
合計		16		9		8		9		12		9		11		5	7	70		

国別得点表

第6回アジアユース選手権大会

順位	国名	48kg	53kg	58kg	63kg	69kg	75kg	+75kg	合計得点
1	THA	157 /2	84 /1	146 /2	73 /1	84 /1	75 /1	84 /1	546 /7
2	TPE	65 /1	69 /1	67 /1	73 /1	64 /1	69 /1	66 /1	493 /7
3	CHN	75 /1	81 /1	144 /2	84 /1	144 /2	84 /1	384 /5	
4	JPN	68 /1		71 /1	65 /1	64 /1	268 /4		
5	VIE	25 /1		84 /1	22 /1	75 /1	206 /4		
6	MAS	62 /1			62 /1		124 /2		
7	KAZ					68 /1			
8	PHL	59 /1					59 /1		
合計	8	7	3	4	3	6	3	5	31

● 平成16年10月12日[男子51kg級・女子44～58kg級]・13日[男子56kg級～69kg級]
 ● 14日[男子77kg級～85kg級・女子63～+68kg級]・15日[男子94kg級～+94kg級]

【男子】

順位	氏名	国名	年 令	体 重	1	ス ナ ツ チ	1	ク リ ー ジ ヤ ー ト	3	S 順	C&J 順	ス ト レ ル	
1	GAN Wenxu	CHN	89	50.55	82.5	x	82.5	x	110.0	125.0	—	87.5	110.0
2	MOHD Hafifi Mansor	MAS	90	50.95	75.0	x	80.0	x	100.0	102.5	x	105.0	80.0
3	AKICCO Rezaeian	IRI	89	53.95	85.0	x	85.0	x	105.0	105.0	x	105.0	80.0
4	WU Qiong	CHN	88	56.15	92.5	x	97.5	x	110.0	115.0	x	117.5	90.0
5	MAMATKULOV A.	UZB	91	50.65	72.5	x	77.5	x	92.5	95.0	x	110.0	75.0
6	CHIANG Tsung-ting	TPE	89	50.00	70.0	x	75.0	x	90.0	95.0	x	100.0	75.0
7	ANUCHIT Niamsuwan	THA	88	50.30	82.5	x	85.0	x	100.0	107.5	x	107.5	80.0

順位	氏名	国名	年 令	体 重	1	ス ナ ツ チ	2	3	ク リ ー ジ ヤ ー ト	3	S 順	C&J 順	ス ト レ ル
1	PAN Baoning	CHN	89	54.20	95.0	x	95.0	x	100.0	115.0	x	115.0	95.0
2	CHINNARAT Kaeorak	THA	88	55.80	85.0	x	90.0	x	95.0	112.5	x	117.5	90.0
3	MORTEZA Rezaeian	IRI	89	53.95	85.0	x	92.5	x	97.5	110.0	x	120.0	92.5
4	WU Qiong	CHN	88	56.15	90.0	x	95.0	x	100.0	110.0	x	110.0	90.0
5	QOBILOV Subkhon	UZB	88	55.85	82.5	x	87.5	x	90.0	95.0	x	100.0	87.5
6	YU Chiang-Ching	TPE	88	55.45	70.0	x	80.0	x	100.0	107.5	x	107.5	80.0

順位	氏名	国名	年 令	体 重	1	ス ナ ツ チ	2	3	ク リ ー ジ ヤ ー ト	3	S 順	C&J 順	ス ト レ ル
1	MENG Tanhua	CHN	88	61.25	100.0	x	105.0	x	125.0	127.5	x	127.5	107.5
2	USMONOV Akobir	UZB	89	61.70	100.0	x	105.0	x	122.5	127.5	x	127.5	105.0
3	PAYAM Okhovat	IRI	88	61.90	95.0	x	102.5	x	107.5	122.5	x	122.5	102.5
4	NATTAPHON Pravatt	THA	88	59.80	95.0	x	100.0	x	120.0	122.5	x	122.5	100.0
5	HASHANOR Zaman	BAN	91	60.40	92.5	x	97.5	x	100.0	115.0	x	115.0	95.0
6	LIU Pei-Yen	TPE	88	60.70	85.0	x	90.0	x	92.5	107.5	x	115.0	92.5
7	ENKHUVSHIN Baataikhi MGL	89	61.60	65.0	70.0	x	72.5	x	80.0	80.0	x	80.0	70.0

順位	氏名	国名	年 令	体 重	1	ス ナ ツ チ	2	3	ク リ ー ジ ヤ ー ト	3	S 順	C&J 順	ス ト レ ル
1	SOHRAB Moradi	IRI	88	68.90	110.0	x	115.0	x	120.0	132.5	x	132.5	105.0
2	SU Feng-Pin	TPE	88	68.15	100.0	x	100.0	x	130.0	132.5	x	132.5	100.0
3	RATTAPHON Kaenorat	THA	88	65.70	90.0	x	95.0	x	100.0	120.0	x	122.5	100.0
4	SUPHASOET Phakchai	THA	88	74.85	95.0	x	100.0	x	115.0	122.5	x	122.5	100.0
4	JERRY Sullia	PHL	90	63.75	75.0	x	80.0	x	95.0	100.0	x	100.0	85.0

順位	氏名	国名	年 令	体 重	1	ス ナ ツ チ	2	3	ク リ ー ジ ヤ ー ト	3	S 順	C&J 順	ス ト レ ル
1	NIZOV Dmitrr	KAZ	88	76.00	110.0	x	110.0	x	115.0	140.0	x	145.0	120.0
2	WONG Keam Wei	MAS	88	75.85	105.0	x	105.0	x	110.0	120.0	x	130.0	105.0
3	SUPHASOET Phakchai	THA	88	74.85	95.0	x	100.0	x	105.0	120.0	x	122.5	100.0
4	CHANG Yu-Hua	TPE	89	75.65	95.0	x	95.0	x	102.5	120.0	x	122.5	80.0

順位	氏名	国名	年 令	体 重	1	ス ナ ツ チ	2	3	ク リ ー ジ ヤ ー ト	3	S 順	C&J 順	ス ト レ ル
1	ILYN Illya	KAZ	88	83.00	135.0	x	142.5	x	170.0	180.0	x	187.5	147.5
2	SAIDOV Furqat	UZB	89	84.65	135.0	x	135.0	x	147.5	160.0	x	167.5	135.0
3	KORYTOV Stas	KAZ	88	83.30	125.0	x	132.5	x	145.0	155.0	x	162.5	137.5
4	KIAN Bakhtiar, N	IRI	88	83.55	120.0	x	120.0	x	140.0	152.5	x	157.5	120.0
5	MOHAMMAD Hassan D.	IRI	88	82.50	120.0	x	127.5	x	140.0	155.0	x	157.5	120.0
6	MHD. Zafil Zukifli	MAS	88	84.25	110.0	x	115.0	x	130.0	135.0	x	137.5	110.0
7	TSENG Chun-Ling	TPE	88	79.50	100.0	x	105.0	x	120.0	130.0	x	135.0	110.0
8	APHWAT Chunsri	THA	90	83.65	95.0	x	100.0	x	120.0	127.5	x	132.5	105.0

順位	氏名	国名	年 令	体 重	1	ス ナ ツ チ	2	3	ク リ ー ジ ヤ ー ト	3	S 順	C&J 順	ス ト レ ル
1	RUSSANOVSKY Ramé	KAZ	89	91.55	135.0	x	145.0	x	172.5	182.5	x	182.5	150.0
2	MAHMOUD Nikoo	IRI	88	91.60	120.0	x	127.5	x	135.0	165.0	x	165.0	132.5
3	SHATTAMANOV Elidar	KGZ	89	85.35	115.0	x	120.0	x	125.0	142.5	x	142.5	132.5
4	RAJABOV Boburbek	UZB	91	85.15	105.0	x	110.0	x	145.0	150.0	x	150.0	120.0
5	MHD. Khirul Affandi	MAS	88	92.45	115.0	x	115.0	x	120.0	140.0	x	140.0	115.0

国 別 得 点 表

+94Kg級											
1 SAEID Alhosseini	IRI	88	105.60	140.0	150.0	—	180.0	185.0	—	150.0	185.0 / 1335.0
2 MOHAMMAD Karam Zia	IRI	88	109.50	130.0	142.5	143.5	157.5	165.0	170.0	145.0 / 2170.0	315.0
3 BERKH Jakov	KAZ	88	95.00	130.0	140.0	142.5	155.0	162.5	170.0	142.5 / 3170.0	2312.5
4 GULYAMOV Lazizbek	UZB	89	102.35	125.0	130.0	135.0	150.0	157.5	162.5	135.0 / 4157.5	4292.5
5 LAI Che-Lin	TPE	88	97.75	100.0	107.5	112.5	130.0	140.0	140.0	107.5 / 5130.0	5237.5
6 SATTAWAT Innak	THA	89	98.50	90.0	95.0	100.0	110.0	120.0	120.0	95.0 / 6110.0	6205.0

【男子】

順位 国名 56Kg 62Kg 69Kg 77Kg 85Kg 94Kg 105Kg +105Kg 合計得点

44Kg級											
1 LUO Bing	CHN	89	43.35	60.0	65.0	67.5	x	85.0	x	65.0 / 290.0	155.0
2 HUANG Yen-Zheng	CHN	90	42.75	60.0	65.0	67.5	x	75.0	x	65.0 / 175.0	142.5
3 AUNGSUMALIN Saylerc	THA	90	43.80	50.0	55.0	57.5	x	65.0	x	55.0 / 4122.5	316.4
4 MOLLA Shabira	BAN	90	43.65	50.0	x	52.5	57.5	x	65.0	x	52.5 / 4120.0
5 KELLE Kay Rojas	PHL	91	43.10	40.0	45.0	47.5	x	60.0	x	45.0 / 5105.0	295.5
6 HSIEH Wwen-Lin	TPE	89	44.00	42.5	45.0	45.0	x	55.0	x	45.0 / 6105.0	69.1

48Kg級											
1 THIP-Anon Phupruet	THA	89	47.10	60.0	65.0	65.0	x	82.5	x	87.5 / 90.0	65.0
2 LIN Chunqiu	CHN	88	47.05	60.0	65.0	65.0	x	75.0	x	80.0 / 180.0	145.0
3 LU Shiling	CHN	88	45.85	60.0	62.5	65.0	x	75.0	x	85.0 / 380.0	2142.5
4 HIDILYN Diaz	PHL	91	47.75	50.0	55.0	60.0	x	70.0	x	75.0 / 475.0	435.0
5 KASHKULINA Lazzat	KAZ	88	47.45	55.0	x	55.0	x	65.0	x	65.0 / 572.5	5127.5
6 LIN Yen-Chiao	TPE	88	46.80	47.5	52.5	55.0	x	62.5	x	60.0 / 667.5	6120.0

53Kg級											
1 LAN Jinyu	CHN	89	51.85	65.0	70.0	72.5	x	85.0	x	90.0 / 70.0	90.0
2 TSENG Tzu-Jung	TPE	88	51.95	65.0	70.0	72.5	x	80.0	x	85.0 / 72.5	160.0
3 PHUANGPHET Minggoet	THA	89	52.25	65.0	70.0	72.5	x	85.0	x	90.0 / 85.0	2157.5
4 NUR Amira Ismi	MAS	88	51.35	52.5	55.0	55.0	x	65.0	x	70.0 / 385.0	3155.0
5 ENKHITAVAN Santuya	MGL	88	51.80	45.0	50.0	50.0	x	55.0	x	55.0 / 465.0	4117.5

58Kg級											
1 PHEUNGKAI Rongchik	THA	88	56.35	70.0	75.0	x	75.0	x	90.0	x	90.0 / 165.0
2 LIN Wan-Hsuan	TPE	88	57.50	70.0	75.0	x	85.0	x	92.5	x	85.0 / 285.0
3 NURUL Farhana Johari	MAS	88	57.80	62.5	65.0	67.5	x	80.0	x	82.5	x
4 SITI Amida Aris	MAS	88	57.00	55.0	57.5	60.0	x	70.0	x	70.0 / 387.5	3155.0

63Kg級											
1 SUPAWAN Seesawhae	THA	89	61.20	67.5	72.5	x	72.5	x	90.0	x	90.0 / 167.5
2 HSU Chu-Yi	TPE	89	61.15	60.0	65.0	x	65.0	x	72.5	x	60.0 / 2145.0
3 BYAMBADORJ Uranchir	MGL	88	61.80	55.0	x	55.0	x	60.0	x	60.0 / 4132.5	3130.0

69Kg級											
1 SUPASHRI Sanok	THA	88	63.50	80.0	85.5	x	85.5	x	97.5	x	97.5 / 177.5
2 LEE Jin-Hee	KOR	89	68.55	75.0	80.0	x	80.0	x	92.5	x	92.5 / 2170.0
3 HUNG Yi-Wen	TPE	88	68.75	60.0	62.5	x	65.0	x	82.5	x	82.5 / 3145.0
4 SHAHRIA Sultana	BAN	89	63.15	55.0	60.0	x	60.0	x	75.0	x	75.0 / 4130.0

75Kg級											
1 KANITTA Uk-La	THA	89	70.85	75.0	80.0	x	80.0	x	108.0	x	108.0 / 185.0
2 LIU Yun-Chien	TPE	88	74.55	67.5	72.5	x	77.5	x	90.0	x	92.5 / 2170.0

【女子】

順位 国名 44Kg 48Kg 53Kg 58Kg 63Kg 69Kg +69Kg 合計得点

48Kg級											
1 LAN Jinyu	CHN	89	51.85	65.0	70.0	72.5	x	82.5	x	87.5 / 90.0	65.0
2 TSENG Tzu-Jung	TPE	88	51.95	65.0	70.0	72.5	x	80.0	x	85.0 / 72.5	160.0
3 PHUANGPHET Minggoet	THA	89	52.25	65.0	70.0	72.5	x	85.0	x	90.0 / 85.0	2157.5
4 NUR Amira Ismi	MAS	88	51.35	52.5	55.0	55.0	x	65.0	x	70.0 / 385.0	3155.0
5 ENKHITAVAN Santuya	MGL	88	51.80	45.0	50.0	50.0	x	55.0	x	55.0 / 465.0	4117.5

53Kg級											
1 LAN Jinyu	CHN	89	51.85	65.0	70.0	72.5	x	82.5	x	87.5 / 90.0	65.0
2 TSENG Tzu-Jung	TPE	88	51.95	65.0	70.0	72.5	x	80.0	x	85.0 / 72.5	160.0
3 PHUANGPHET Minggoet	THA	89	52.25	65.0	70.0	72.5	x	85.0	x	90.0 / 85.0	2157.5
4 NUR Amira Ismi	MAS	88	51.35	52.5	55.0	55.0	x	65.0	x	70.0 / 385.0	3155.0
5 ENKHITAVAN Santuya	MGL	88	51.80	45.0	50.0	50.0	x	55.0	x	55.0 / 465.0	4117.5

58Kg級											
1 PHEUNGKAI Rongchik	THA	88	56.35	70.0	75.0	x	75.0	x	90.0	x	90.0 / 165.0
2 LIN Wan-Hsuan	TPE	88	57.50	70.0	75.0	x	85.0	x	92.5	x	85.0 / 285.0
3 NURUL Farhana Johari	MAS	88	57.80	62.5	65.0	67.5	x	80.0	x	85.0 / 385.0	3155.0
4 SITI Amida Aris	MAS	88	57.00	55.0	60.0	60.0	x	70.0	x	75.0 / 465.0	4117.5

63Kg級											
1 SUPAWAN Seesawhae	THA	89	61.20	67.5	72.5	x	72.5	x	90.0	x	90.0 / 167.5
2 HSU Chu-Yi	TPE	89	61.15	60.0	65.0	x	65.0	x	72.5	x	60.0 / 2145.0
3 BYAMBADORJ Uranchir	MGL	88	61.80	55.0	x	55.0	x	60.0	x	60.0 / 4132.5	3130.0

69Kg級											
1 SUPASHRI Sanok	THA	88	63.50	80.0	85.5	x	85.5	x	97.5	x	97.5 / 177.5
2 LEE Jin-Hee	KOR	89	68.55	75.0	80.0	x	80.0	x	92.5	x	92.5 / 2170.0
3 HUNG Yi-Wen	TPE	88	68.75	60.0	62.5	x	65.0	x	82.5	x	82.5 / 3145.0
4 SHAHRIA Sultana	BAN	89	63.15	55.0	60.0	x	60.0	x			

第49回全日本学生新人選手権大会

●平成16年10月16日「男子56kg級～77kg級・女子全階級」・17日「男子85kg級～+105kg級」 ●機子スポートセンター(横浜市)

【男子】

56kg級

順位	氏名	大学名	生年	体重	1	スナッチ	1	クリーン＆ジャーナーク	2	3	S	C&J	トータル
1	清水 洋平	中央大学	85.1	55.48	90.0	92.5	95.0	110.0	115.0	117.5	95.0	115.0	210.0
2	国矢田 智	早稲田大学	85.1	54.66	85.0	90.0	90.0	90.0	105.0	110.0	90.0	115.0	205.0
3	高安 勉成	日本大学	85.1	55.86	85.0	90.0	90.0	90.0	105.0	110.0	85.0	112.5	197.5
4	懸平名研一	日本体育大学	85.1	55.78	80.0	85.0	87.5	107.5	112.5	115.0	85.0	112.5	197.5
5	安里 浩二	法政大学	85.1	55.78	80.0	85.0	87.5	107.5	112.5	115.0	85.0	110.0	195.0
6	須山 敦夫	日本大学	84.2	55.06	85.0	90.0	90.0	105.0	110.0	110.0	85.0	105.0	190.0
7	新島 肇介	平成国際大学	84.2	55.34	85.0	90.0	105.0	110.0	110.0	110.0	85.0	105.0	180.0
8	成尾 美士	大阪商業大学	85.1	54.92	72.5	77.5	77.5	97.5	102.5	105.0	77.5	102.5	180.0
9	栗山 瑞典	國士館大学	83.3	55.68	80.0	85.0	85.0	95.0	100.0	100.0	80.0	100.0	180.0

62kg級

1	五百萬正和	大阪商業大学	85.1	61.12	102.5	107.5	110.0	CS	125.0	130.0	135.0	145.0	245.0
2	岡本 伸洋	明治大学	86.1	61.74	95.0	95.0	100.0	115.0	122.5	125.0	100.0	122.5	222.5
3	鈴木宏一郎	名古屋産業大学	85.1	61.76	95.0	97.5	100.0	115.0	120.0	120.0	97.5	115.0	212.5
4	渡邊 康廣	早稲田大学	85.1	61.98	92.5	97.5	97.5	112.5	115.0	117.5	92.5	115.0	207.5
5	佐藤 正義	秋田経済法科大学	85.1	60.72	90.0	90.0	95.0	115.0	120.0	120.0	90.0	115.0	205.0
6	鍔持 恒	大阪商業大学	85.1	61.40	85.0	90.0	92.5	110.0	115.0	115.0	90.0	115.0	205.0
7	土居 譲史	平成国際大学	85.1	61.66	90.0	95.0	95.0	110.0	115.0	120.0	90.0	115.0	205.0
8	大越 健次	日本体育大学	85.1	61.24	82.5	87.5	90.0	105.0	110.0	115.0	87.5	110.0	197.5
9	西村 希生	日本体育大学	85.1	59.84	85.0	90.0	90.0	110.0	115.0	115.0	85.0	110.0	195.0
10	木村 晃	日本大学	85.1	59.44	80.0	85.0	85.0	100.0	105.0	105.0	80.0	105.0	185.0
11	黒江 淳	関西医大	86.1	57.80	62.5	67.5	67.5	80.0	85.0	90.0	67.5	85.0	152.5
	伊藤 伸朗	日本大学	85.1	61.92	95.0	95.0	95.0	130.0	135.0	140.0	0.0	135.0	—
	鈴木 達朗	名古屋産業大学	84.2	61.36	90.0	90.0	90.0	105.0	110.0	110.0	0.0	105.0	—
	佐藤 優介	秋田経済法科大学	85.2	60.50	80.0	80.0	80.0	80.0	—	—	—	—	—

69kg級

1	原田英一郎	早稲田大学	82.4	68.54	102.5	107.5	112.5	130.0	135.0	140.0	107.5	135.0	242.5
2	佐藤 麟士	中央大学	86.1	67.02	102.5	105.0	105.0	125.0	130.0	132.5	105.0	132.5	237.5
3	園田幸太郎	明治大学	84.2	68.12	102.5	102.5	102.5	130.0	135.0	135.0	102.5	135.0	237.5
4	立花 敏章	日本体育大学	84.2	68.36	105.0	110.0	110.0	130.0	135.0	135.0	105.0	130.0	235.0
5	佐藤 智幸	中央大学	84.2	66.54	95.0	100.0	100.0	125.0	130.0	130.0	100.0	125.0	225.0
6	油野 賀一	大阪商業大学	84.2	68.70	100.0	100.0	105.0	125.0	130.0	130.0	100.0	125.0	220.0
7	福住 昌也	関西医大	86.1	68.40	95.0	100.0	100.0	120.0	125.0	127.5	95.0	125.0	215.0
8	佐藤 正俊	秋田経済法科大学	84.2	67.14	90.0	95.0	95.0	105.0	115.0	115.0	90.0	105.0	195.0

77kg級

1	広島 崇喜	国士館大学	84.2	75.30	107.5	112.5	112.5	130.0	140.0	140.0	112.5	140.0	252.5
2	渡邊 康治	日本体育大学	84.2	75.74	105.0	110.0	115.0	130.0	135.0	135.0	110.0	137.5	247.5
3	田原 良平	早稲田大学	84.2	70.46	102.5	107.5	107.5	130.0	135.0	135.0	110.0	135.0	245.0
4	坂元 兼己	大阪商業大学	85.1	73.14	105.0	110.0	112.5	130.0	135.0	135.0	110.0	130.0	240.0
5	岡田 光	関西医大	83.3	75.14	105.0	110.0	110.0	130.0	135.0	135.0	110.0	135.0	240.0
6	守谷 彰	平成国際大学	85.2	72.82	100.0	100.0	100.0	125.0	130.0	130.0	100.0	135.0	235.0
7	加藤 彰	大阪商業大学	84.2	73.72	92.5	97.5	97.5	117.5	122.5	122.5	97.5	117.5	215.0
8	七井 慎也	中央大学	85.1	74.80	92.5	97.5	97.5	122.5	127.5	127.5	92.5	122.5	215.0
9	山本 誠治	山梨大学	85.1	76.64	95.0	100.0	100.0	112.5	117.5	117.5	95.0	112.5	215.0
10	諏訪 泰裕	國士館大学	84.2	75.28	110.0	110.0	110.0	135.0	140.0	140.0	—	135.0	—

85kg級

1	山口 智子	明治大学	85.1	77.56	60.0	65.0	65.0	80.0	85.0	85.0	60.0	80.0	140.0
2	田中 一裕	法政大学	85.1	78.62	115.0	120.0	120.0	142.5	150.0	155.0	115.0	120.0	265.0
3	佐藤 弘康	秋田経済法科大学	84.2	75.28	110.0	110.0	110.0	135.0	140.0	140.0	110.0	120.0	240.0
4	田中 駿	法政大学	85.1	78.62	115.0	120.0	120.0	142.5	150.0	155.0	115.0	120.0	232.5
5	佐藤 駿	法政大学	85.1	78.62	115.0	120.0	120.0	142.5	150.0	155.0	115.0	120.0	230.0
6	佐藤 駿	法政大学	85.1	78.62	115.0	120.0	120.0	142.5	150.0	155.0	115.0	120.0	230.0
7	佐藤 駿	法政大学	85.1	78.62	115.0	120.0	120.0	142.5	150.0	155.0	115.0	120.0	230.0
8	佐藤 駿	法政大学	85.1	78.62	115.0	120.0	120.0	142.5	150.0	155.0	115.0	120.0	230.0
9	佐藤 駿	法政大学	85.1	78.62	115.0	120.0	120.0	142.5	150.0	155.0	115.0	120.0	230.0
10	佐藤 駿	法政大学	85.1	78.62	115.0	120.0	120.0	142.5	150.0	155.0	115.0	120.0	230.0
11	佐藤 駿	法政大学	85.1	78.62	115.0	120.0	120.0	142.5	150.0	155.0	115.0	120.0	230.0

94kg級

1	山口 智子	明治大学	85.1	85.36	60.0	65.0	65.0	80.0	85.0	85.0	60.0	80.0	140.0
2	山口 智子	明治大学	85.1	85.36	60.0	65.0	65.0	80.0	85.0	85.0	60.0	80.0	140.0
3	山口 智子	明治大学	85.1	85.36	60.0	65.0	65.0	80.0	85.0	85.0	60.0	80.0	140.0
4	山口 智子	明治大学	85.1	85.36	60.0	65.0	65.0	80.0	85.0	85.0	60.0	80.0	140.0
5	山口 智子	明治大学	85.1	85.36	60.0	65.0	65.0	80.0	85.0	85.0	60.0	80.0	140.0
6	山口 智子	明治大学	85.1	85.36	60.0	65.0	65.0	80.0	85.0	85.0	60.0	80.0	140.0
7	山口 智子	明治大学	85.1	85.36	60.0	65.0	65.0	80.0	85.0	85.0	60.0	80.0	140.0
8	山口 智子	明治大学	85.1	85.36	60.0	65.0	65.0	80.0	85.0	85.0	60.0	80.0	140.0
9	山口 智子	明治大学	85.1	85.36	60.0	65.0	65.0	80.0	85.0	85.0	60.0	80.0	140.0
10	山口 智子	明治大学	85.1	85.36	60.0	65.0	65.0	80.0	85.0	85.0	60.0	80.0	140.0
11	山口 智子	明治大学	85.1	85.36	60.0	65.0	65.0	80.0	85.0	85.0	60.0</td		

第59回国民体育大会

●平成16年10月24日[53kg級]~62kg級]・25日[63kg級]~77kg級]・26日[65kg級]~94kg級]・27日[65kg級]~105kg級]
●成年男子：さいたま市記念総合体育館メインアリーナ

【成年男子】

順位	姓 名	県名	所属	生年	年齢	体重	1	ス ナ ッ チ	2	3	1	グ リ ー ン	2	3	S	C & J	順 ト タ ル
1	森川 孝司	三重	董友龍(陸上)	79 23	51.60	90.0	95.0	97.5	x	120.0	122.5	x	95.0	111.5	121.5	121.5	121.5
2	納富 優行	福井	武庫庄(高校教)	71 33	52.44	92.5	95.0	97.5	x	115.0	117.5	x	95.0	111.5	121.5	121.5	121.5
3	上原不二男	沖縄	横山(アマノジキ)	76 28	52.52	92.5	x	92.5	x	115.0	117.5	x	95.0	111.5	121.5	121.5	121.5
4	岡田 駿	石川	能登長嶺	81 23	53.46	90.0	92.5	95.0	x	110.0	115.0	x	95.0	111.5	121.5	121.5	121.5
5	小野 飛弘	岡山	OSK34:アマノジキ	84 20	52.60	90.0	95.0	95.0	x	110.0	118.0	x	95.0	111.5	121.5	121.5	121.5
6	越智 雄一	山形	美乃島	79 25	51.98	90.0	92.5	95.0	x	105.0	110.0	x	95.0	110.0	121.5	121.5	121.5
7	末廣 雄一	鳥取	中京大学	83 21	52.84	85.0	87.5	90.0	x	112.5	115.0	x	85.0	105.0	120.0	121.5	121.5
8	小川 弘史	茨城	筑波大(陸上)	79 34	52.54	90.0	92.5	95.0	x	100.0	105.0	x	92.5	108.0	121.5	121.5	121.5
9	佐久間勝彦	福島	七七(オカホ)	70 34	52.54	90.0	95.0	95.0	x	105.0	112.5	x	90.0	110.0	121.5	121.5	121.5
10	澤岡 宏樹	滋賀	口口アマノジキ	85 19	52.54	70.0	75.0	80.0	x	105.0	110.0	x	80.0	111.0	121.5	121.5	121.5
11	日下野 良輔	山形	島根(体操)	81 23	52.28	60.0	85.0	85.0	x	97.5	102.5	x	80.0	110.0	121.5	121.5	121.5
12	垣内 昌士高	埼玉	九州国際大学	82 22	52.84	80.0	80.0	85.0	x	102.5	102.5	x	80.0	105.0	121.5	121.5	121.5
13	鈴木 肇	宮崎	琉球国大(陸上)	83 21	52.14	85.0	90.0	90.0	x	95.0	100.0	x	85.0	95.0	121.5	121.5	121.5
14	小原 昌幸	福島	国士館大(陸上)	72 32	52.54	80.0	85.0	85.0	x	100.0	105.0	x	80.0	112.5	121.5	121.5	121.5
15	吉崎 雄司	山形	吉崎商店	79 25	52.58	80.0	80.0	85.0	x	95.0	97.5	x	80.0	114.5	121.5	121.5	121.5
16	川口 優樹	鳥取	日立カヨ電子(陸)	74 30	52.66	65.0	70.0	75.0	x	80.0	80.0	x	80.0	100.0	121.5	121.5	121.5
17	保坂 亨	秋田	県立スポーツ金町	79 25	52.42	90.0	x	90.0	x	110.0	x	110.0	x	—	—	—	—

56kg級

順位	姓 名	県名	所属	生年	年齢	体重	1	100.0	105.0	110.0	115.0	120.0	125.0	130.0	135.0	140.0	145.0	150.0	155.0	160.0	165.0	170.0	175.0	180.0	185.0			
1	堤川 康信	埼玉	五自衛隊体育学校	80 24	55.88	105.0	100.0	105.0	x	130.0	135.0	x	140.0	110.0	114.0	118.0	122.5	127.5	132.5	137.5	142.5	147.5	152.5	157.5	162.5			
2	山田 政博	群馬	馬鹿鍋合(アマノジキ)	80 24	56.00	102.5	105.0	105.0	x	105.0	117.5	x	105.0	114.0	119.0	124.5	129.5	134.5	139.5	144.5	149.5	154.5	159.5	164.5	169.5			
3	大田 真哉	栃木	日本体育大学	82 22	55.78	97.5	109.0	102.5	x	130.0	135.0	x	105.0	110.0	115.0	120.0	125.0	130.0	135.0	140.0	145.0	150.0	155.0	160.0	165.0			
4	山川 聖東	東京	横濱開拓工業(陸)	77 27	55.62	105.0	107.5	107.5	x	117.5	122.5	x	105.0	112.5	117.5	122.5	127.5	132.5	137.5	142.5	147.5	152.5	157.5	162.5	167.5			
5	宮川 一安	徳島	株式会社(陸)	79 25	55.61	100.0	102.5	102.5	x	115.0	120.0	x	105.0	112.5	117.5	122.5	127.5	132.5	137.5	142.5	147.5	152.5	157.5	162.5	167.5			
6	須田 徹	本	日本体育大学	84 20	55.42	95.0	100.0	102.5	x	120.0	125.0	x	100.0	107.5	112.5	117.5	122.5	127.5	132.5	137.5	142.5	147.5	152.5	157.5	162.5	167.5		
7	奥山 正和	千葉	東洋大学	83 21	54.04	100.0	x	100.0	x	102.5	120.0	x	125.0	100.0	105.0	110.0	115.0	120.0	125.0	130.0	135.0	140.0	145.0	150.0	155.0	160.0	165.0	
8	岡田 典石	川大	大阪商業大学	84 20	55.42	92.5	97.5	97.5	x	120.0	125.0	x	122.5	97.5	102.5	107.5	112.5	117.5	122.5	127.5	132.5	137.5	142.5	147.5	152.5	157.5	162.5	
9	平田 延	岡山	岡山国際大学	84 22	55.60	90.0	92.5	92.5	x	122.5	125.0	x	125.0	90.0	105.0	110.0	115.0	120.0	125.0	130.0	135.0	140.0	145.0	150.0	155.0	160.0	165.0	
10	田島 廉	鹿児島	私立命館大学	82 22	55.96	90.0	90.0	95.0	x	125.0	125.0	x	125.0	90.0	105.0	110.0	115.0	120.0	125.0	130.0	135.0	140.0	145.0	150.0	155.0	160.0	165.0	
11	竹下 潤	福島	董出雲(陸)	79 25	54.94	85.0	90.0	95.0	x	115.0	120.0	x	122.5	90.0	110.0	115.0	120.0	125.0	130.0	135.0	140.0	145.0	150.0	155.0	160.0	165.0		
12	小野 譲	奈良	解説者(陸)	79 25	55.30	92.5	97.5	97.5	x	112.5	122.5	x	122.5	92.5	107.5	112.5	117.5	122.5	127.5	132.5	137.5	142.5	147.5	152.5	157.5	162.5	167.5	
13	小島 謙	鳥取	東北医療大学	79 25	55.46	85.0	90.0	92.5	x	110.0	115.0	x	115.0	90.0	105.0	110.0	115.0	120.0	125.0	130.0	135.0	140.0	145.0	150.0	155.0	160.0	165.0	
14	小島 賢	福島	東北神戸大(陸)	85 19	54.98	90.0	92.5	92.5	x	105.0	110.0	x	112.5	90.0	105.0	110.0	115.0	120.0	125.0	130.0	135.0	140.0	145.0	150.0	155.0	160.0	165.0	
15	大瀬 健也	神奈川	法政大学	85 19	55.44	85.0	90.0	92.5	x	105.0	110.0	x	112.5	90.0	105.0	110.0	115.0	120.0	125.0	130.0	135.0	140.0	145.0	150.0	155.0	160.0	165.0	
16	奥野 達	山梨	日本体育大学	84 20	55.50	87.5	92.5	92.5	x	100.0	105.0	x	105.0	85.0	90.0	95.0	100.0	105.0	110.0	115.0	120.0	125.0	130.0	135.0	140.0	145.0	150.0	155.0
17	伊東 実	茨城	鹿児島市来慶(高校教)	80 24	55.92	75.0	80.0	80.0	x	105.0	110.0	x	105.0	85.0	90.0	95.0	100.0	105.0	110.0	115.0	120.0	125.0	130.0	135.0	140.0	145.0	150.0	155.0
18	子代田宏志	千葉	東洋大(高校教)	80 25	55.56	95.0	95.0	95.0	x	125.0	130.0	x	125.0	105.0	110.0	115.0	120.0	125.0	130.0	135.0	140.0	145.0	150.0	155.0	160.0	165.0	170.0	
19	山本 伸	山形	東工大(陸)	76 28	55.60	92.5	92.5	92.5	x	105.0	110.0	x	110.0	115.0	120.0	125.0	130.0	135.0	140.0	145.0	150.0	155.0	160.0	165.0	170.0	175.0	180.0	
20	佐久間 達	山形	城士館大(陸)	84 20	55.72	90.0	90.0	95.0	x	105.0	110.0	x	112.5	90.0	105.0	110.0	115.0	120.0	125.0	130.0	135.0	140.0	145.0	150.0	155.0	160.0	165.0	
21	小林 拓郎	山形	形狀田径(陸)	83 21	55.84	95.0	95.0	95.0	x	115.0	120.0	x	115.0	105.0	110.0	115.0	120.0	125.0	130.0	135.0	140.0	145.0	150.0	155.0	160.0	165.0		
22	1 氷水 嘉琦	埼玉	自衛隊体校	75 29	61.68	120.0	130.0	x	150.0	155.0	x	157.5	120.0	125.0	130.0	135.0	140.0	145.0	150.0	155.0	160.0	165.0	170.0	175.0	180.0	185.0		
23	2 岩村 公貴	本	日本体育大学	84 22	61.24	115.0	122.5	x	145.0	147.5	x	147.5	115.0	120.0	125.0	130.0	135.0	140.0	145.0	150.0	155.0	160.0	165.0	170.0	175.0	180.0		
24	3 佐藤 伸	千葉	東工大(高校教)	84 24	61.18	61.76	110.0	x	110.0	115.0	x	110.0	115.0	120.0	125.0	130.0	135.0	140.0	145.0	150.0	155.0	160.0	165.0	170.0	175.0	180.0		
25	4 藤永 亮	東京	東工大(陸)	72 32	60.70	105.0	107.5	130.0	x	135.0	140.0	x	107.5	80.0	110.0	115.0	120.0	125.0	130.0	135.0	140.0	145.0	150.0	155.0	160.0	165.0		
26	5 石崎 伸	三重	東京国際大学	84 20	61.50	105.0	105.0	105.0	x	105.0	110.0	x	107.5	80.0	110.0	115.0	120.0	125.0	130.0	135.0	140.0	145.0	150.0	155.0	160.0	165.0		
27	6 山崎 亮	滋賀	東邦大(陸)	84 20	61.56	102.5	105.0	107.5	x	130.0	135.0	x	115.0	90.0	110.0	115.0	120.0											

+ 105Kg級																			
順位	姓 名	所属	年 齢			生 年			ス ナ ッ チ			クリーン&シャーベー			ペ スト			トータル	
			1	2	3	1	2	3	1	2	3	S	順位	C&J	順位	トータル			
1 吉本 久也 沖縄県立農業高等学校	81.23 97.48 115.0	120.0	125.0	x 155.0	160.0	162.5	x 162.5	162.5	x 162.5	162.5	x 162.5	167.5	1	205.0	1	372.5	217.7		
2 岩谷 昌明 福井県立東洋高等学校	83.21 97.74 110.0	115.0	120.0	x 120.0	155.0	160.0	x 162.5	162.5	x 162.5	162.5	x 162.5	167.5	1	205.0	2	367.5	212.5		
3 三澤田 浩伸 石川県立日本大学	85.19 100.50 115.0	120.0	x 122.5	x 150.0	150.0	x 157.5	x 157.5	157.5	x 157.5	157.5	x 157.5	160.0	1	160.0	1	327.5	212.5		
4 藤原 正也 滋賀県立近畿大学	82.22 100.88 110.0	120.0	125.0	x 150.0	150.0	x 157.5	x 157.5	157.5	x 157.5	157.5	x 157.5	160.0	1	160.0	1	327.5	212.5		
5 佐野 健太郎 大阪商業大学	86.38 102.50 125.0	125.0	125.0	x 155.0	160.0	x 162.5	x 162.5	162.5	x 162.5	162.5	x 162.5	167.5	1	205.0	1	372.5	217.7		
6 有地 哲好 幸太郎 鳥取県立鳥取高等学校	86.38 102.74 115.0	115.0	120.0	x 115.0	120.0	x 145.0	x 145.0	145.0	x 145.0	145.0	x 145.0	150.0	1	160.0	1	327.5	212.5		
7 佐藤 優樹 佐賀県立佐賀高等学校	80.24 97.12 100.0	105.0	110.0	x 110.0	110.0	x 140.0	x 140.0	145.0	x 145.0	145.0	x 145.0	150.0	1	160.0	1	327.5	212.5		
8 伊藤 周平 佐賀県立佐賀高等学校	85.19 95.24 100.0	105.0	110.0	x 110.0	110.0	x 140.0	x 140.0	145.0	x 145.0	145.0	x 145.0	150.0	1	160.0	1	327.5	212.5		
9 佐藤 優斗 佐賀県立佐賀高等学校	85.19 96.30 90.0	90.0	105.0	x 105.0	105.0	x 130.0	x 130.0	130.0	x 130.0	130.0	x 130.0	135.0	1	160.0	1	327.5	212.5		
10 伊藤 優馬 佐賀県立佐賀高等学校	86.13 103.66 125.0	125.0	125.0	x 135.0	135.0	x 160.0	x 162.5	162.5	x 162.5	162.5	x 162.5	167.5	1	205.0	1	372.5	217.7		
11 白石 雅也 沖縄県立沖縄高等学校	84.20 104.54 135.0	135.0	140.0	x 140.0	140.0	x 170.0	x 170.0	170.0	x 170.0	170.0	x 170.0	175.0	1	205.0	1	372.5	217.7		
12 佐藤 優斗 佐賀県立佐賀高等学校	86.18 103.15 130.0	130.0	135.0	x 135.0	135.0	x 165.0	x 165.0	170.0	x 172.5	172.5	x 172.5	175.0	1	205.0	1	372.5	217.7		
13 佐藤 優斗 佐賀県立佐賀高等学校	86.18 114.60 117.5	117.5	122.5	x 127.5	127.5	x 150.0	x 150.0	155.0	x 155.0	155.0	x 155.0	155.0	1	160.0	1	327.5	212.5		
14 佐藤 優斗 佐賀県立佐賀高等学校	86.18 114.54 135.0	135.0	140.0	x 140.0	140.0	x 172.5	x 172.5	177.5	x 177.5	177.5	x 177.5	177.5	1	160.0	1	327.5	212.5		
15 佐藤 優斗 佐賀県立佐賀高等学校	85.19 116.14 115.0	115.0	120.0	x 125.0	125.0	x 145.0	x 145.0	150.0	x 150.0	150.0	x 150.0	150.0	1	160.0	1	327.5	212.5		
16 佐藤 優斗 佐賀県立佐賀高等学校	85.19 112.86 110.0	110.0	115.0	x 115.0	115.0	x 140.0	x 140.0	145.0	x 145.0	145.0	x 145.0	150.0	1	160.0	1	327.5	212.5		
17 佐藤 優斗 佐賀県立佐賀高等学校	82.22 105.20 65.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
+ 53Kg級												年 齢			ス ナ ッ チ			トータル	
順位	姓 名	所属	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	トータル	
1 中村 実生 沖縄県立農業高等学校	87.17 52.82 87.5	90.0	90.0	93.5	93.5	x 93.5	x 93.5	93.5	x 93.5	93.5	x 93.5	97.5	1	107.5	1	205.0	120.0		
2 岩崎 崇実 滋賀県立農業高等学校	87.17 52.02 87.5	87.5	90.0	90.0	95.0	x 95.0	x 95.0	95.0	x 95.0	95.0	x 95.0	97.5	1	107.5	1	205.0	120.0		
3 村上 康宣 滋賀県立農業高等学校	87.17 52.54 77.5	80.0	82.5	x 82.5	80.0	x 100.0	x 100.0	100.0	x 100.0	100.0	x 100.0	105.0	1	107.5	1	205.0	120.0		
4 桜木 譲三 滋賀県立農業高等学校	87.17 52.06 72.5	77.5	x 77.5	x 77.5	x 100.0	x 100.0	102.5	x 102.5	102.5	x 102.5	105.0	1	107.5	1	205.0	120.0			
5 田中 勇也 滋賀県立農業高等学校	87.17 52.44 77.5	77.5	x 77.5	x 77.5	x 100.0	x 100.0	102.5	x 102.5	102.5	x 102.5	105.0	1	107.5	1	205.0	120.0			
6 田中 勇也 滋賀県立農業高等学校	86.18 52.52 75.0	75.0	80.0	x 80.0	80.0	x 100.0	x 100.0	102.5	x 102.5	102.5	x 102.5	105.0	1	107.5	1	205.0	120.0		
7 田中 勇也 滋賀県立農業高等学校	86.18 51.54 77.5	77.5	x 77.5	x 77.5	x 100.0	x 100.0	102.5	x 102.5	102.5	x 102.5	105.0	1	107.5	1	205.0	120.0			
8 横井 正和 滋賀県立農業高等学校	86.18 52.08 75.0	77.5	x 77.5	x 77.5	x 100.0	x 100.0	102.5	x 102.5	102.5	x 102.5	105.0	1	107.5	1	205.0	120.0			
9 木村 桂樹子 滋賀県立農業高等学校	86.18 52.78 70.0	70.0	80.0	x 80.0	80.0	x 100.0	x 100.0	102.5	x 102.5	102.5	x 102.5	105.0	1	107.5	1	205.0	120.0		
10 佐々木木村 幸洋 滋賀県立農業高等学校	86.18 51.58 75.0	75.0	80.0	x 80.0	80.0	x 100.0	x 100.0	102.5	x 102.5	102.5	x 102.5	105.0	1	107.5	1	205.0	120.0		
11 中山 彰彦 滋賀県立農業高等学校	86.18 52.68 77.5	80.0	82.5	x 82.5	80.0	x 100.0	x 100.0	102.5	x 102.5	102.5	x 102.5	105.0	1	107.5	1	205.0	120.0		
12 小川 美穂 滋賀県立農業高等学校	86.18 52.24 70.0	70.0	75.0	x 75.0	75.0	x 100.0	x 100.0	102.5	x 102.5	102.5	x 102.5	105.0	1	107.5	1	205.0	120.0		
13 高橋 優理 滋賀県立農業高等学校	86.18 52.64 72.5	72.5	x 72.5	x 72.5	x 100.0	x 100.0	102.5	x 102.5	102.5	x 102.5	105.0	1	107.5	1	205.0	120.0			
14 田代 健一 滋賀県立農業高等学校	86.18 52.34 67.5	67.5	70.0	x 70.0	70.0	x 100.0	x 100.0	102.5	x 102.5	102.5	x 102.5	105.0	1	107.5	1	205.0	120.0		
15 渡辺 由起 滋賀県立農業高等学校	86.18 52.78 70.0	70.0	75.0	x 75.0	75.0	x 100.0	x 100.0	102.5	x 102.5	102.5	x 102.5	105.0	1	107.5	1	205.0	120.0		
16 柚生 祐介 滋賀県立農業高等学校	87.17 52.50 65.0	65.0	70.0	x 70.0	70.0	x 100.0	x 100.0	102.5	x 102.5	102.5	x 102.5	105.0	1	107.5	1	205.0	120.0		
17 伊藤 宏也 滋賀県立農業高等学校	86.18 52.70 75.0	75.0	75.0	x 75.0	75.0	x 100.0	x 100.0	102.5	x 102.5	102.5	x 102.5	105.0	1	107.5	1	205.0	120.0		
18 伊藤 宏也 滋賀県立農業高等学校	86.18 52.78 70.0	70.0	75.0	x 75.0	75.0	x 100.0	x 100.0	102.5	x 102.5	102.5	x 102.5	105.0	1	107.5	1	205.0	120.0		
+ 56Kg級												年 齢			ス ナ ッ チ			トータル	
順位	姓 名	所属	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	トータル	
1 朝地 鶴也 滋賀県立農業高等学校	86.18 55.88 87.5	92.5	92.5	95.0	95.0	x 95.0	x 95.0	95.0	x 95.0	95.0	x 95.0	97.5	1	122.5	1	222.5	217.7		
2 朝地 吉弘 富士小林高校	86.18 55.60 92.5	x 92.5	92.5	97.5	97.5	x 97.5	x 97.5	97.5	x 97.5	97.5	x 97.5	97.5	1	122.5	1	222.5	217.7		
3 朝根 重裕 玉崎玉堀高校	87.17 55.56 85.0	90.0	92.5	95.0	92.5	x 95.0	x 95.0	92.5	x 95.0	92.5	x 95.0	97.5	1	122.5	1	222.5	217.7		
4 中山 陽介 玉崎玉堀高校	87.17 54.64 90.0	92.5	92.5	95.0	92.5	x 95.0	x 95.0	92.5	x 95.0	92.5	x 95.0	97.5	1	122.5	1	222.5	217.7		
5 旗木 慎也 本郷西高校	87.16 54.98 87.5	92.5	92.5	95.0	92.5	x 95.0	x 95.0	92.5	x 95.0	92.5	x 95.0	97.5	1	122.5	1	222.5	217.7		
6 宇賀 節也 本郷西高校	86.18 55.28 85.0	87.5	90.0	92.5	90.0	x 92.5	x 92.5	90.0	x 92.5	90.0	x 92.5	97.5	1	122.5	1	222.5	217.7		
7 今井 伸也 本郷西高校	86.18 53.48 82.5	82.5	87.5	90.0	87.5	x 90.0	x 90.0	90.0	x 90.0	90.0	x 90.0	95.0	1	122.5	1	222.5	217.7		
8 伊藤 宏也 本郷西高校	86.18 51.62 70.0	70.0	75.0	x 75.0	75.0	x 87.5	x 87.5	87.5	x 87.5	87.5	x 87.5	90.0	1	122.5	1	222.5	217.7		

五百九十一

- 72 -

77K級											
1 川畑 力	大京	新船橋工業高校	86.18	68.62	110.0	115.0	120.5	137.5	142.5	120.0	1142.5
2 金子 保	山口	市立村崎高校	87.17	68.26	110.0	115.0	120.0	135.0	140.0	110.0	2250.0
3 久保 仁	豊福	岡田工業高校	86.18	68.78	105.0	110.0	115.0	130.0	135.0	110.0	5240.0
4 橋本 善	大分	杵築工業高校	86.18	68.67	102.5	105.0	105.0	132.5	135.0	110.0	4350.0
5 高橋 俊二	慈徳	島徳島中央高校	86.18	67.66	95.0	100.0	100.0	125.0	130.0	100.0	6130.0
6 村上 等弘	豊塙	新潟船工業高校	86.18	68.00	95.0	97.5	97.5	122.5	130.0	97.5	6227.5
7 木下 聰也	山川	彌富工業高校	86.18	67.56	95.0	100.0	105.0	125.0	130.0	100.0	5125.0
8 中村 駿	中村	那珂川高等学校	86.18	68.20	100.0	102.5	102.5	115.0	115.0	117.5	7225.0
9 松浦 柚二	宮	猿島城工業高校	86.18	68.18	90.0	95.0	97.5	115.0	115.0	120.0	715.0
10 本木 一成	山口	下関工業高校	87.17	68.78	95.0	90.0	92.5	115.0	120.0	97.5	8115.0
11 高橋 敏岩	岩手	前沢高校	87.17	67.92	90.0	95.0	97.5	105.0	110.0	115.0	9121.5
12 霧木 伸	青森	神奈川大原高校	86.18	68.22	90.0	95.0	95.0	107.5	112.5	115.0	9121.0
13 与島 浩介	東京	東京英学高等学校	87.17	67.22	90.0	90.0	95.0	100.0	105.0	90.0	1115.0
14 結城 良介	千葉	茨城佐佐木高校	87.17	68.80	80.0	85.0	87.5	105.0	110.0	112.5	119.5
15 山岡 大輔	高知	高知県立高校	87.17	66.76	80.0	85.0	85.0	100.0	105.0	107.5	119.5
16 石田 文紀	鳥取	和樹と歎歌山	86.18	67.56	80.0	85.0	85.0	100.0	105.0	105.0	119.0
17 小林 哲	島根	吉野田高校	86.18	68.22	85.0	90.0	97.5	100.0	100.0	90.0	1410.0
18 小木曾 奥幸	岐阜	尾張商工高校	86.18	68.26	85.0	90.0	90.0	100.0	105.0	95.0	1819.0
19 佐々木健榮	愛媛	鶴見高等学校	87.17	64.76	90.0	95.0	95.0	—	—	90.0	1619.0
20 佐藤 達蔵	鹿児島	鹿児島県立相前高等学校	—	—	—	—	—	—	—	90.0	127.5
21 大澤 翔智	北海道	別海道工業高校	87.17	61.76	90.0	100.0	102.5	125.0	130.0	100.0	91227.5
22 木下 周	新潟	新潟市土建工業高校	86.18	67.16	95.0	100.0	100.0	122.5	122.5	95.0	1127.5

85K級		94K級	
1 高橋 一馬	福岡市立農業高校	86 18 82.24	120.0
2 平原 孝人	福岡市立農業高校	86 15 81.88	110.0
3 増田 智志	香川多度津工業高校	86 18 81.82	110.0
4 布川 艾新	鴻門新潟西高校	86 18 79.36	102.5
5 小左原 原	明岩手盛岡工業高校	86 18 84.72	102.5
6 佐藤 昭則	宮城石巻工業高校	86 18 77.04	105.0
7 池器 裕太	福井県敦賀工業高校	86 18 82.38	100.0
8 杉本 翔智	島根県宍道市立中学校	86 18 83.38	95.0
9 伊丹裕貴	鳥取市立高松小学校	86 16 92.56	110.0
10 大城 裕之	福岡県城南高校	86 18 85.80	110.0
11 里 直樹	崎嶺阜農業高校	86 18 86.22	110.0
12 中島 啓介	大分四日市高校	87 17 90.80	105.0
13 山崎 宜希	新潟西高校	86 18 86.98	105.0
14 木村一真	東京農業高校	87 17 88.46	102.5
15 田中裕貴	福岡市立農業高校	87 17 93.44	105.0
16 岩崎透	木下静岡県立農業高校	86 18 85.20	105.0
17 伏谷 健行	久慈工業高校	87 17 86.72	105.0
18 黒田 肇	岐阜県立農業高校	86 18 85.90	105.0
19 関昌高	仁川中学校	87 17 86.38	102.5
20 関昌高	日向市立中央高校	86 18 86.38	102.5

105K級		+105K級	
1 初念	福 田 順 権	福 田 順 権 工業高校	87 17 99.60
2 小松	翔 秋	横 梶 手 工業高校	86 18 103.58
3 佐々木	嵩 山	形 鶴 中央高校	86 18 104.54
4 利根川	優 善	埼 玉 工業高校	86 18 103.14
5 山 内	薰 京	都 加 悅 谷 高校 八戸工科大学附属高 校	87 17 103.20
6 二 翔	翠 一 壮	不 朽 木 工業高校	88 16 104.90
7 天 谷	弘 弐	口 久 間 工業高校	86 18 100.00
8 本 川	大 介 伸	高 田 工業高校	87 17 102.02
9 木 村	剛 旗	本 町 高 等 天 無 西 高 校	86 18 102.18
10 山 川	裕 介 新	涅 新 涼 工業高校	86 18 95.04
11 菊 下	貴 志 雄	美 薩 岡 工業高校	87 17 102.24
12 越 連	太 石	山 滝 高 中	95.00
13 舟 船	睦 一	山 満 川 高 中	100.00
14 村 上	有 男 慶	鹿 比 島 工業高校	86 18 98.28
15 稲 田	勝 司 吾	良 大 滢 高 中	86 18 102.78
16 仁 野	一 畏	新 施 游 工業高校	87 17 103.43
17 濱 田	康 佑	知 寒 高 中	87 17 99.46
18 大 島	幸 太	東 京 亞 世 國 高 校	87 17 103.26
坂 口	隆 浩	君 田 市 中 競 高 校	88 16 104.26
1 太 田		和 田 福 間 八 嵐 中 央 高 校	86 18 126.90
2 吉 条		路 二 三 侯 良 大 海 岛 高 校	86 18 115.38
3 広 波		利 田 吉 田 高 中	86 18 145.20
4 佐 久		東 野 一 时 群 馬 領 開 高 中	86 18 145.00
5 佐 久		友 滉 一 訓 静 鹿 野 高 中	87 17 120.55
6 佐 久		勝 一 伸 一 伸 鹿 野 高 中	87 17 115.00
7 佐 久		200.00 122.5 145.0 150.0	—
8 佐 久		110.00 110.00 125.0 130.0	135.0 135.0 135.0 135.0
9 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
10 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
11 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
12 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
13 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
14 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
15 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
16 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
17 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
18 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
19 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
20 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
21 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
22 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
23 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
24 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
25 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
26 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
27 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
28 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
29 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
30 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
31 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
32 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
33 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
34 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
35 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
36 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
37 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
38 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
39 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
40 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
41 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
42 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
43 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
44 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
45 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
46 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
47 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
48 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
49 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
50 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
51 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
52 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
53 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
54 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
55 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
56 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
57 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
58 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
59 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
60 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
61 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
62 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
63 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
64 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
65 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
66 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
67 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
68 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
69 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
70 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
71 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
72 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
73 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
74 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
75 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
76 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
77 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
78 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
79 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
80 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
81 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
82 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
83 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
84 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
85 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
86 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
87 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
88 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
89 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
90 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
91 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
92 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
93 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
94 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
95 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
96 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
97 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
98 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
99 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
100 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
101 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
102 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
103 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
104 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
105 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
106 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
107 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
108 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
109 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
110 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
111 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
112 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
113 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
114 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
115 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
116 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
117 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
118 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
119 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
120 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
121 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
122 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
123 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
124 佐 久		105.0 105.0 105.0 105.0	105.0 105.0 105.0 105.0
1			

卷之三

表覽一績成合總

合計參照総括											
少年男子											
成年男子											
都道府 県名	553Kg	556Kg	622Kg	699Kg	777Kg	858Kg	944Kg	1055Kg	1055Kg	1055Kg	1055Kg
北海道	S	J	S	J	S	J	S	J	S	J	S
青森	4	4	3	3	7	25	1	1	21	2	1
岩手	8	6	6	0	5	1	5	3	1	3	2
宮城	2	2	0	20	14	1	4	8	4	2	19
秋田	4	31	4	1	4	31	1	4	8	5	2
山形	6	1	2	1	10	22	4	2	7	3	5
福島	1	1	1	1	7	1	2	14	1	10	10
茨城	2	5	2	2	1	4	14	16	1	9	25
栃木	5	8	3	5	3	24	12	21	3	7	11
群馬	6	6	8	8	7	8	4	6	57	1	6
埼玉	3	2	0	0	0	5	29	0	0	0	0
千葉	6	6	6	2	8	5	3	38	4	24	8
東京	7	7	6	7	2	6	37	5	7	5	4
神奈川	7	7	7	7	6	5	7	5	6	4	34
山梨	7	7	7	7	6	5	7	5	6	4	34
新潟	7	7	7	7	6	5	7	5	6	4	34
長野	7	7	7	7	6	5	7	5	6	4	34
富山	7	7	7	7	6	5	7	5	6	4	34
石川	8	2	1	1	3	7	5	27	10	1	14
福井	3	4	8	8	8	4	27	10	4	31	11
静岡	2	2	4	4	3	6	7	15	2	11	19
愛知	3	3	4	4	3	2	13	19	3	10	23
三重	7	8	4	2	2	2	23	13	7	3	1
岐阜	2	2	0	0	0	2	0	2	31	0	0
滋賀	3	4	4	3	4	6	5	29	8	8	8
京都	3	5	1	4	7	6	7	6	1	1	1
大阪	5	6	7	6	7	6	7	6	7	6	7
兵庫	1	5	5	1	11	21	0	0	0	0	0
奈良	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
和歌山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
熊本	3	3	2	2	5	29	1	2	4	7	29
大分	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
宮崎	7	1	5	5	5	28	9	3	5	3	11
鹿児島	6	6	1	1	7	25	3	3	0	0	0
高知	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
福岡	5	5	1	3	9	23	6	4	8	42	2
佐賀	4	4	4	31	1	4	31	1	4	38	1
長崎	2	6	6	14	16	5	5	5	6	6	27
熊本	7	7	1	2	5	8	7	3	1	10	10
大分	7	3	3	14	16	5	6	2	5	4	22
宮崎	7	7	0	0	0	8	5	8	6	4	41
鹿児島	2	7	3	5	7	8	46	2	7	8	44
沖縄	2	7	3	5	7	8	46	2	7	8	44

内閣総理大臣杯 第41回全日本社会人選手権大会

●平成16年11月21日[56Km級・69Km級]・22日[77Km級～94Km級]・23日[105Km級～105Km級]

●倉敷市倉敷体育館(第一会場) 倉敷運動公園ウエイトリフティング場(第二会場)

56Kg級

順位	姓 名	都道府県名	年齢	体重	スナッチ	スナッチ	1 2	2 3	1 2	3	クリーン＆ジャーク	クリーン＆ジャーク	ペストル	S C/S
1	山川 聖	東京警視庁	77.26	55.42	100.0	105.0	cs	107.5	x	117.5	122.5	125.0	x	105.0
2	上原不二男	沖縄県琉球県柔道部	76.27	55.60	95.0	95.0	x	100.0	120.0	125.0	130.0	100.0	x	110.0
3	森川 孝司	三重県伊賀市柔道部	79.24	54.74	85.0	90.0	x	95.0	120.0	125.0	127.5	120.0	x	110.0
4	小野 龍弘	岡山県一木ももつち	81.22	55.24	90.0	95.0	x	100.0	110.0	115.0	120.0	125.0	x	100.0
5	野崎悠一郎	東京警視庁	81.22	55.46	92.5	92.5	x	95.0	112.5	120.0	122.5	120.0	x	100.0
6	岡田 泰幸	石川県珠洲クラブ	81.22	55.88	90.0	95.0	x	100.0	110.0	115.0	122.5	120.0	x	105.0
7	岩井 土朗	大阪府柔道部	81.23	55.70	80.0	85.0	x	85.0	105.0	107.5	110.0	115.0	x	85.0
8	日野 高	福島県根室振興WLC	81.22	54.02	80.0	85.0	x	100.0	105.0	107.5	110.0	105.0	x	105.0
9	高橋 健太	宮城県農業試験場	84.19	55.80	77.5	80.0	x	100.0	102.5	102.5	102.5	102.5	x	80.0
10	吉崎 雄高	山富山レスリングクラブ	79.24	54.62	77.5	82.5	x	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	x	100.0
11	伊藤 徹	知トヨタ自動車(株)A	75.28	53.44	75.0	80.0	x	82.5	95.0	95.0	95.0	95.0	x	100.0
12	杉本 正治	京都府みやこクラブ	80.23	55.16	75.0	77.5	x	80.0	95.0	100.0	102.5	100.0	x	100.0
13	古賀 文士	愛知トヨタ自動車(株)A	60.43	54.88	75.0	80.0	x	85.0	90.0	95.0	100.0	105.0	x	100.0
14	新谷秀夫	知名古屋鉄道	54.49	55.60	62.5	65.0	x	67.5	75.0	80.0	82.5	85.0	x	100.0
15	鈴木 正樹	岐阜県イビデン	67.95	55.30	60.0	67.5	x	70.0	80.0	85.0	87.5	90.0	x	100.0
16	田中 伸	大分ぶんご日田	68.35	55.30	60.0	65.0	x	65.0	70.0	70.0	80.0	80.0	x	100.0
17	薄井 康幸	山口県三豊市自工水島	66.18	50.86	65.0	65.0	x	65.0	70.0	90.0	90.0	90.0	x	100.0
18	松田 正隆	岡山県三豊市自工水島	65.18	55.74	70.0	70.0	x	70.0	75.0	95.0	95.0	95.0	x	100.0

77Kg級

1	片岡 勇	埼玉県山手モーチューム	81.22	76.36	100.0	100.0	x	100.0	125.0	125.0	125.0	125.0	x	105.0
2	松下 敦	兵庫県柔道部	73.31	76.08	125.0	125.0	x	125.0	125.0	125.0	125.0	125.0	x	100.0
3	中條 桂良	群馬赤城チーム	78.25	75.50	120.0	120.0	x	125.0	125.0	125.0	125.0	125.0	x	100.0
4	大畠 稔幸	北海道はまなすクラブ	69.34	76.44	120.0	120.0	x	125.0	125.0	125.0	125.0	125.0	x	100.0
5	加賀美孝久	山梨シャンテレー(社)A	73.30	72.78	110.0	110.0	x	117.5	137.5	142.5	147.5	147.5	x	100.0
6	天野 豊	奈良大和ガズ(株)	79.25	76.90	110.0	110.0	x	115.0	150.0	155.0	157.5	157.5	x	100.0
7	綿部 智慶	埼玉自衛隊体操部	84.19	75.00	110.0	110.0	x	117.5	140.0	145.0	147.5	147.5	x	100.0
8	川野 駿	弘二岡山穴吹工務店	77.26	76.12	100.0	105.0	x	110.0	130.0	137.5	145.0	145.0	x	100.0
9	小林 司	宮城県ケーピン	80.23	74.08	105.0	105.0	x	112.5	135.0	135.0	135.0	135.0	x	100.0
10	林 智	智童広島県東洋シート	85.18	75.56	102.5	102.5	x	107.5	130.0	130.0	130.0	130.0	x	100.0
11	遠江 仁	山梨いにシクラブB	73.31	76.58	102.5	102.5	x	107.5	110.0	132.5	137.5	137.5	x	100.0
12	大浦 大	大阪市公用金庫	65.38	76.54	100.0	105.0	x	107.5	125.0	130.0	135.0	135.0	x	100.0
13	小野 大輔	大阪府自衛軍(株)A	84.19	76.28	102.5	107.5	x	110.0	125.0	130.0	135.0	135.0	x	100.0
14	平 智史	奈良春香莊	73.23	75.76	100.0	105.0	x	105.0	132.5	137.5	137.5	137.5	x	100.0
15	鶴田 守季	山梨いにシクラブB	73.31	75.40	105.0	105.0	x	110.0	112.5	125.0	132.5	132.5	x	100.0
16	古川 敬	北海道はまなすクラブ	70.34	76.31	102.5	102.5	x	107.5	110.0	120.0	125.0	125.0	x	100.0
17	原 雄敏	奈良卓斗	77.76	76.60	100.0	100.0	x	102.5	110.0	115.0	117.5	117.5	x	100.0
18	豊田 隆	三重県人工水島	75.28	76.46	90.0	95.0	x	95.0	100.0	110.0	115.0	115.0	x	100.0
19	辰野 芳	充経京都みやこクラブ	82.22	76.32	85.0	90.0	x	95.0	115.0	120.0	125.0	125.0	x	100.0
20	窪田 弘史	四国山東工業園(株)	84.20	76.94	105.0	105.0	x	105.0	112.5	125.0	132.5	132.5	x	100.0
21	近藤 伸生	大坂山手モーチューム	77.31	76.32	95.0	100.0	x	100.0	100.0	105.0	110.0	110.0	x	100.0
22	佐藤 青喜	北海道はまなすクラブ	77.26	75.66	90.0	95.0	x	92.5	102.5	110.0	115.0	115.0	x	100.0
23	吉原 二郎	北陸自動車連盟(株)A	81.21	72.22	85.0	95.0	x	95.0	105.0	110.0	115.0	115.0	x	100.0
24	門 光介	香川三菱電機(株)A	79.24	72.30	90.0	95.0	x	95.0	105.0	110.0	115.0	115.0	x	100.0
25	三宅 陽治	鳥取大学	85.18	74.50	85.0	90.0	x	90.0	95.0	100.0	105.0	105.0	x	100.0
26	坂本 真一	長野県大和ガズ(株)	68.38	73.86	80.0	80.0	x	85.0	100.0	100.0	105.0	105.0	x	100.0
27	早田 刚	長崎県諫早クラブ	82.21	75.22	80.0	85.0	x	85.0	100.0	100.0	105.0	105.0	x	100.0
28	岩村 征和	長崎県諫早クラブ	77.26	76.54	90.0	95.0	x	95.0	105.0	105.0	105.0	105.0	x	100.0

85Kg級

1	木曾川 葦	山梨かいじクラブA	79.24	84.18	140.0	145.0	x	150.0	170.0	175.0	182.5	182.5	x	150.0
2	鈴木 美玲	玉自衛隊体操部	76.27	82.28	130.0	135.0	x	140.0	165.0	170.0	175.0	175.0	x	150.0
3	影山 博文	京都市みやこクラブ	74.30	84.30	125.0	130.0	x	135.0	160.0	165.0	170.0	170.0	x	150.0
4	山谷 仁	大坂山手モーチューム	72.25	84.30	125.0	130.0	x	135.0	160.0	165.0	170.0	170.0	x	150.0
5	平良 伸悦	横浜球類俱楽部	81.23	84.70	125.0	130.0	x	135.0	160.0	165.0	170.0	170.0	x	150.0
6	安井 大	千葉県柔道・大坂筋	74.30	84.30	125.0	130.0	x	135.0	160.0	165.0	170.0	170.0	x	150.0
7	千野 正博	木小山クラブ	76.28	83.14	110.0	115.0	x	115.0	140.0	145.0	150.0	150.0	x	150.0
8	笛田 美由	千葉県柔道・大坂筋	112.28	83.14	110.0	115.0	x	115.0	140.0	145.0	150.0	150.0	x	150.0
9	黒田 康裕	愛媛県立工業大学	86.18	80.30	110.0	115.0	x	115.0	140.0	145.0	150.0	150.0	x	150.0
10	早田 美仁	山梨県立工業大学	81.23	81.12	107.5	112.5	x	112.5	135.0	140.0	145.0	145.0	x	150.0
11	田坂 美仁	山梨県立工業大学	81.23	81.12	107.5	112.5	x	112.5	135.0	140.0	145.0	145.0	x	150.0
12	松井 幸香	香川丸瀬技場	80.23	84.88	110.0	110.0	x	110.0	140.0	145.0	150.0	150.0	x	150.0

69Kg級

1	今村 俊哉	山梨かいじクラブA	79.24	66.30	120.0	125.0	x	130.0	152.5	157.5	160.0	160.0	x	150.0
2	近藤 伸	愛媛県柔道・大坂筋	77.26	68.36	105.0	107.5	x	110.0	132.5	135.0	140.0	140.0	x	150.0
3	鈴木 春	玉自衛隊体操部	82.21	68.48	110.0	112.5	x	115.0	145.0	150.0	155.0	155.0	x	150.0
4	竹田 美也	京都市みやこクラブ	65.38	68.74	110.0	115.0	x	120.0	150.0	155.0	160.0	160.0	x	150.0
5	松浦 勝	夏輝長崎	82.21	68.64	110.0	115.0	x	115.0	145.0	150.0	155.0	155.0	x	150.0
6	石川 洋平	愛媛県立工業大学	77.26	68.48	105.0	107.5	x	112.5	137.5	142.5	145.0	145.0	x	150.0
7	中島 孝	岡山県立工業大学	84.20	67.98	105.0	110.0	x	112.5	142.5	145.0	150.0	150.0		

+105K級																	
13 前田 順一	岡山 三義自工水島	77.27	84.22	100.0	105.0	x 110.0	x 130.0	x 135.0	x 140.0								
14 曹我鶴道 堂	川多摩工高(株)	74.29	82.02	100.0	105.0	x 110.0	x 120.0	x 125.0	x 130.0								
15 稲田 駿士	川多摩工高(株)	80.23	84.76	105.0	110.0	x 115.0	x 125.0	x 130.0									
16 爰知 伸二	岐阜 岐阜工業高等専門学校	73.30	81.64	100.0	105.0	x 105.0	x 125.0	x 130.0									
17 北芝 博一	兵庫 丸上織機子母車(株)	85.18	82.06	95.0	100.0	x 100.0	x 115.0	x 120.0	x 125.0	x 130.0							
18 山本 浩馬	愛媛 (有)タカシ工業所	83.21	84.20	100.0	105.0	x 105.0	x 120.0	x 120.0	x 125.0	x 130.0							
19 山家 光正弘	宮城 城崎ケービン	84.35	79.32	95.0	100.0	x 102.5	x 115.0	x 120.0	x 120.0	x 125.0	x 130.0						
20 堀原 光明	愛知 古屋鐵道	68.35	82.56	85.0	90.0	x 95.0	x 110.0	x 120.0	x 125.0	x 130.0							
21 三上 豊	北海道 はまなすクラブ	67.36	82.56	85.0	90.0	x 95.0	x 110.0										
22 清水 正	大阪 大阪高クラブ	84.19	84.40	95.0	x 90.0	x 95.0	x 110.0	x 115.0									
23 梶原 行實	兵庫 大橋山工業	73.30	83.38	90.0	90.0	x 90.0	x 110.0										
24 平岡 康伸	福岡 N's FSMLY	66.37	84.38	85.0	90.0	x 90.0	x 110.0										
山神 孝志	岡山 チームももっつち	81.22	84.92	120.0	125.0	x 125.0	x 160.0										

94K級																		
1 佐藤 彰祐	滋賀 玉自衛隊体育学校	79.24	93.04	104.0	x 140.0	x 145.0	x 180.0	x 185.0	x 190.0									
2 鈴木 助也	京都 京警察署	77.26	91.86	140.0	145.0	x 147.5	x 170.0	x 172.5	x 175.0									
3 菅井 博朗	埼玉 自衛隊体育学校	83.21	93.62	130.0	135.0	x 140.0	x 160.0	x 170.0	x 175.0									
4 水田 美幸	奈良 大阪方ズ(株)	80.23	93.54	140.0	145.0	x 145.0	x 170.0	x 175.0										
5 竹田 和也	兵庫 朝日自動車技術研究所	81.22	93.58	130.0	135.0	x 142.5	x 150.0	x 155.0										
6 比嘉 敏彦	沖縄 球球俱楽部	71.32	93.92	125.0	130.0	x 132.5	x 150.0	x 155.0	x 160.0									
7 山本 浩介	鹿児島 山チームももっつち	80.23	69.78	120.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8 会沢 和也	福岡 球洲クラブ	82.22	90.72	105.0	125.0	x 125.0	x 130.0	x 140.0	x 145.0	x 150.0	x 155.0							
9 中根 隆世	和歌山 (株)ヤマガラ	76.27	91.64	125.0	x 125.0	x 127.5	x 150.0	x 155.0	x 160.0									
10 村田 和也	兵庫 兵庫教員チーム	71.32	92.26	120.0	125.0	x 127.5	x 150.0	x 155.0	x 160.0									
11 萩田 久高	大阪 大阪府警	78.25	91.46	115.0	120.0	x 120.0	x 145.0	x 150.0	x 165.0									
12 井本 勝	兵庫 尼崎北消防署	71.32	91.50	122.5	127.5	x 132.5	x 140.0	x 145.0	x 150.0	x 155.0								
13 斎田 克己	石川 球洲クラブ	82.22	90.72	110.0	110.0	x 117.5	x 122.5	x 130.0	x 140.0	x 145.0	x 150.0							
14 浅井 幸太	島 三共株	67.36	91.98	110.0	115.0	x 117.5	x 120.0	x 125.0	x 130.0	x 135.0	x 140.0							
15 渡辺 浩幸	山梨 かいじクラブB	67.37	91.00	100.0	110.0	x 115.0	x 120.0	x 125.0	x 130.0	x 135.0	x 140.0							
16 天野 勝	洋平 山梨 かいじクラブB	77.26	92.04	110.0	x 110.0	x 110.0	x 115.0	x 120.0	x 125.0	x 130.0	x 135.0							
17 池田 直弥	静岡 田N's FSMLY	80.23	89.36	105.0	110.0	x 115.0	x 130.0											
18 土井祐次郎	奈良 大阪府保険協会	70.33	92.46	105.0	110.0	x 115.0	x 130.0	x 135.0	x 140.0	x 145.0	x 150.0							
19 本間 豊	税 北海道 はまなすクラブ	68.35	93.14	100.0	105.0	x 105.0	x 110.0	x 115.0	x 120.0	x 125.0	x 130.0							
20 桑原 一	愛知 名古屋笠置	73.30	87.14	100.0	105.0	x 105.0	x 110.0	x 115.0	x 120.0	x 125.0	x 130.0							
21 岩田健太郎	京都 京都みやこやニクラブ	81.23	87.20	97.5	102.5	x 107.5	x 127.5	x 132.5	x 137.5	x 137.5	x 140.0							
22 小俣 彩良	神奈川 日本橋銀がーツ選抜	65.39	92.60	110.0	115.0	x 115.0	x 130.0	x 135.0										
23 水谷 一人	三重 境港消防署	66.38	89.86	95.0	100.0	x 102.5	x 125.0	x 132.5	x 135.0									
24 真境名和 明	沖縄 球洲俱楽部	85.18	89.04	92.5	x 120.0	x 125.0	x 130.0											
25 長谷川 千	千葉 千葉トマト銀行	59.44	92.70	90.0	100.0	x 105.0	x 110.0	x 120.0	x 125.0									
26 岩本 楓	岡山 岡山トマト銀行	79.25	93.62	100.0	105.0	x 107.5	x 120.0	x 125.0										
27 松尾 勝	鹿児島 京警察署	58.46	93.64	90.0	100.0	x 100.0	x 110.0											
岡林 比二	福岡 玉自衛隊体育学校	82.22	92.64	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

105K級																		
1 園山 翼	山梨 翼	玉自衛隊体育学校	78.25	103.70	140.0	145.0	150.0	x 175.0	180.0	185.0	x 185.0	190.0	195.0	x 195.0	195.0	195.0	195.0	195.0
2 西川 智之	京都 和紀	埼玉 朝日自動車(株)A	69.34	103.82	135.0	x 135.0	x 135.0	x 140.0	x 140.0	x 145.0								
3 佐藤 和也	新潟 朝日	東京 朝日自動車(株)サンス工業	82.21	97.32	125.0	130.0	x 130.0	x 130.0	x 130.0	x 130.0	x 130.0	x 130.0	x 130.0	x 130.0	x 130.0	x 130.0	x 130.0	x 130.0
4 内藤 大介	山梨 朝日	東京 朝日自動車(株)A	80.23	103.90	125.0	130.0	x 130.0	x 130.0	x 130.0	x 130.0	x 130.0	x 130.0	x 130.0	x 130.0	x 130.0	x 130.0	x 130.0	x 130.0
5 山口 大輔	石川 大輔	山梨 朝日自動車(株)B	82.22	100.66	110.0	x 110.0	x 117.5	x 120.0	x 125.0									
6 大場 石	滋賀 大場	山梨 朝日自動車(株)C	72.31	95.44	110.0	115.0	120.0	x 125.0	x 130.0	x 135.0								
7 鹿野 雄	群馬 鹿野	山梨 朝日自動車(株)D	66.37	99.50	115.0	125.0	130.0	x 130.0	x 135.0	x 140.0								
8 白石 雄	群馬 白石	山梨 朝日自動車(株)E	77.27	101.26	105.0	110.0	x 110.0	x 115.0	x 120.0	x 125.0								
9 山中 一史	愛知 一史	山梨 朝日自動車(株)F	64.4															

総合成績一覧表

晴れの国おかやま国体記念杯女子大会

順位 チーム名 部門 鋼道府県 56kg級 62kg級 69kg級 77kg級 85kg級 94kg級 105kg級 +105kg級 合計得点 部門得点

1	自衛隊体育学校	2	堺 玉	9 / 1	6 / 1	7 / 1	15 / 2	15 / 2	1 / 1	53 / 8	1
2	かいじクラブA	1	山 裕	0 / 1	9 / 1	3 / 1	14 / 2	4 / 1	9 / 1	39 / 7	1
3	警視庁	2	東 京	13 / 2			7 / 2	5 / 2	11 / 2	36 / 8	2
4	チームももつち	1	岡 山	5 / 1	0 / 1	2 / 1	9 / 1	0 / 1	2 / 1	20 / 7	2
5	みやこクラブ	1	京 都	0 / 1		5 / 1	0 / 1	6 / 1	0 / 1	18 / 7	3
6	琉球柔道部	1	沖 繩	7 / 1		0 / 1	4 / 1	3 / 2	0 / 1	3 / 2	4
7	赤城チーム	1	群 馬	9 / 2		6 / 1		1 / 2		16 / 5	5
8	トヨタ自動車(株)A	3	愛 知	0 / 2	3 / 1	7 / 2	0 / 2	2 / 1		12 / 8	1
9	株洲クラブ	1	石 川	3 / 1	5 / 1					0 / 1	11 / 5
10	兵庫県教員チーム	1	兵 庫			0 / 2	7 / 1	0 / 1		7 / 4	7
11	小山クラブ	1	栃 木				2 / 2			5 / 1	7 / 3
12	住友電装(株)	3	三 重	6 / 1						6 / 1	2
12	広島工業高校(教)	2	広 島		6 / 1					6 / 1	3
12	(株)サンエス	3	新 潟							6 / 1	2
15	はまなすクラブ	1	北海道			0 / 1	5 / 2	0 / 1	0 / 1	5 / 5	9
15	大和ガス(株)	3	奈 良	0 / 1	0 / 1	0 / 1	5 / 1			5 / 4	4
17	大阪府警	2	大 阪	2 / 1		3 / 1	0 / 1	0 / 1	0 / 1	5 / 5	4
18	シャトレーゼ(株)	3	山 梨			4 / 1				4 / 1	5
18	大阪市公用金庫	3	大 阪		4 / 1		0 / 1			4 / 2	5
18	康早クラブ	1	長 嶺			4 / 1	0 / 2			4 / 3	10
18	石川県体育施設管理事務所	2	石 川				4 / 1			4 / 1	5
22	東予高校(教)	2	愛 媛			3 / 1				3 / 1	6
23	自衛隊体育学校B	2	堺 玉			2 / 1				2 / 1	7
24	千葉クラブ	1	千 葉			0 / 1	1 / 2	0 / 1		1 / 4	11
24	早稲田大学(職)	2	東 京							1 / 1	8
24	ユニバーサル造船(株)	3	福 井			1 / 1				1 / 1	7
24	島根県WLC	1	島 根	1 / 1						1 / 1	11
24	穴吹工務店	3	岡 山			1 / 1				1 / 1	7
24	昭和電工	3	栃 木	0 / 1			1 / 1		0 / 1	1 / 3	7

●平成16年11月21日[48kg級～55kg級]・22日[56kg級～63kg級]・23日[69kg級～75kg級] ●富士運動公園「ワイルドフライング場」

【一般の部】

48kg級

順位	都道府県名	所属	年齢	体重	生年	年齢	体重	スナッヂ	クリーン&ジャーク	ベント	C&J
1	大城 みさき	福岡県立農業高等学校	19	47.20	84	19	47.64	72.5	75.0	92.5	82.5
2	川原 真由美	鹿児島県立農業高等学校	18	47.64	85	18	48.00	60.0	62.5	67.5	130.0
3	光 煙	明美 岡山光煙高等学校	22	48.00	81	22	48.00	60.0	65.0	70.0	130.0
4	石井 伸子	三重 石薙高等学校	31	45.98	73	31	45.98	42.5	47.5	60.0	107.5

53kg級

順位	都道府県名	所属	年齢	体重	生年	年齢	体重	スナッヂ	クリーン&ジャーク	ベント	トータル
1	松宮 純	埼玉県立南浦高等学校	25	51.86	79	25	51.86	75.0	80.0	102.5	177.5
2	宝泉 二木	福岡県立農業高等学校	21	52.32	83	21	52.32	65.0	67.5	80.0	147.5
3	久保田 佳生	京都立命館大学	19	50.94	84	19	50.94	55.0	60.0	82.5	137.5
4	牧野 愚理子	鳥取県立農業高等学校	20	52.62	83	20	52.62	55.0	60.0	70.0	122.5
5	平井 秀美	滋賀県立農業高等学校	19	49.56	84	19	49.56	47.5	50.0	65.0	112.5

58kg級

63kg級

69kg級

75kg級

76kg級

80kg級

85kg級

90kg級

95kg級

100kg級

105kg級

110kg級

115kg級

120kg級

125kg級

130kg級

135kg級

140kg級

145kg級

150kg級

155kg級

160kg級

165kg級

170kg級

175kg級

180kg級

185kg級

190kg級

195kg級

200kg級

205kg級

210kg級

215kg級

220kg級

225kg級

230kg級

235kg級

240kg級

245kg級

250kg級

255kg級

260kg級

265kg級

270kg級

275kg級

280kg級

285kg級

290kg級

295kg級

300kg級

305kg級

310kg級

315kg級

320kg級

325kg級

330kg級

335kg級

340kg級

345kg級

350kg級

355kg級

360kg級

365kg級

368kg級

369kg級

370kg級

371kg級

372kg級

373kg級

374kg級

375kg級

376kg級

377kg級

378kg級

379kg級

380kg級

381kg級

382kg級

383kg級

384kg級

385kg級

386kg級

387kg級

388kg級

389kg級

390kg級

391kg級

392kg級

393kg級

394kg級

395kg級

396kg級

397kg級

398kg級

399kg級

400kg級

401kg級

402kg級

403kg級

404kg級

405kg級

406kg級

407kg級

408kg級

409kg級

410kg級

411kg級

412kg級

413kg級

414kg級

415kg級

416kg級

417kg級

418kg級

419kg級

420kg級

421kg級

422kg級

423kg級

424kg級

425kg級

426kg級

427kg級

428kg級

429kg級

430kg級

431kg級

432kg級

433kg級

434kg級

435kg級

436kg級

437kg級

438kg級

439kg級

440kg級

7 中村郁久衣 岡 山 倉敷商業高校	86 17 46.70	50.0	x	50.0	x	62.5	65.0	67.5	x	50.0	65.0	115.0
8 加門沙央里 岡 山 倉敷商業高校	87 16 47.12	47.5	x	50.0	x	62.5	65.0	67.5	112.5	60.0	62.5	117.5
9 大原 有高 岡 高知東高校	87 16 47.08	50.0	x	50.0	x	62.5	65.0	67.5	60.0	60.0	62.5	110.0
10 棚窓めぐみ 北海道士別高校	* 87 17 47.82	42.5	x	45.0	x	52.5	55.0	57.5	x	45.0	52.5	97.5

53Kg級

1 今井奈津美 兵 庫 須藤友が丘高校	86 17 52.32	65.0	x	67.5	x	62.5	85.0	87.5	x	67.5	x	155.0
2 金城 尚乃 沖 繩 豊見城高校	87 16 52.04	62.5	x	65.0	x	60.0	80.0	81.5	x	65.0	x	150.0
3 稲俣 美義 沖 繩 宮古麗林高校	87 16 52.12	62.5	x	65.0	x	67.5	75.0	77.5	x	65.0	x	142.5
4 大河内裕京 都 鳥羽高等学校	86 17 52.34	62.5	x	60.0	x	62.5	80.0	80.0	x	60.0	x	135.0
5 正清内ゆめこ 岡 山 倉敷商業高校	87 16 51.62	55.0	x	60.0	x	57.5	65.0	70.0	x	72.5	x	132.5
6 鎌田 美帆 京 都 鳥羽高校	87 16 52.68	55.0	x	60.0	x	57.5	60.0	70.0	x	57.5	x	121.5
7 今井眞理子 兵 庫 須藤友が丘高校	87 16 51.96	52.5	x	52.5	x	55.0	60.0	62.5	x	70.0	x	122.5
8 武田 歩歩 佐 岸 廣島中東高校	86 17 50.96	50.0	x	52.5	x	55.0	60.0	62.5	x	62.5	x	115.0
9 田口 美穂 兵 庫 尼崎工業高校	88 15 52.34	50.0	x	50.0	x	52.5	60.0	62.5	x	65.0	x	115.0
10 菊田 紗子 川 飯田高校	88 15 52.34	47.5	x	52.5	x	60.0	65.0	67.5	x	47.5	x	112.5
11 久保田暁乃 岐阜 岐阜可原高校	87 16 52.68	45.0	x	45.0	x	45.0	60.0	62.5	x	45.0	x	107.5
12 德山 蘭 岡 山 倉敷商業高校	86 17 52.04	45.0	x	45.0	x	47.5	55.0	57.5	x	60.0	x	102.5
佐久間朋美 謹 国常楽園結婚高校	86 17 52.96	57.5	x	57.5	x	57.5	67.5	67.5	x	67.5	x	—

+75Kg級

1 今井奈津美 兵 庫 須藤友が丘高校	86 17 52.32	65.0	x	67.5	x	62.5	85.0	87.5	x	67.5	x	177.5
2 金城 尚乃 沖 繩 豊見城高校	87 16 52.04	62.5	x	65.0	x	67.5	75.0	77.5	x	65.0	x	142.5
3 稲俣 美義 沖 繩 宮古麗林高校	87 16 52.12	62.5	x	65.0	x	62.5	75.0	77.5	x	62.5	x	135.0
4 四子絵里菜 岡 山 倉敷商業高校	88 16 55.98	60.0	x	62.5	x	62.5	75.0	77.5	x	60.0	x	140.0
5 笹尾 恵 石 川 珠洲実業高校	87 16 56.88	62.5	x	65.0	x	67.5	72.5	75.0	x	65.0	x	140.0
6 佐次あすか 京 都 加悦谷高校	88 16 54.98	55.0	x	60.0	x	62.5	70.0	72.5	x	62.5	x	137.5
7 神足 亜衣 京 庫 明石南高校	87 16 55.86	57.5	x	60.0	x	60.0	70.0	72.5	x	57.5	x	130.0
8 田邊 望 北海道札幌福北高校	88 16 57.34	57.5	x	57.5	x	60.0	70.0	75.0	x	60.0	x	130.0
9 鶴山 彩佳 岡 山 倉敷商業高校	87 16 56.74	52.5	x	57.5	x	57.5	65.0	70.0	x	72.5	x	125.0
10 蒲野 正江 石川 飯田高校	87 16 55.66	52.5	x	55.0	x	57.5	62.5	65.0	x	55.0	x	120.0
11 斉谷 仁美 岐阜 岐阜可原高校	88 15 56.96	50.0	x	52.5	x	55.0	65.0	67.5	x	52.5	x	120.0
12 柏田 新叶子 北海道札幌福北高校	87 16 57.68	45.0	x	47.5	x	50.0	67.5	67.5	x	65.0	x	115.0
村田新叶子 北海道札幌福北高校	87 16 55.98	57.5	x	57.5	x	65.0	65.0	65.0	x	—	x	—

58Kg級

1 美穂子 横岡 北九州市立高校	86 17 57.74	70.0	x	75.0	x	78.5	x	87.5	x	95.0	x	100.0
2 谷口 亜純 京 都 加悦谷高校	87 16 54.98	62.5	x	62.5	x	65.0	x	75.0	x	80.0	x	82.5
3 山田 美奈 沖 繩 豊見城高校	87 16 57.32	62.5	x	65.0	x	65.0	x	75.0	x	80.0	x	82.5
4 四子絵里菜 岡 山 倉敷商業高校	88 16 55.98	60.0	x	62.5	x	62.5	x	75.0	x	80.0	x	82.5
5 笹尾 恵 石 川 珠洲実業高校	87 16 56.88	62.5	x	65.0	x	67.5	x	72.5	x	75.0	x	82.5
6 佐次あすか 京 都 加悦谷高校	88 16 54.98	55.0	x	60.0	x	60.0	x	70.0	x	75.0	x	75.0
7 神足 亜衣 京 庫 明石南高校	87 16 55.86	57.5	x	60.0	x	60.0	x	70.0	x	75.0	x	75.0
8 田邊 望 北海道札幌福北高校	88 16 57.34	57.5	x	57.5	x	60.0	x	70.0	x	75.0	x	75.0
9 鶴山 彩佳 岡 山 倉敷商業高校	87 16 56.74	52.5	x	57.5	x	57.5	x	65.0	x	70.0	x	70.0
10 蒲野 正江 石川 飯田高校	87 16 55.66	52.5	x	55.0	x	55.0	x	65.0	x	65.0	x	65.0
11 斉谷 仁美 岐阜 岐阜可原高校	88 15 56.96	50.0	x	52.5	x	50.0	x	65.0	x	67.5	x	67.5
12 柏田 新叶子 北海道札幌福北高校	87 16 57.68	45.0	x	47.5	x	50.0	x	67.5	x	65.0	x	65.0

63Kg級

1 堀田 麻由 京 都 加悦谷高校	86 17 61.04	80.0	x	85.0	x	86.5	x	100.0	x	105.0	x	105.0
2 盛島加奈子 沖 繩 豊見城高校	89 15 62.48	62.5	x	67.5	x	70.0	x	80.0	x	85.0	x	105.0
3 佐田 祐美 兵 庫 須藤友が丘高校	88 17 61.50	60.0	x	62.5	x	65.0	x	77.5	x	80.0	x	147.5
4 高橋 恵 愛媛 倉敷工業高校	87 17 61.24	57.5	x	60.0	x	62.5	x	75.0	x	80.0	x	142.5
5 大杉 星子 京 都 鳥羽高校	87 16 62.70	60.0	x	62.5	x	62.5	x	77.5	x	80.0	x	142.5
6 堂本 真由 京 都 出雲大河高校	86 17 60.92	60.0	x	62.5	x	65.0	x	70.0	x	72.5	x	135.0
7 大山 恵理群 京 馬 前橋育英高校	86 17 61.70	60.0	x	62.5	x	62.5	x	70.0	x	75.0	x	135.0
8 德本なぎさ 富山 滋賀川高校	89 15 61.16	55.0	x	55.0	x	55.0	x	57.5	x	70.0	x	72.5
9 西脇千絆 鹿児島 都 倉敷商業高校	89 15 59.68	57.5	x	57.5	x	57.5	x	60.0	x	75.0	x	127.5
10 坂本絢詩香 岡 山 倉敷商業高校	87 16 60.92	55.0	x	60.0	x	60.0	x	67.5	x	70.0	x	127.5
11 菅原絵理 岡 山 倉敷商業高校	87 16 61.56	65.0	x	65.0	x	65.0	x	77.5	x	82.5	x	—

69Kg級

1 斎木 康美 沖 繩 宮古農林高校	86 17 64.56	77.5	x	77.5	x	95.0	x	100.0	x	102.5	x	102.5
2 谷 繼野 富山 温州川高校	87 17 66.26	70.0	x	72.5	x	85.0	x	90.0	x	92.5	x	100.0
3 原 京子 和歌山 和歌山東高校	86 17 63.80	65.0	x	70.0	x	82.5	x	87.5	x	90.0	x	160.0
4 吉見 慶子 兵 庫 須藤友が丘高校	87 16 65.04	62.5	x	65.0	x	67.5	x	75.0	x	80.0	x	157.5
5 牧志 瑞希 沖 繩 豊見城高校	87 16 68.62	62.5	x	67.5	x	75.0	x	80.0	x	85.0	x	145.0
6 説田 知子 石川 飯田高校	87 16 63.02	60.0	x	62.5	x	65.0	x	70.0	x	82.5	x	145.0
7 山崎真理子 京都 綱野高校	86 17 68.78	57.5	x	60.0	x	62.5	x	75.0	x	77.5	x	140.0
8 常盤ゆかり 京都 加悦谷高校	88 16 63.02	57.5	x	60.0	x	60.0	x	75.0	x	82.5	x	137.5
9 東 美穂 富山 温州川高校	87 16 67.58	60.0	x	60.0	x	62.5	x	70.0	x	72.5	x	132.5

75Kg級

1 斎木 康美 沖 繩 宮古農林高校	86 17 72.74	70.0	x	72.5	x	95.0	x	100.0	x	102.5	x	102.5
2 玉村 沢生 沖 繩 美香 京 都 鳥羽高校	87 17 72.74	70.0	x	72.5	x	95.0	x	90.0	x	92.5	x	92.5
3 高藤 ひづる 沖 繩 宮古農林高校	86 17 72.74	70.0	x	72.5	x	95.0	x	90.0	x	92.5	x	92.5
4 伊野 美力 兵 庫 喜連寺高校	86 17 72.74	70.0	x	72.5	x	95.0	x	90.0	x	92.5	x	92.5
5 大西 はるか 京 都 加悦谷高校	86 17 72.74	70.0	x	72.5	x	95.0	x	90.0	x	92.5	x	92.5

文部科学大臣杯 第50回日本大学対抗選手権大会

●一部校 平成16年11月27日 [56Kg級~77Kg級]・28日 [62Kg級~+105Kg級]
 ●二部校 平成16年11月12日 [56Kg級]・13日 [62Kg級~85Kg級]・14日 [94Kg級~+105Kg級]
 ● 摺子スボーリーセンター(横浜市) ● 羽曳野コロセアム(羽曳野市)

【一部校】

56Kg級

順位	氏名	大学名	生年	体重	1	ス ナ ッ チ	2	3	クリーン&ジャーク	3	S	順 C&J 順	ベ スト	トータル
1	大田 喜吉	日本体育大学	82 4	55.72	97.5	100.0	105.0	130.0	× 135.0	105.0	2130.0	1235.0	—	—
2	奥山 正和	法政大学	83 3	55.24	97.5	102.5	105.0	125.0	130.0	105.0	125.0	2230.0	1235.0	—
3	奥山 優幸	日本体育大学	84 2	55.38	97.5	100.0	105.0	120.0	125.0	105.0	120.0	1275.0	1275.0	—
4	田島 崇	国際立命館大学	82 4	55.80	90.0	92.5	95.0	120.0	125.0	97.5	120.0	4217.5	4217.5	—
5	平田 彰	九州国際大学	82 4	55.86	90.0	92.5	95.0	120.0	125.0	97.5	120.0	5212.5	5212.5	—
6	小林 手野	経営学部	83 3	55.48	95.0	100.0	115.0	120.0	122.5	92.5	120.0	3212.5	3212.5	—
7	越智 譲	一平 大阪商業大学	84 3	53.82	90.0	95.0	95.0	115.0	115.0	95.0	115.0	9210.0	9210.0	—
8	田中矢田	日本体育大学	85 1	54.94	85.0	90.0	90.0	110.0	115.0	92.5	110.0	6207.5	6207.5	—
9	田名編雄	平成国際大学	84 2	55.56	85.0	90.0	90.0	105.0	105.0	90.0	110.0	115.0	8205.0	—
10	新島 肇介	平成国際大学	84 2	55.34	95.0	95.0	95.0	115.0	115.0	92.5	110.0	115.0	115.0	—
	岡田 美英	大阪商業大学	84 2	55.34	—	—	—	—	—	—	—	115.0	115.0	—

62Kg級

順位	氏名	大学名	生年	体重	1	ス ナ ッ チ	2	3	クリーン&ジャーク	3	S	順 C&J 順	ベ スト	トータル
1	小林 一生	日本大学	83 3	62.00	105.0	107.5	110.0	132.5	137.5	145.0	110.0	2145.0	1425.0	—
2	上地 克彦	日本大学	86 1	61.94	105.0	107.5	112.5	137.5	140.0	153.5	107.5	2140.0	2147.5	—
3	五百藤正和	大阪商業大学	85 1	61.38	102.5	107.5	110.0	130.0	135.0	140.0	107.5	3135.0	3242.5	—
4	杉内 修	明治大学	83 3	61.94	100.0	105.0	110.0	125.0	130.0	135.0	110.0	130.0	7240.0	—
5	若篠 栄章	早稲田大学	84 2	61.40	105.0	107.5	107.5	132.5	140.0	140.0	105.0	7132.5	4237.5	—
6	山崎 審	明治大学	84 2	61.20	105.0	107.5	107.5	130.0	135.0	130.0	105.0	6130.0	5235.0	—
7	石崎 澄	九州国際大学	84 3	61.82	100.0	100.0	100.0	130.0	135.0	135.0	105.0	6130.0	6235.0	—
8	志賀 康	平成国際大学	82 4	61.56	102.5	102.5	107.5	122.5	127.5	127.5	107.5	4122.5	1025.0	—
9	浜谷 浩	聖心人平成国際大学	84 2	61.58	95.0	100.0	105.0	120.0	125.0	125.0	100.0	1025.0	8227.5	—
10	大河内佑介	立命館大学	85 1	61.74	95.0	100.0	100.0	120.0	125.0	130.0	100.0	1125.0	9225.0	—
11	吉本 慶之	聖心大阪商業大学	84 2	60.88	100.0	102.5	105.0	120.0	125.0	125.0	9120.0	1122.5	—	—

69Kg級

順位	氏名	大学名	生年	体重	1	ス ナ ッ チ	2	3	クリーン&ジャーク	3	S	順 C&J 順	ベ スト	トータル
1	平貝 健太	法政大学	84 3	67.98	115.0	122.5	125.0	150.0	155.0	157.5	125.0	1157.5	1292.5	—
2	朝田 哲	明治大学	82 4	68.54	122.5	125.0	130.0	155.0	157.5	160.0	125.0	2157.5	2282.5	—
3	岸 康	九州国際大学	84 2	68.48	110.0	110.0	115.0	140.0	145.0	147.5	110.0	4140.0	4250.0	—
4	竹澤 正則	平成国際大学	85 2	68.38	100.0	105.0	112.5	135.0	137.5	142.5	105.0	5137.5	5242.5	—
5	奥山 陽平	立命館大学	84 2	67.94	105.0	105.0	110.0	130.0	135.0	135.0	105.0	3130.0	6240.0	—
6	井戸 豊	日本体育大学	83 4	68.12	112.5	112.5	112.5	145.0	150.0	152.5	112.5	—	150.0	—

77Kg級

順位	氏名	大学名	生年	体重	1	ス ナ ッ チ	2	3	クリーン&ジャーク	3	S	順 C&J 順	ベ スト	トータル
1	内藤 定輔	日本大学	82 4	76.94	120.0	122.5	130.0	152.5	157.5	162.5	130.0	1162.5	1292.5	—
2	石原 寛	法政大学	84 2	76.70	122.5	125.0	127.5	152.5	157.5	162.5	125.0	2157.5	2282.5	—
3	吉岡 勉	日本大学	84 2	75.98	122.5	127.5	130.0	142.5	147.5	150.0	127.5	2150.0	4277.5	—
4	齋藤 健	経営学部	82 4	75.36	115.0	120.0	122.5	145.0	150.0	160.0	120.0	6165.0	3275.0	—
5	藍原 雄司	日本大学	82 4	73.16	120.0	120.0	122.5	130.0	140.0	140.0	114.0	5140.0	5282.5	—
6	渡辺 浩志	平成国際大学	84 2	76.78	110.0	115.0	117.5	145.0	150.0	155.0	110.0	1145.0	7250.0	—
7	高井 伸	祥云 立命館大学	84 3	73.42	110.0	115.0	117.5	140.0	145.0	150.0	110.0	8140.0	7250.0	—
8	佐藤 弘康	経営学部	84 2	75.66	110.0	115.0	117.5	145.0	145.0	145.0	110.0	9140.0	9250.0	—
9	山口 元気	早稲田大学	83 3	75.66	112.5	112.5	117.5	142.5	142.5	142.5	112.5	7137.5	7125.0	—
10	岡田 光	大阪商業大学	83 3	74.12	110.0	115.0	115.0	132.5	140.0	140.0	110.0	8140.0	8250.0	—
11	関根 幸	平成国際大学	85 2	75.70	110.0	115.0	115.0	130.0	140.0	140.0	110.0	1240.0	1025.0	—
白石 幸起	明治大学	83 3	75.70	125.0	130.0	130.0	155.0	155.0	155.0	125.0	—	87.5	87.5	—

85Kg級

1	高橋 竜太	九州国際大学	84 2	84.24	135.0	140.0	145.0	157.5	162.5	165.0	140.0	165.0	4305.0	—
---	-------	--------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	---

62Kg級

1	松本 記一	中央大学	84 3	61.40	92.5	97.5	100.0	117.5	117.5	117.5	110.0	110.0	120.0	1217.5
2	長野 仁	京都産業大学	84 2	60.76	85.0	90.0	92.5	100.0	105.0	105.0	110.0	110.0	115.0	115.0
3	川田 智裕	広島工業大学	82 3	61.66	92.5	97.5	105.0	117.5	117.5	117.5	110.0	110.0	112.5	120.0

60Kg級

1	高橋 優	東邦大	84 2	59.00	85.0	90.0	95.0	105.0	105.0	105.0	100.0	100.0	105.0	120.0
---	------	-----	------	-------	------	------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

56Kg級

1	高橋 優	東邦大	84 2	59.00	85.0	90.0	95.0	105.0	105.0	105.0	100.0	100.0	105.0	120.0
---	------	-----	------	-------	------	------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

52Kg級

1	高橋 優	東邦大	84 2	59.00	85.0	90.0	95.0	105.0	105.0	105.0	100.0	100.0	105.0	120.0
---	------	-----	------	-------	------	------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

48Kg級

1	高橋 優	東邦大	84 2	59.00	85.0	90.0	95.0	105.0	105.0	105.0	100.0	100.0	105.0	120.0
---	------	-----	------	-------	------	------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

44Kg級

94K級									
1 鈴木 邁也	名古屋産業大学	84 2	61.36	80.0	85.0	90.0	x 100.0	105.0	107.5
2 山浦 伸吾	信州大学	82 4	61.52	82.5	87.5	x 87.5	95.0	100.0	102.5
3 矢口 勝	帝城西大学	83 4	61.78	80.0	x 80.0	110.0	x 110.0	115.0	x 102.5
4 栗山 晃典	晃興國土館大学	83 3	59.96	85.0	x 85.0	100.0	x 102.5	102.5	x 102.5
5 田中 幸尚	拓殖大学	82 4	61.78	85.0	x 90.0	x 100.0	x 102.5	102.5	x 102.5
6 尾崎 玄城	拓殖大学	84 2	61.72	80.0	x 80.0	85.0	x 90.0	97.5	x 97.5
7 甲斐 譲	城西大学	84 2	61.72	80.0	x 80.0	95.0	x 95.0	100.0	x 100.0
8 玉城 亮士	姫路獨協大学	82 4	58.28	70.0	75.0	80.0	x 95.0	100.0	x 100.0
9 田中 大介	名城大学	82 3	58.86	70.0	75.0	80.0	x 95.0	102.5	x 102.5
10 岩瀬 泰人	神戸学院大学	82 4	61.46	75.0	80.0	x 85.0	x 90.0	100.0	x 100.0
11 尾熊 孝和	防衛大学校	83 3	58.88	65.0	x 65.0	70.0	x 85.0	90.0	x 90.0
12 清水 亮一	成蹊大学	86 1	60.38	60.0	x 60.0	65.0	x 65.0	70.0	x 70.0
13 小高 康臣	防衛大学校	84 1	60.38	60.0	x 60.0	65.0	x 65.0	70.0	x 70.0
14 石塚 宏亮	慶應義塾大学	83 3	60.44	60.0	x 60.0	65.0	x 65.0	70.0	x 70.0
15 小窓 亮成	防衛大学校	84 1	60.38	60.0	x 60.0	65.0	x 65.0	70.0	x 70.0
16 石塚 康臣	慶應義塾大学	83 3	61.22	60.0	x 65.0	x 65.0	x 75.0	80.0	x 80.0
17 福井 啓示	慶應義塾大学	85 2	61.22	60.0	x 65.0	x 65.0	x 80.0	85.0	x 80.0

94K級									
1 三木 伸哉	中央大学	83 3	67.50	107.5	112.5	115.0	x 140.0	142.5	x 150.0
2 勝谷 俊哉	成蹊国士館大学	83 3	67.14	112.5	115.0	x 115.0	x 130.0	135.0	x 140.0
3 堀 伸也	姫路獨協大学	84 2	68.50	105.0	110.0	x 110.0	x 135.0	142.5	x 150.0
4 森本 勝人	福岡大学	85 1	68.10	100.0	x 105.0	x 120.0	x 130.0	135.0	x 140.0
5 福住 昌也	関西大学	86 1	68.16	95.0	x 100.0	x 102.5	x 120.0	125.0	x 130.0
6 鈴木 泰宏	名古屋産業大学	85 1	66.84	95.0	x 100.0	x 115.0	x 120.0	120.0	x 120.0
7 萩原 太郎	京都産業大学	85 2	67.34	87.5	92.5	x 92.5	x 110.0	115.0	x 120.0
8 市川 浩二	城西大学	83 3	68.20	90.0	x 95.0	x 115.0	x 120.0	115.0	x 120.0
9 大牟田隆行	近畿大学	83 3	67.80	85.0	x 90.0	x 92.5	x 105.0	110.0	x 110.0
10 大竹 優也	京都大学	83 2	66.70	75.0	x 80.0	x 82.5	x 95.0	100.0	x 100.0
11 楠 泰亮	成蹊大学	82 4	66.98	65.0	x 70.0	x 72.5	x 90.0	95.0	x 95.0
12 大事 葵哉	福岡大学	82 3	66.96	75.0	x 80.0	x 80.0	x 90.0	95.0	x 95.0
13 堀 伸哉	異邦防衛大学校	84 2	65.34	60.0	x 60.0	x 65.0	x 80.0	85.0	x 80.0
14 大谷 優也	異邦防衛大学校	84 2	65.34	60.0	x 60.0	x 65.0	x 80.0	85.0	x 80.0

94K級									
1 野村 真弘	福岡大学	83 3	72.72	122.5	127.5	130.0	x 137.5	142.5	x 142.5
2 原山 美喜	帝城西大学	84 2	75.24	110.0	x 110.0	x 110.0	x 140.0	147.5	x 147.5
3 梶賀 栄明	中央大学	62 4	75.50	110.0	x 110.0	x 115.0	x 140.0	152.5	x 152.5
4 守谷 銘	関西大学	85 1	76.24	110.0	x 110.0	x 110.0	x 140.0	145.0	x 145.0
5 松本 和也	姫路獨協大学	83 3	69.02	100.0	x 105.0	x 110.0	x 135.0	145.0	x 145.0
6 清水 伸洋	大邱城西大学	84 2	75.24	100.0	x 100.0	x 105.0	x 130.0	135.0	x 135.0
7 荒井 駿	名古屋工業大学	85 2	74.52	102.5	x 107.5	x 120.0	x 130.0	145.0	x 145.0
8 丸山 翼	誠之城西大学	82 4	74.30	100.0	x 105.0	x 110.0	x 130.0	132.5	x 132.5
9 山本 誠	誠之山梨大学	85 1	73.74	92.5	x 97.5	x 97.5	x 122.5	127.5	x 127.5
10 池田 大介	筑波工業大学	85 1	74.44	92.5	x 97.5	x 100.0	x 110.0	115.0	x 115.0
11 野中 慎一郎	慶應義塾大学	82 4	75.78	95.0	x 100.0	x 100.0	x 105.0	110.0	x 110.0
12 石井 治也	慶應義塾大学	84 2	70.02	80.0	x 85.0	x 90.0	x 100.0	105.0	x 105.0
13 腰 聰也	近畿大学	84 2	75.48	85.0	x 90.0	x 90.0	x 105.0	110.0	x 110.0
14 田中 雄也	関西学院大学	82 3	74.92	82.5	x 87.5	x 87.5	x 102.5	107.5	x 107.5
15 古川 雄貴	慶應義塾大学	84 2	75.52	80.0	x 90.0	x 90.0	x 105.0	105.0	x 105.0
16 岩本 邦志	名城大学	85 2	75.86	77.5	x 82.5	x 82.5	x 97.5	97.5	x 97.5
17 米岡 義則	京都学院大学	85 1	76.04	57.5	x 65.0	x 65.0	x 86.0	87.5	x 87.5
18 小柳 悠介	慶應義塾大学	82 4	72.80	60.0	x 65.0	x 70.0	x 75.0	80.0	x 80.0
19 中平 順也	防衛大学校	85 1	73.18	45.0	x 50.0	x 55.0	x 65.0	70.0	x 70.0
20 小林 家光	京都大学	81 3	72.00	97.5	x 100.0	x 102.5	x 115.0	100.0	x 100.0
21 萩森 健	家政大学	84 3	71.28	85.0	x 90.0	x 90.0	x 120.0	120.0	x 120.0
22 松川 彰美	近畿大学	85 1	75.60	100.0	x 100.0	x 100.0	x 105.0	110.0	x 110.0

94K級									
1 三木 伸哉	中央大学	85 1	83.04	110.0	112.5	117.5	x 142.5	142.5	x 142.5
2 本多 圭	中大	84 2	84.10	105.0	112.5	115.0	x 135.0	140.0	x 140.0
3 仲里 利志	京都産業大学	85 1	77.22	105.0	110.0	110.0	x 125.0	130.0	x 130.0
4 名谷道	博	名古屋産業大学	83 3	80.00	105.0	110.0	x 125.0	130.0	x 130.0

大 学 対 抗 得 点 表

【一部校】

順位	大学名	56kg	62kg	68kg	74kg	80kg	94kg	105kg	合計得点
1	法政大学	22 / 1	24 / 1	19 / 1	21 / 1	37 / 2	17 / 1	22 / 1	162 / 8
2	日本大学	41 / 2	35 / 2	45 / 2	39 / 2	—	—	—	160 / 8
3	明治大学	25 / 2	21 / 1	6 / 1	9 / 1	40 / 2	16 / 1	117 / 8	
4	九州国際大学	10 / 1	6 / 1	16 / 1	18 / 1	21 / 1	13 / 1	15 / 1	109 / 8
5	日本体育大学	40 / 2	6 / 1	23 / 2	7 / 1	13 / 1	5 / 1	94 / 8	
6	早稲田大学	7 / 1	11 / 1	13 / 1	2 / 1	13 / 1	4 / 1	10 / 2	60 / 8
7	大阪商業大学	9 / 2	18 / 2	1 / 1	—	15 / 2	6 / 1	49 / 8	
8	平成国際大学	3 / 2	7 / 2	13 / 1	7 / 1	—	—	37 / 8	
9	立命館大学	10 / 1	0 / 1	5 / 1	18 / 2	—	0 / 1	33 / 6	
10	秋田経済法科大学	7 / 1	—	15 / 2	3 / 2	3 / 1	0 / 1	28 / 7	
合計人數		11	11	6	12	10	8	8	77

第5回全日本大学対抗女子選手権大会

● 平成16年11月27日[48kg級~63kg級]・28日[69kg級~75kg級]

● 優子スポーツセンター(横浜市)

48kg級

順位	氏名	大学名	年 令	年 度	生 年	体 重	ス タ チ	ク リ ーン & ジャ ー ク	ベ ス ト
1	角田 梓子	立命館大学	85 1	47.46	40.0	—	—	50.0	—

53kg級

順位	姓 名	大学名	年 令	年 度	生 年	体 重	1	2	3	1	2	3	S	順 位
1	三宅 宏実	法政大学	85 1	48.78	72.5	800 x	95.0	CR	105.0	x	77.5	1	100.0	1

58kg級

順位	姓 名	大学名	年 令	年 度	生 年	体 重	CR	82.5	x	95.0 <td>100.0</td> <td>105.0</td> <td>x</td> <td>80.0</td> <td>1</td> <td>100.0</td> <td>1</td> <td>180.0</td> <td>CR</td>	100.0	105.0	x	80.0	1	100.0	1	180.0	CR
1	川上 知子	日本体育大学	82 4	57.52	75.0	800 x	95.0	100.0	105.0	x	80.0	1	100.0	1	177.5	1	177.5	CR	
2	田中 涼子	平成国際大学	84 2	55.22	65.0	700 x	85.0	90.0	92.5	x	65.0	3	92.5	2	157.5	2	157.5		
3	下野 緑子	神戸文化短期大学	85 1	56.50	67.5	700 x	82.5	85.0	87.5	x	70.0	2	85.0	4	155.0	4	155.0		
4	山口 聰子	明治大学	85	57.26	65.0	700 x	85.0	90.0	92.5	x	65.0	4	90.0	3	155.0	3	155.0		

63kg級

順位	姓 名	大学名	年 令	年 度	生 年	体 重	CR	82.5	x	95.0 <td>100.0</td> <td>105.0</td> <td>x</td> <td>75.0</td> <td>1</td> <td>100.0</td> <td>1</td> <td>175.0</td>	100.0	105.0	x	75.0	1	100.0	1	175.0	
1	塙早 佳世	日本体育大学	82 4	61.50	75.0	x	75.0	92.5	x	97.5	100.0	x	75.0	1	100.0	1	175.0		
2	沼田 洋子	平成国際大学	83 3	52.44	72.5	x	77.5	95.0	x	100.0	x	72.5	2	95.0	2	167.5			
3	山神 志乃	立命館大学	83 3	52.42	66.0	x	80.0	85.0	x	85.0	x	95.0	x	—	—	90.0	3	167.5	

69kg級

順位	姓 名	大学名	年 令	年 度	生 年	体 重	CR	82.5	x	95.0 <td>100.0</td> <td>105.0</td> <td>x</td> <td>75.0</td> <td>1</td> <td>100.0</td> <td>1</td> <td>197.5</td> <td>CR</td>	100.0	105.0	x	75.0	1	100.0	1	197.5	CR
1	川上 知子	日本体育大学	82 4	57.52	75.0	x	95.0	100.0	105.0	x	80.0	1	100.0	1	197.5	1	197.5		
2	田中 涼子	平成国際大学	84 2	55.22	65.0	x	85.0	90.0	92.5	x	62.5	3	92.5	2	157.5	2	157.5		
3	下野 緑子	神戸文化短期大学	85 1	56.50	67.5	x	77.5	95.0	100.0	x	70.0	2	85.0	4	155.0	4	155.0		
4	山口 聰子	明治大学	85	57.26	65.0	x	85.0	90.0	92.5	x	65.0	4	90.0	3	155.0	3	155.0		

+75kg級

順位	姓 名	大学名	年 令	年 度	生 年	体 重	CR	82.5	x	95.0 <td>100.0</td> <td>105.0</td> <td>x</td> <td>75.0</td> <td>1</td> <td>100.0</td> <td>1</td> <td>197.5</td>	100.0	105.0	x	75.0	1	100.0	1	197.5	
1	菊田 裕子	早稲田大学	85 1	71.26	77.5	x	82.5	85.0	87.5	x	100.0	105.0	x	82.5	3	105.0	2	187.5	
2	加藤 博子	立命館大学	82 4	71.03	80.0	x	82.5	85.0	95.0	x	97.5	x	100.0	2	100.0	3	182.5		
3	金子 智	平成国際大学	83 3	73.74	62.5	x	67.5	75.0	80.0	x	82.5	x	67.5	5	80.0	4	147.5		
4	後藤 有理	明治大学	83 3	74.02	70.0	x	75.0	85.0	95.0	x	95.0	x	70.0	4	—	—	—	—	

大学 対抗 得点表

順位	大学名	48kg	53kg	58kg	63kg	69kg	75kg	+75kg	合計得点
1	日本体育大学	9 / 1	3 / 1	9 / 1	9 / 1	9 / 1	9 / 1	9 / 1	36 / 4
2	立命館大学	6 / 1	5 / 1	6 / 1	6 / 1	4 / 1	4 / 1	25 / 4	
3	平成国際大学	1 / 1	1 / 1	1 / 1	1 / 1	0 / 1	0 / 1	17 / 4	
4	早稲田大学	9 / 1	3 / 1	9 / 1	9 / 1	9 / 1	9 / 1	9 / 1	15 / 4
5	法政大学	0 / 1	0 / 1	0 / 1	0 / 1	0 / 1	0 / 1	0 / 1	9 / 1
6	神戸文化短期大学	3 / 1	1 / 1	3 / 1	3 / 1	3 / 1	3 / 1	3 / 1	3 / 2
7	明治大学	1 / 1	1 / 1	1 / 1	1 / 1	0 / 1	0 / 1	0 / 1	1 / 2
	合計人數	11	17	14	22	17	12	7	106

平成16年度贊助会員加入申込要領

贊助会員（この法人の事業を援助する個人又は法人）

1 賛助会費 1口 10,000円

2 (1) 郵便振替払込取扱票により、最寄りの郵便局で払い込み下さい。

(2) 直接加入申し込みをする場合は、下記までお願ひいたします。

〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内

(社) 日本ウエイトリフティング協会

TEL 03-3481-2359

3 郵便振替払込取扱票

払込取扱票		払込金受領証	
00		00140-4-129576	00140-4-129576
口座番号		金額	金額
加入者名 各票の※印欄はご依頼人において記載してください。	日本ウエイトリフティング協会 賛助会員係	料金	料金
通 信 欄	※ 記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。 切り取らないで郵便局にお出しください。		
ご依頼人	おところ(郵便番号) ※ おなまえ (電話番号)	受付局日附印	受付局日附印
裏面の注意事項をお読みください。(郵政事業庁) これより下部には何も記入しないでください。			

平成16年度賛助会員の募集について

謹啓

師走の候 ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

平素より、本協会の事業に御支援と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

現在本協会では、アテネオリンピック競技大会の結果に至るまでの選手強化・強化の支援体制・代表選手の選考方法等について総括の作業を進めているところです。

また、選手強化につきましてもスポーツ振興くじ助成による「ジュニア競技者研修合宿」、文部科学省の委嘱による「日韓ジュニア競技者・指導者交流事業」等の計画を進めているところでもあります。

今後、先の総括に基づき、北京オリンピック大会、更には8年後のオリンピック大会をも視野に入れた選手強化体制の確立とナショナルトレーニングシステムの完成を急ぎ、メダル獲得が早期に実現できるよう、諸事業の推進に全力を注いでゆく所存でございます。

つきましては、選手強化に伴う財源確保のため、本協会定款第6条による賛助会員への加入について、下記により格段のご配慮をお願い申し上げます。

謹白

平成16年12月

社団法人 日本ウエイトリフティング協会
会長 林克也

記

1 賛助会費 1口 10,000円

2 郵便振替払込取扱票により、最寄りの郵便局で払い込み下さい。

以上

記号説明

新記録

W R : 世界新記録 (new World Record)
J W R : ジュニア世界新記録 (Junior new World Record)
A R : アジア新記録 (new Asian Record)
J A R : ジュニアアジア新記録 (new Junior Asian Record)
N R : 日本新記録 (new Japan National Record)
J N R : ジュニア日本新記録 (Junior new Japan National Record)
U R : 大学新記録 (new University Record)
H R : 高校新記録 (new senior Highschool Record)
M R : 中学新記録 (new Middle school Record)
C R : 大会新記録 (new Competition Record)

タイ記録

W S : 世界タイ記録 (World record Same)
J W S : ジュニア世界タイ記録 (Junior World record Same)
A S : アジアタイ記録 (Asian record Same)
J A S : ジュニアアジアタイ記録 (Junior Asian record Same)
N S : 日本タイ記録 (Japan National record Same)
J N S : ジュニア日本タイ記録 (Junior Japan National record Same)
U S : 大学タイ記録 (University record Same)
H S : 高校タイ記録 (senior Highschool record Same)
M S : 中学タイ記録 (Middle school record Same)
C S : 大会タイ記録 (Competition record Same)

ウエイトリフティング No.90

(社) 日本ウエイトリフティング協会会報

発行日 平成16年12月
発行者 (社) 日本ウエイトリフティング協会
〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1
岸記念体育会館内
TEL 03-3481-2359
FAX 03-3481-2394
編集責任者 専務理事 篠宮 稔
編集委員 常務理事 岡本 実

-メモ-



コンセプトは、まず走りの楽しさを感じること。

Fee ~ L



Cushioning & Stability

MIZUNO WAVE

一枚の波形プレートが、ソフトな着地感と確実な安定感を
高次元で両立。つまり、柔らかいのにぐらつかない。
そのハイグレードなランニングフィールを体験してほしい。

¥8,900(税別) 8KN-25062 カラー:ホワイト×ブラック/レッド サイズ:25.0~28.5

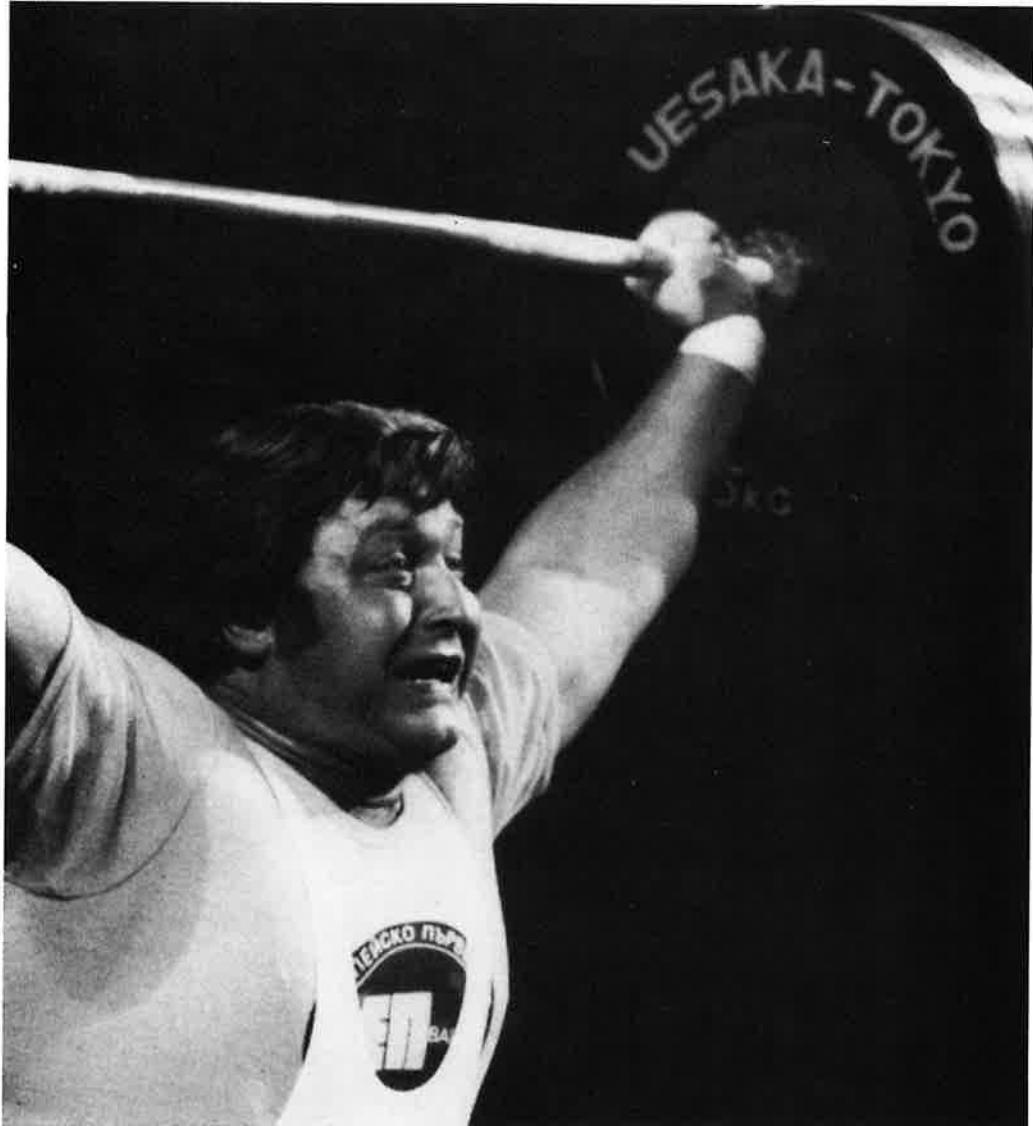


●ISO14001審査登録(国内全事業所)
●<http://www.mizuno.co.jp> ●ミズノ製品については——「ミズノお客様相談センター」
東京TEL.(03)3233-7110 FAX.(03)3233-7217 大阪TEL.(06)6614-8110 FAX.(06)6814-8463



UESAKA

OFFICIAL BARBELL.



国際ウエイトリフティング連盟認定工場
日本ウエイトリフティング協会公認器具製造販売

日本アマチュアボクシング連盟
日本体操協会器械器具
日本バスケットボール協会施設
日本バドミントン協会
日本ハンドボール協会
日本陸上競技連盟検定品製作

製造元 **DIA** 上坂鉄工所

本社 〒130 東京都墨田区本所4丁目28番8号
電話 (03) 3622-8171(代表)

販売元 (株)ウエサカ ティー・イー

代表取締役 鈴木 義夫

〒130 東京都墨田区本所4丁目28番8号

T E L (03) 3622-8171 F A X (03) 3622-8175

振込銀行 さくら銀行 本所(当) 57201

公認



認定工場

INTERNATIONAL WEIGHTLIFTING
FEDERATION